

マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

朝生1電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
小口 火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全の
ために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。



MDLP

CMTP555DVD

目次

接続と準備

準備1：本機をつなぐ	8
準備2：時計を合わせる	13
準備3：ラジオ局を本機に記憶させる (プリセット)	14

ここだけ読んでも使えます

DVD・CDを再生する	16
CDをそのまま録音する	19
MDを再生する	21
ラジオを聞く(プリセット受信)	23
ラジオを録音する(マニュアル録音)	26

DVD・CD・ビデオCD-再生

速さを変えて再生する (早送り/早戻し/スロー再生)	28
順不同に再生する(シャッフル再生)	29
好きな順に再生する(プログラム再生)	30
くり返し再生する(リピート再生)	33
再生を止めたところから再生する (リジューム再生)	33
DVDのメニューを使う	34
プレイバックコントロール機能を使う (PBC再生)	35
表示窓の使いかた	36

MD-再生

順不同に再生する(シャッフル再生)	37
好きな曲順で再生する (プログラム再生)	38
くり返し再生する(リピート再生)	40
グループ内の曲を再生する	40
表示窓の使いかた	41

MD-録音

録音の前にお読みください	42
曲をグループに分けて録音する (グループ機能)	43
好きなトラックだけを録音する (CD-MDシンクロ録音)	47
再生中のトラックを録音する (レックイット)	49
好きな部分だけを録音する (マニュアル録音)	50
6秒前の音から録音する (タイムマシン録音)	51
長時間録音する	52
曲番を付ける	53
曲間をそろえる(スマートスペース)	55
録音レベルを調節する	57

MD-編集

編集の前にお読みください	58
ディスク名や曲名を付ける(NAME)	59
グループ名を付ける(NAME)	61
録音した曲を新しいグループの中に入れる (CREATE)	63
グループ登録を解除する(RELEASE)	64
曲を消す(ERASE)	65
曲順を変える(MOVE)	68
1つの曲を2つに分ける(DIVIDE)	69
2つの曲を1つにする(COMBINE)	70
ひとつ前の操作を取り消す(UNDO)	72
録音後に録音レベルを変更する (S.F EDIT)	73

好みの音にする

パーチャルサラウンドを楽しむ	75
音楽に合った音を選ぶ (プリセットイコライザー)	77
低音を強調する(DBFB)	77

コントロールメニューを使う

コントロールメニュー画面の使いかた	78
コントロールメニュー画面項目一覧	80
タイトルやトラック、タイムコードを使って 頭出しする	82
くり返し再生する(リピート再生)	83
音声を切り換える	84
字幕を表示する	86
アングルを切り換える	87
ディスクの再生を制限する (カスタム視聴制限/視聴年齢制限)	88
経過時間と残り時間を見る	93
再生の情報を見る(アドバンスト)	94

DVDの設定をする

設定画面を使う	96
設定画面項目一覧表	98
表示言語や音声言語の設定(言語設定)	99
画像に関する設定(画面設定)	100
視聴に関する設定(視聴設定)	101

いろいろな機能を使う

MDとDVDを同時に再生する (BGMD)	102
表示窓の明るさを調節する	103
記憶させたラジオ局に名前を付ける	104
音楽を聞きながら眠る (スリープタイマー)	106
目覚ましとして使う (デイリータイマー)	106
タイマーを使って録音する (録音タイマー)	108
付属のリモコンでテレビを操作する	110

別売りの機器を使う

使用できる機器一覧	110
CS/BSデジタルチューナーなどを つなぐ	111
本機からデジタル機器に録音する	113
別売のアンプをつないで5.1chを 楽しむ	113
カセットデッキ、レコードプレーヤーなどを つなぐ	114
市販の外部アンテナをつなぐ	115

別売りのキーボードを使う

キーボードを準備する	116
キーボードを使って名前を付ける	116
キーボードを使って本機を操作する	117

その他

使用上のご注意.....	118
MDのシステム上の制約.....	119
故障かな?と思ったら..	121
自己診断表示機能(3桁または5桁の表示と メッセージが交互に出たら).....	130
メッセージ一覧.....	132
保証書とアフターサービス.....	135
主な仕様.....	136
用語解説.....	137
言語コード一覧表.....	139
ローマ字/カタカナ対応一覧.....	140
各部のなまえ.....	143
索引.....	151

録音についてのご注意

- ・大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
 - ・システムステレオやミニディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
 - ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
- (お問い合わせ先: (社)私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336)

ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。

窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この取扱説明書の使いかた

- ・「接続と準備」(8ページ)をご覧ください。接続などの準備を済ませてください。
- ・基本的な使いかたは、「ここだけ読んでも使えます」(16ページ)をご覧ください。
- ・さらに進んだ使いかたについては、28ページ以降をご覧ください。
- ・この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。

・この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	DVDで使える機能です。
	ビデオCDで使える機能です。
	音楽用CDで使える機能です。

再生できるディスクについて

本機では次のディスクを再生できます。次のディスク以外は再生できません。

再生できるディスクの一覧

ディスクの種類	DVD		ビデオCD		音楽用CD		MD
ディスクに付いているマーク(ロゴ)							
再生できるもの	音声+映像		音声+映像		音声		音声
ディスクの大きさ	12cm	8cm	12cm	8cm	12cm	8cm (CDシングル)	6.4cm

UDVD VIDEO" ロゴは商標です。

本機はNTSCカラーテレビ方式に対応しています。NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスクは再生できません。

再生可能なDVDの地域番号(リージョンコード)について

DVDには(囀)のように地域番号が表示されているものがあります。表示中の数字は再生

できるプレーヤーの地域番号を表わしています。この表示に「2」が含まれていない、または(囀)の表示のないDVDは、本機で再生できません。このようなDVDを再生しようとしたときは、「このディスクは地域制限により再生を禁止されています」と画面に表示されます。また地域番号の表示がないDVDでも地域制限されている場合があります。本機で再生できないことがあります。

次のページへ続く

再生できるディスクについて(つづき)

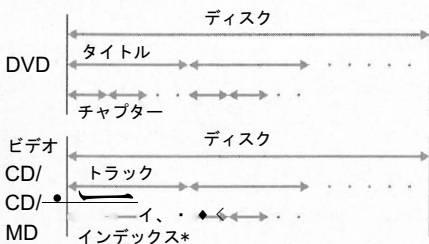
DVDに表示されているマークの説明

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには以下のようなものがあります。それぞれのマークはそのディスクに記録されている内容や、使える機能を表しています。

ただし、それらの機能が使えても、以下のマークが表示されていないDVDもあります。

マーク	意味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比を表します。
	再生可能な地域番号を表します。

ディスクに関する用語の説明



* MDにインデックスはありません。

・ タイトル

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位です。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚(あるいは1曲)にあたります。タイトルに順に付けられた番号をタイトル番号といいます。

・ チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位をチャプターといいます。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成されます。チャプターに順に付けられた番号をチャプター番号といいます。ディスクによってはチャプターが記録されていないものもあります。

・ トラック

ビデオCD、CD、MDに記録されている映像や曲の区切り(1曲分)をトラックといいます。トラックに順に付けられた番号をトラック番号といいます。

・ インデックス(CD) / ビデオインデックス(ビデオCD)

ビデオCDおよびCDで、再生したい部分を見つけやすいように1つのトラックをいくつかの部分に区切って番号を付けたものです。ディスクによってはインデックスが記録されていないものもあります。

・ シーン

PBC対応のビデオCDで、メニュー画面や動画、静止画の区切りのことをシーンと言います。シーンごとに順に付けられた番号をシーン番号と言います。

PBC*について(ビデオCD)

本機は、PBC対応ビデオCD(バージョン2.0)にも対応しています。

ディスクのタイプによって、次の2種類の再生を楽しめます。

ディスクのタイプ楽しみかた

PBC対応でない 音楽用CDと同じようにビデオCD(パー操作して、音声と映像ジョン1.1) (動画)を再生できます。

PBC対応ビデオCD(バージョン2.0) 上記(PBC対応でない場合)の楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニュー画面(選択画面)を使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(PBC再生、35ページ)。また、高精細の静止画も再生できます。

プレイバック コントロール
* Playback Controlの略。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- ・ CD-ROM (PHOTO CDを含む)
- ・ 音楽用CDフォーマット、VCDフォーマットで記録された以外のCD-R
- ・ CD-EXTRAのデータ部分
- ・ DVD-ROM
- ・ DVDオーディオ
- ・ スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシティ)レイヤー

次のようなディスクも再生できません。

- ・ 本機では再生できない地域番号(リージョンコード)のDVD
- ・ NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)対応のディスク
(本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため)
- ・ 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型など)をしたディスク

- ・ 紙やシールの貼られたディスク
- ・ セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク

DTS*で記録されたCDを再生するとスピーカーからは極端に大きなノイズが出ます。お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。DTS Digital Surroundの再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surroundデコーダーを接続する必要があります。接続していないときは音量を最小にしてください。

* DigTAL Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。DTSおよびDTS Digital SurroundのDigital Theater Systems, Inc.の商標です。

DVD・ビデオCD再生操作について

DVD、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

著作権について

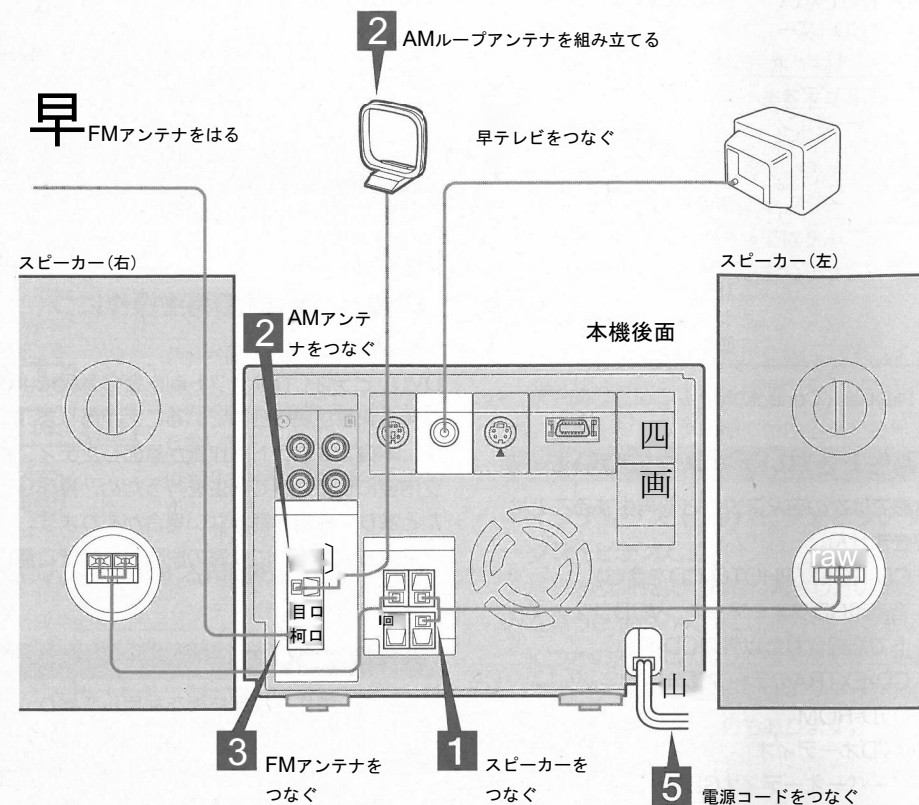
本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

準備1: 本機をつなぐ

付属のアンテナやコードをn~ほの順につなぎます。

付属のアンテナは室内用です。安定した受信のためには市販の外部アンテナの接続をお勧めします。

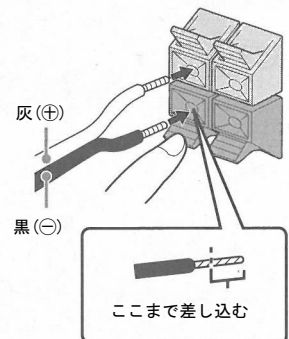
外部アンテナを含め、別売り機器の接続については、110ページをご覧ください。



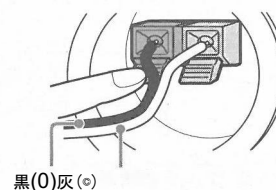
1 スピーカーをつなぐ

1 本機とスピーカーのスピーカー端子に、スピーカーコードをつなぐ。

本機



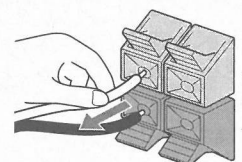
スピーカー



2 スピーカーコードを軽く引いてみ

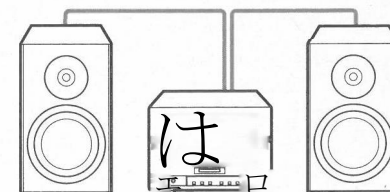
て、正しく接続されたことを確認する

スピーカーコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。また、差し込みすぎてビニール部分がはさまると音がでません。



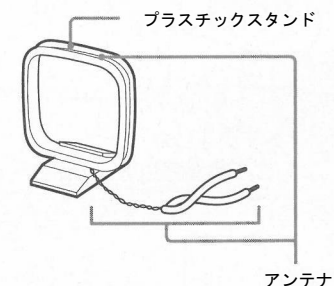
ご注意

- ・スピーカーコードはアンテナから離してください。ラジオ局受信時の雑音の原因になります。
- ・付属のスピーカーには、右/左用の区別はありません。「R」と書かれたスピーカー端子につないだスピーカーを向かって右へ、「L」につないだスピーカーを左へ置いてください。



2 AMアンテナをつなぐ

付属のAMアンテナの構造



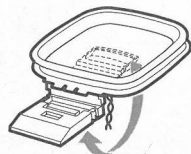
AMの電波を受信しやすい形状、長さになっている。はずしたり、丸めたりしない。

次のページへ続く

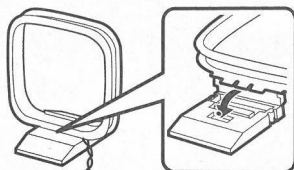
準備1: 本機をつなぐ(つづき)

AMアンテナを組み立てる

- 1 ループ(-)になっている部分のみをプラスチックスタンドからはずす。
- 2 スタンド状に組み立てる。台を起こし、

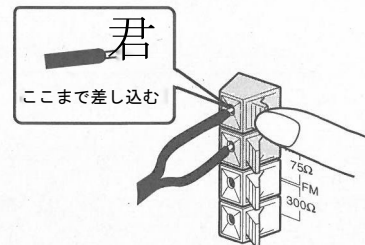


溝にはめます



AMアンテナをつなぐ

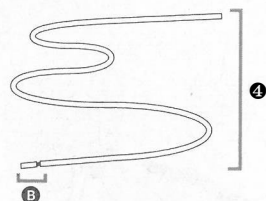
- 1 AMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



- 2 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

3 FMアンテナをつなぐ

付属のFM用簡易アンテナの構造

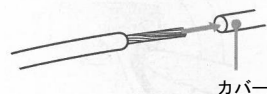


- 受信状態の良い方向へ向け、壁や天井に貼りつける。全体がアンテナになっていて、全面で受信する。丸めたりしない。

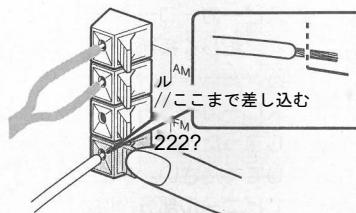
- アンテナ端子への差し込み部分

FMアンテナをつなぐ

- 1 差し込み部分●のカバーをはずす。



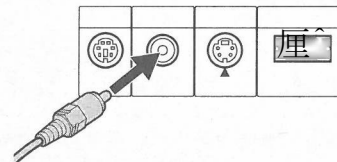
- 2 FMアンテナ端子にアンテナコードをつなぐ。



- 3 アンテナコードを軽く引いてみて、正しく接続されたことを確認する。アンテナコードが端子から抜けてしまったときは、もう一度つなぎ直してください。

テレビをつなぐ(DVD・ビデオCD用)

付属の映像接続ケーブルを、本機モニター出力の黄(VIDEO OUT)端子とテレビの黄(映像)入力端子につなぐ。プラグは奥までしっかりと差し込んでください。

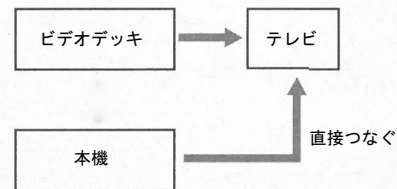


ちよつと一言

- ・ S映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、黄色の映像接続ケーブルの代わりにS映像コード(別売り)を使ってつなぐと、さらに鮮明な画像が楽しめます。
- ・ D映像入力端子付きのテレビをお使いのときは、D端子ケーブル(別売り)を使ってつなぐと、簡単にコンポーネント映像で接続でき、映像本来の色が楽しめます。

ご注意

- ・ ソニー製以外のテレビをつなぐと、リモコンのボタンを使ってテレビの操作をすることはできません。
- ・ 本機の上にテレビを置かないでください。
- ・ 下記のようにビデオデッキを経由して本機の映像を見ようとする、画像が乱れることがあります。ビデオデッキを経由して本機とテレビを接続しないでください。



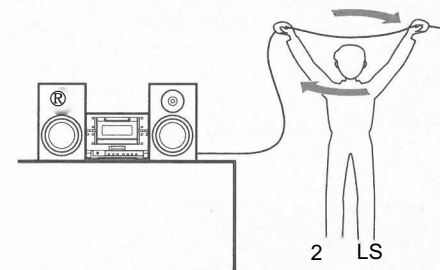
電源コードをつなぐ

すべての接続を終えたら、壁のコンセントへ電源プラグを差し込みます。

6 FMアンテナをはる

「準備3：ラジオ局を本機に記憶させる」(14ページ)の手順3でFM局を選んで受信したあと、次のようにアンテナを壁や天井に貼ってください。

- 1 両手でアンテナの先を持ち、体の向きを変えながら受信状態のよい向きを探す。

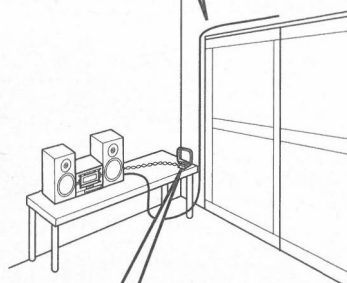
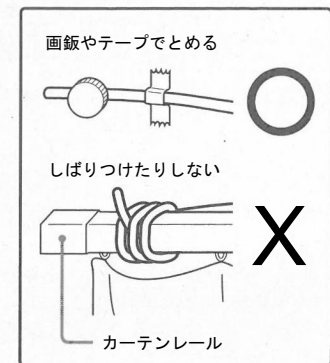


壁に貼るときは、受信状態のよい面を探してください。

次のページへ続く

準備7:本機をつなぐ(つづき)

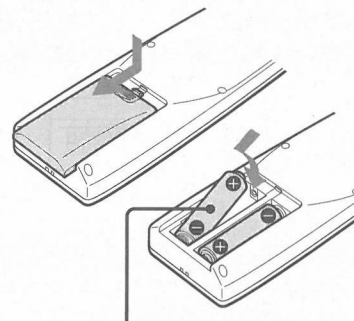
2方向が決まったら、画板やテープで貼りつける。



AMアンテナは、できるだけ窓の近くに置くなど、置く位置や向きを変えて受信しやすい状態を探します。

リモコンに電池を入れる

①と②の向きを合わせて、単3形乾電池(付属)2個を入れる。必ずイラストのように0極側から電池を入れてください。



単3形乾電池

ちょっと一言

電池の交換時期は約6か月です。リモコンで操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい乾電池に交換してください。

ご注意

・乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

－①と②の向きを正しく入れてください。

－新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。

－乾電池は充電しないでください。

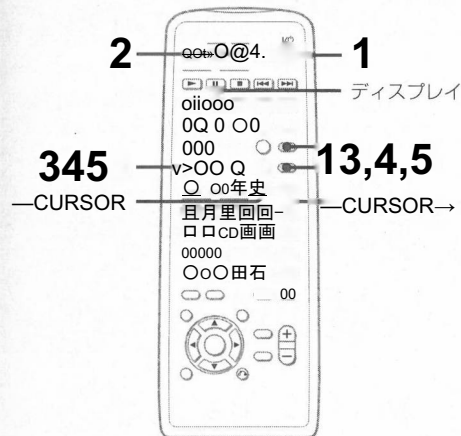
－長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。

－液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

・リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

準備2:時計を合わせる

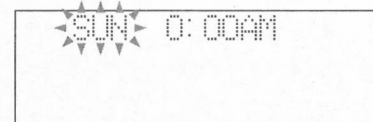
タイマー録音などのタイマー機能を使うためにも、あらかじめ時計を合わせておきます。



1 電源を入れる

2 時計/タイマーの設定を押す

時計が表示され、「曜日」(SUN)が点滅します。



3 MENU+または一を押して「曜SJを負わせ、ENTER/YESまたはCURSOR->を押す

「時」(0とAM)が点滅します。

(正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。)



4 MENU+または一を押して「時」を合わせ、ENTER/YESまたはCURSOR->を押す

「分」が点滅します。



5 MENU+または一を押して「分」を合わせ、ENTER/YESを押す

時計が動き始めます。

設定の途中で間違えたときは

-CURSORまたはCURSOR->を押して変更したいところ(曜日、時、分)を点滅させ、合わせ直す。

設定した時刻を変更する

1時計/タイマーの設定を押し、MENU+または一を押して「CLOCK SET?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

2「時計を合わせる」の手順3-5を行う。

電源が入っていないときも時刻を設定、変更できます。その場合は「時計を合わせる」の手順2-5を行います。

ちょっと一言

時計表示のコロン「:」は、0-29秒のときに上の点、30-59秒のときに下の点が点滅します。

次のページへ続く

低消費電力待機モードに切り換える

電源を切った状態でも、本機は時計表示やタイマー動作、リモコン受信のために電力を消費しています。この消費電力を最低限におさえ、電力を節約することができます(低消費電力待機モード)。

低消費電力待機モードに切り換えると、表示窓の時計表示が消えます。

電源を切った状態でディスプレイをくり返し押し、デモ表示や時計表示を消す

L時計表示*

デモモード

I-低消費電力待機モード

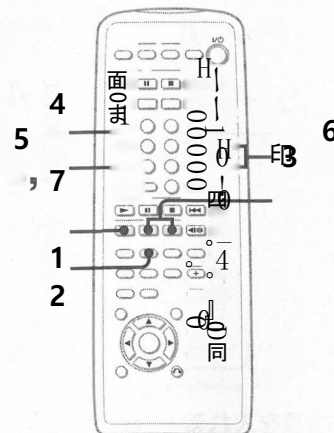
* 表示されて約8秒経つと低消費電力待機モードに戻ります。

ちよつと言

低消費電力待機モード時も、タイマーは働きます。

準備3 : ラジオ局を本機に記憶させる(プリセット)

FM放送を20局、AM放送を10局まで記憶(プリセット)させることができます。



1 ^{チューナー} TUNERのノンドをくり返し押し、**「AM」**か**「FM」**を選ぶ

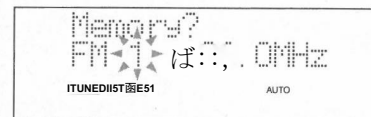
2 再生モード/チューニングキード ^{オート} をくり返し押し、**「AUTO」**を表示させる

3 ^{チューナー} TUNERの+または-を押す
周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まり、**「TUNED」**と**「STEREO」**(ステレオ放送のときのみ)が表示されます。
「TUNED」が出ずに止まらないときは再生モード/チューニングモードをくり返し押し、**「MANUAL」**を表示させ、TUNERの+または-を押して希望の周波数に合わせます。

4 ^{メニュー} MENU/K6を押す

5 ^{メニュー} MENU +または-をくり返し押し、**FMemory?J**を表示させ、**ENTER/YES**を押す
プリセット番号が点滅します。点滅している間に手順6、7を行ってください。

6 ^{メニュー} MENU+または-をくり返し押し、記憶させたい番号(プリセット番号)を選ぶ
FMは1-20、AMは1-10から選びます。



7 ^{エンター イース} ENTER/YES を押す

FCompleteJが表示されるとラジオ局が記憶され、プリセット番号が点滅から点灯に変わります。

8 手順1-7をくり返し、ラジオ局を記憶させていく

途中でやめる

MENU/NOを押す。

電波の弱いラジオ局を受信する

手順2で**「MANUAL」**を表示させ、TUNERの+または-をくり返し押し、周波数を合わせる。

プリセット番号を変える
手順1からやり直す。

ちよつと言

・停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。

・記憶させたラジオ局に名前を付けることができます(104ページ)。

DVD・CDを再生する

DVD

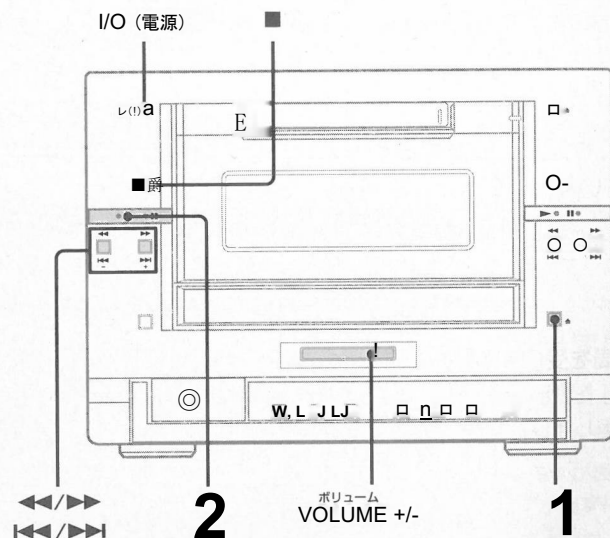
CD

VIDEO
CD

電源が入っていないときは、。(電源)を押して電源を入れてください。

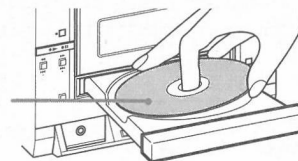
DVDを再生する場合は、あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしてください。

DVDによっては、途中で停止したり好きなところから再生できなかったり、ディスクにより異なる操作や禁止されている操作があります。ディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。



- 1 全DVDを押して、ディスクを入れる
ディスクトレイが出てきます。

文字の書いてある面を上
シングルCDは中央のくぼ
みに入れる

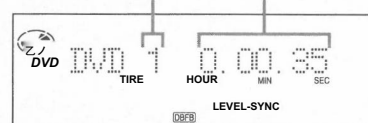


もう一度全DVDを押すとトレイは閉まります。

- 2 DVDALLを押す

ディスクトレイが自動的に閉じて再生が始まり、
DVDALLボタンのAランプが緑色に点灯します。

タイトル/チャプター
またはトラック番号再生時間



DVDやビデオCDを再生しているときは

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示される場合があります。そのときは、表示されたメニュー画面(選択画面)の操作にしたがって再生します。操作のしかたについてはDVD (34ページ)、ビデオCD (35ページ)をご覧ください。

ちよつと言

・ディスクが入っていないときは、表示窓に「No DiscJ」と表示されます。

・他の音源(ラジオなど)を聞いていても、ディスクがトレイに入っているときにDVDALLを押すと、DVDに切り換わって再生が始まります(オートファンクション)。

・CDを再生しているときは手順2で、トラック番号を選んでから再生することもできます。

1DVDのI◀またはAAをくり返し押して再生したいトラック番号を表示させる0

2 DVDALLを押す。
または、リモコンの数字ボタンで選び、決定を押します。

中古ディスク/レンタルディスクをお使いのときはシールなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスクはお使いにならないください。ディスクが取り出せなかったり、本機の故障の原因になることがあります。

次のページへ続く

DVD・CDを再生する(つづき)

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	DVDの・を押す。
一時停止する	DVDAIIを押す。 DVDAIIボタンのIIランプがオレンジ色に点灯します。 もう一度押すと、つづきが再生されます。
再生中にチャプターや映像、トラックを選ぶ	DVDのI◀またはANをくり返し押す。
再生したい部分を探す	再生中にDVDの◀またはAAを押し続け、再生したいところで指を離す。
.. クを取り出す	金DVDを押す。
音量を調節する	VOLUME+または-を押す。

ご注意

- ・ ディスクトレイを指で強く押して閉めると故障の原因になります。必ずトレイは金DVDを押して閉めてください。
- ・ 金DVDを押してディスクトレイを開閉すると、自動的にファンクションがDVDに切り換わります。
- ・ 本体またはリモコンを操作せずに、一時停止または停止したまま15分経つか、CDを15分以上再生すると、自動的にテレビ画面のスクリーンセーバーが働きます。DVD Allを押すとスクリーンセーバーは消えます (100ページ)。

CDをそのまま録音する

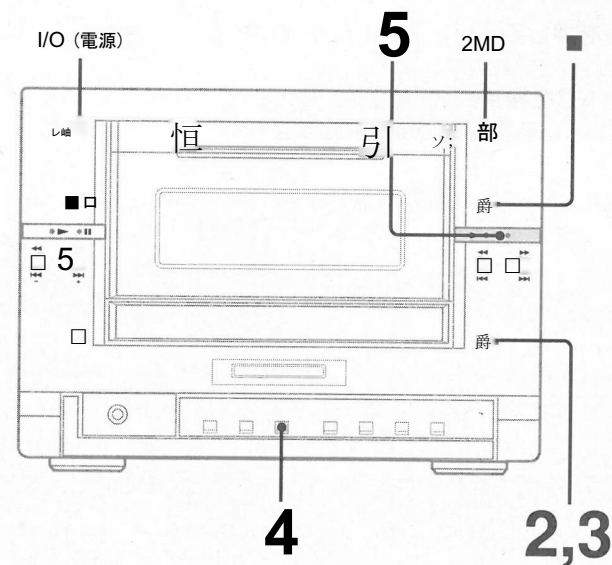
CD

1枚のCDをそのままMD (ミニディスク) にデジタル録音できます。

録音内容を消したいときは、「曲を消す」(65ページ)をご覧ください。

1枚のCDをそのまま録音する他に、いろいろな録音方法が用意されています (42ページ)。目的に合った録音方法をご利用ください。

電源が入っていないときは、I/O (電源) を押して電源を入れてください。



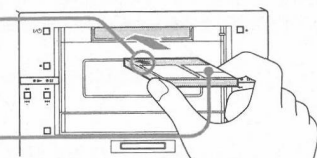
次のページへ続く

CDをそのまま録音する(つづき)

1 録音用のMDを入れる

矢印の向きに差し込む

文字の書いてある面を上にし、シャッターを右側にする



2 WDVDを押して、ディスクを入れる

ディスクトレイが出てきます。

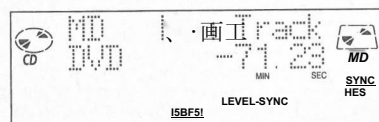
文字の書いてある面を上にし、シングルCDは中央のくぼみに入れる



3 金DVDを押して、ディスクトレイを閉める

4 CD SYNCを押す

「MD New Track」とMDの残り時間が交互に表示されます。



5 MDALLを押す

録音が始まります。

録音が終わると、CD、MDとも自動的に停止します。

録音を止める

MDの■を押す。

ちょっと一言

- 途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。
- ディスクによってはCDテキストの情報も記録されます。
- 録音中に「TEXT」表示が点滅しているときは、リモコンのNAME EDIT/SELECTを押したあとENTER/YESを押すと録音している曲の曲名が記録できます。(点灯しているときは、自動的に記録されます。)
- 手順4の前に録音モードを切り換えて、長時間で録音することができます。詳しくは「長時間録音する」(52ページ)をご覧ください。

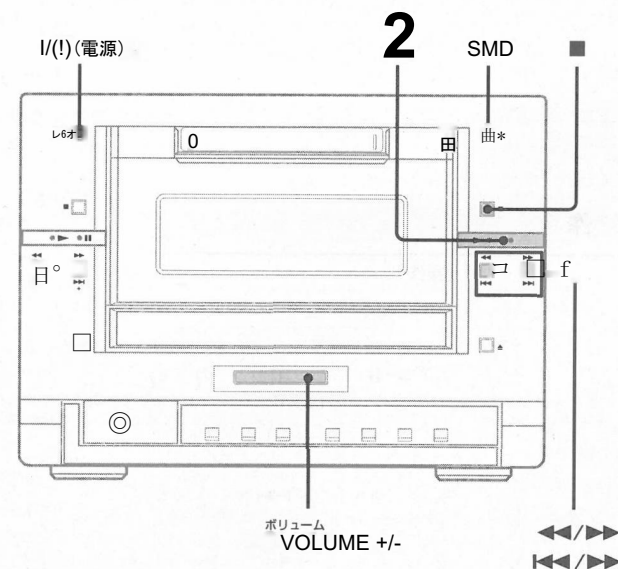
電源コンセントを抜く前にMDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

- 再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順4で自動的にふつうの再生に切り換わります。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」と「Protected」が交互に表示され、録音できません。WMDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください(43ページ)。
- ビデオCDの場合、PBC再生は自動的に解除されます。
- DVDでは、この録音はできません。マニュアル録音(50ページ)とレックイット(49ページ)のみできます。

MDを再生する

電源が入っていないときは、I/O(電源)を押して電源を入れてください。



次のページへ続く

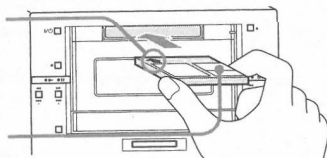
ここだけ読んでも使えます

MDを再生する(つづき)

1 MDを入れる

矢印の向きに差し込む

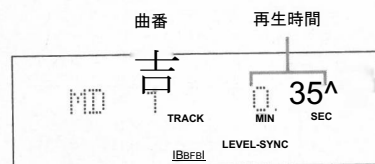
文字の書いてある面を上にし、シャッターを右側にする



2 MD▶IIを押す

再生が始まります。

MDAIIボタンのAランプが緑色に点灯します。



その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	MDの■を押す。
一時停止する	MDAIIを押す。 MDAIIボタンのIIランプがオレンジ色に点灯します。 もう一度押すとつづきが再生されます。
曲を選ぶ	MDのI◀またはAAをくり返し押す。
曲中の聞きたい部分を探す	再生中にMDの▶またはAAを押し続け、聞きたいところで指を離す。
MDを取り出す	2MDを押す。 —
音量を調節する	VOLUME+または-を押す。

ちよつと言

・手順2で、曲番を選んでから聞くこともできます。

1MDのI◀またはAAをくり返し押して聞きたい曲番を表示させる。

2MDAIIを押す。
または、リモコンの数字ボタンを押します。

押した曲番の再生が自動的に始まります。10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

・他の音源(ラジオなど)を聞いているときも、MDが中に入っているときにMDAIIを押すと、MDに切り換わって再生が始まります(オートファンクション)。

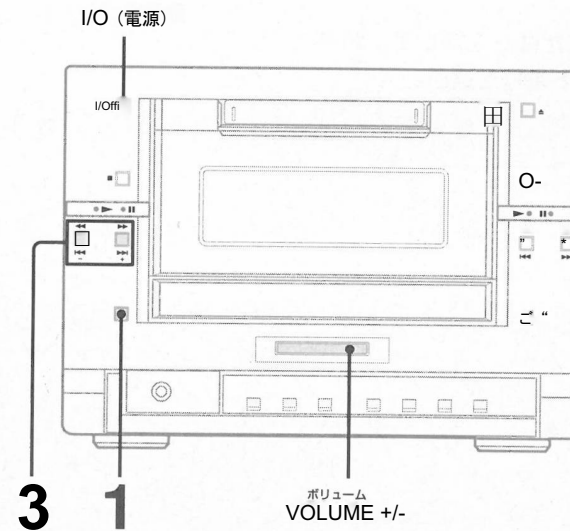
ご注意

ラベルがはみ出したり、正しい位置にラベルを貼っていないMDはお使いにならないください。本機の故障の原因となることがあります。

ラジオを聞く (プリセット受信)

ここでは、あらかじめ本機に記憶させた(プリセット、14ページ)ラジオ局を聞くプリセット受信の方法をおもに説明しています。聞きたいラジオ局に周波数を合わせながら聞く方法(記憶させていないラジオ局を聞く)については説明の最後に紹介しています。

電源が入っていないときは、レの(電源)を押して電源を入れてください。

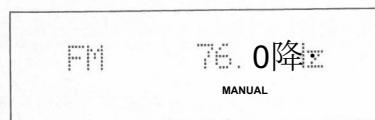


次のページへ続く

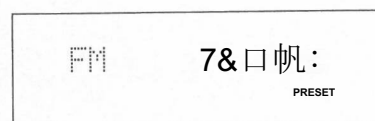
ここだけ読んでも使えます

ラジオを聞く (つづき)

1 ^{チューナー} ^{バンド} TUNER/BANDを押して、「AM」か「FM」を選ぶ



2 リモコンの再生モード/チューニングモードをくり返し押して、「PRESET」を表示させる



3 用心K倉+または一を押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ



*記憶させたラジオ局に名前を付けた(104ページ)ときのみ表示されます。

リモコンの数字ボタンでもプリセット番号が選べます(25ページ)。

その他の操作

こんなときは	操作
ラジオを消す	Ⓛ0を押して、電源を切る。
音量を調節する	VOLUME+または一を押す。

ちよつと言

- ・他の音源(CDなど)を再生していても、TUNER/BANDを押すとラジオに切り換わり、ラジオ放送が聞けます(オートファンクション)。
- ・受信状態が悪いときは、アンテナを窓の近くや外に置くなど、向きや置き場所、貼る位置を変えてみてください。それでも受信状態が悪いときは、市販の外部アンテナの使用をお勧めします(115ページ)。
- ・FMステレオ放送受信、雑音が多いときはリモコンのリビート/FMモードをくり返し押して「MONO」を表示させます。モノラル受信になりますが、雑音が少なくなります。

リモコンを使ってプリセット番号を選ぶ

手順3でリモコンの数字ボタンを押す。

10以降を選ぶには、>10を押してからプリセット番号を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

記憶させていないラジオ局を聞く

- ・手順2で「MANUAL」を表示させ、TUNING+または一を押して聞きたいラジオ局の周波数に合わせる(マニュアル受信)。
- ・手順2で「AUTO」を表示させ、TUNING+または一を押す。周波数表示が変わっていき、ラジオ局を受信すると自動的に止まります(オート受信)。

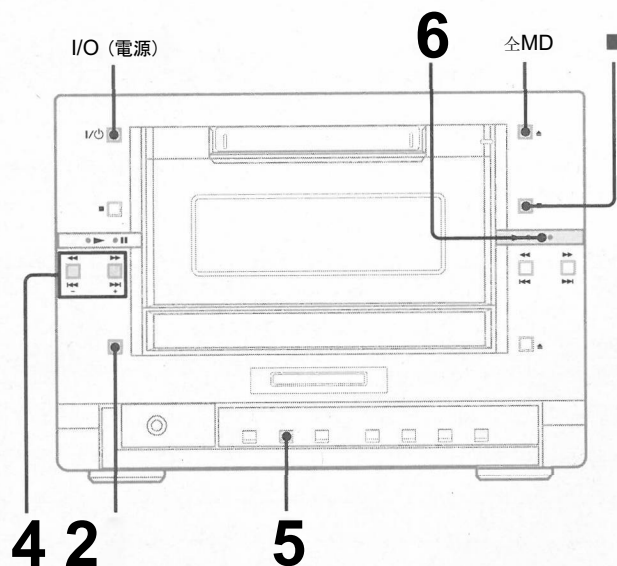
オート受信を途中でやめたいときは
リモコンの再生モード/チューニングモードを押します。

ラジオを録音する^{gw録音}

MDにアナログ録音します。

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。録音内容を消したいときは「曲を消す」(65ページ)をご覧ください。

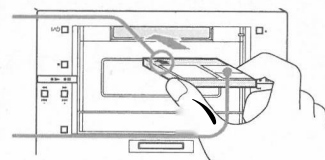
電源が入っていないときは、レ(!) (電源)を押して電源を入れてください。



1 録音用のMDを入れる

矢印の向きに差し込む

文字の書いてある面を上にし、シャッターを右側にする



2 ^{チューナー} ^{バンド} TUNER/BANDを押して、「AM」か「FM」を選ぶ

3 リモコンの再生モラ屋をーニングモードをくり返し押して、「PRESET」を表示させる

4 ^{チューニング} TUNING +またはーを押して、録音したいラジオ局のプリセット番号を選ぶ



*記憶させたラジオ局に名前を付けた(104ページ)ときのみ表示されます。

リモコンの数字ボタンでもプリセット番号が選べます(25ページ)。

5 ^{レコーダ} ^{レック イット} REC/REC ITを押す

MDが録音一時停止になります。

6 MDIIを押す

録音が始まります。

録音を止める

MDの■を押す。

ちよつと言

- ・AM放送を録音中に「ピー」や「ザーザー」という雑音が出るときは、付属のAMループアンテナを雑音の消える位置に動かすか、アース(115ページ)をつないでください。
- ・手順5の前に録音モードを切り換えて、長時間で録音することができます。詳しくは「長時間録音する」(52ページ)をご覧ください。
- ・録音される音の大きさをお好みで調節できます。手順5のあとに調節します(57ページ)。

電源コンセントを抜く前にMDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

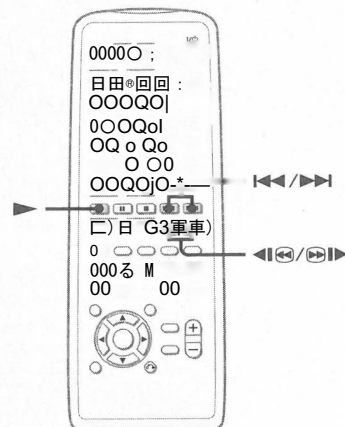
ご注意

MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」とFProtectedJが交互に表示され、録音できません。WMDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください(43ページ)。

速さを変えて再生する (早送り/早戻し/スロー再生)

DVD CD VIDEO CD

再生しながら早送りや早戻しをして、見たいところや聞きたいところをさがしたり、スロー再生をすることができます。



ご注意
DVD、ビデオCDによっては操作が禁止されている場合があります。

見たいところ、聞きたいところをさがす(サーチ)

再生中に早送り再生するにはDVDのAA (早送り1AAの速さ)を、早戻し再生をするにはDVDのI<< (早戻しの速さ)を押します。ボタンをはなすと通常の再生に戻ります。早戻し1W/早送り1AAの速さはスキヤンの速さと同じです。

早送り再生/早戻し再生をして見たいところ、聞きたいところをさがす(スキヤン)

再生中に早送りするには* Aを、早戻しをするには<1@を押します。DVDのAを押すと通常の再生に戻ります。

スキヤン中に<1@または*IAをくり返し押すと、再生の速さが変わります。3種類の速さを選ぶことができます。

ボタンを押すたびに、次のように変わります。

再生方向

Lx2A (DVD/CDのみ) — 早送り1
————— 早送り22 ————— 1

逆方向

>x2V (DVDのみ) — 早戻し 1<<<
————— 早戻し2<< —————

x2V/x2 Aは通常の約2倍の速度で再生します。

早戻し・早送り1より、早戻し2<<</早送り2AAのほうが、高速で再生します。

スロー再生をする

この機能はDVDまたはビデオCDのみで使えます。

一時停止中に<1@または*Aを押します。

DVDのAを押すと通常の再生に戻ります。

スロー再生中、<1回または*IAをくり返し押すと、再生の速さが変わります。2種類の速さを選ぶことができます。

ボタンを押すたびに、次のように変わります。

再生方向

スロー21A <—> スロー11▶

逆方向(DVDのみ)

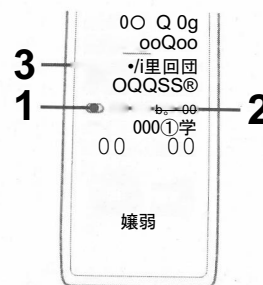
スロー2<11スロー 1/

スロー1<1/スロー1IAよりスロー2<1/スロー21Aのほうが、低速で再生します。

順不同に再生する (シャッフル再生)

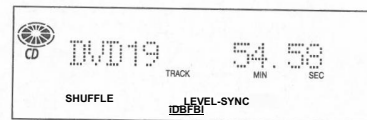
DVD CD VIDEO CD

本機が自動的にタイトルやトラックの順番を選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。



1 ファンクションをくり返し押して、ファンクションをDVDに切り換える

2 停止中に再生モード/チューニングモードをくり返し押して、FSHUFFLEJを表示させる



3 DVDのAを押す
シャッフル再生が始まります。

ふつうの再生に戻す

DVDの・を押して再生を停止させてから、再生モード/チューニングモードをくり返し押して、「SHUFFLE」や「PROGRAM」を消す。

ちよつと言

聞きたくない曲をとばすときは、DVDのAAを押します。

ご注意

- ・シャッフル再生とプログラム再生を組み合わせることはできません。
- ・DVDではチャプター単位でシャッフル再生することはできません。また、DVDによってはシャッフル再生できない場合があります。

好きな順に再生する(つづき)

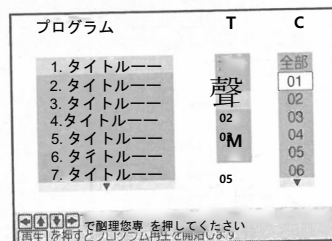
2 プログラム再生したいタイトル/チャプターまたはトラックを設定する

DVDのとき

例) タイトルF02JのチャプターTO3J

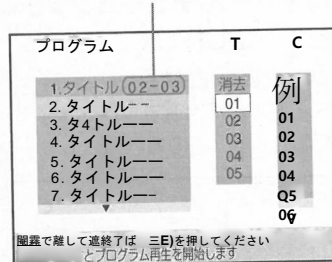
を設定する。

▲/▼または数字ボタンで「T」のF02Jを選び、決定を押す。



次に▲/▼または数字ボタンで「C」のrosjを選び、決定を押す。

設定されたタイトル/チャプター



CD、ビデオCDのとき

例) トラック「02」を設定する。

▲/▼または数字ボタンでFTJのTO2Jを選び、決定を押す。

設定したプログラムを消すには
CLEARを押す。

押すたびに最後にプログラムしたタイトル/チャプターまたはトラックが消えます。

テレビ画面上で「消去」を選び決定を押すと、同様に最後にプログラムしたタイトル/チャプターまたはトラックが消えます。

3 続けて再生するタイトル/チャプターまたはトラックを設定したいときは、手順2をくり返す

4 DVDのAを押す

プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生が終わっても、もう一度DVDのAを押すと同じプログラムを再生できます。

ふつうの再生に戻る

再生モード/チューニングモードをくり返して、「コンティニュー」を表示させる。

ちょっと一言

設定したプログラムでリピート再生もできます。プログラムを再生中に、リピート/FMモードを押します。またはプログラム再生中に、コントロールメニュー画面(80ページ)で「リピート」を「入」にします。

ご注意

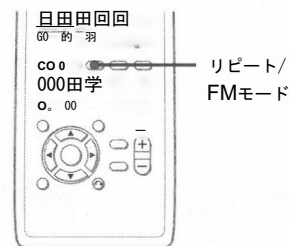
タイトルやチャプター、トラックはディスクに記録されている数だけ画面に表示されます。

くり返し再生する

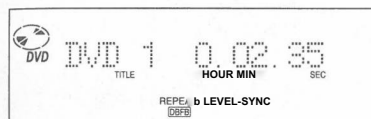
(リピート再生)



ディスク全体または1つのタイトルやチャプター、トラックをくり返し再生します。
シャッフル再生やプログラム再生をくり返すこともできます。



再生中にリピート/FMモードを押して、FREPEATJまたは「REPEAT 1J」を表示させる



REPEAT : 再生中のディスク全体をくり返します。

REPEAT1 CDのときは、再生中の1曲だけをくり返します。DVDのときは、再生中の1つのタイトルまたはチャプターだけをくり返します。押すたびにテレビ画面上の表示が次のように変わります。

| > REPEAT → REPEAT 1(タイトル) ——— >
•REPEAT OFF ← REPEAT 1(チャプター) |

リピート再生をやめる

リピート/FMモードを押して、FREPEATJまたは REPEAT1Jを消す。

ご注意

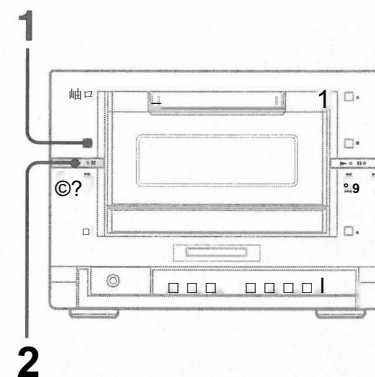
- DVDによってはリピート再生できない場合があります。
- ビデオCDのPBC再生では、リピート再生できません。

再生を止めたところから再生する

(リジューム再生)



再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、本機がスタンバイモード(待機状態)になってもリジューム再生が働きます。



1 ディスクの再生中、DVDの・を押して、再生を止める
表示窓に「RESUME」と表示されます。「RESUME」が表示されないときはリジューム再生はできません。

2 DVDのAllを押す

手順1で再生を止めたところから、再生が始まります。

ちょっと一言

ディスクを最初から再生したいときは、DVDの・を2回押してから、DVDのAllを押します。

次のページへ続く

再生を止めたところから再生する(つづき)

ご注意

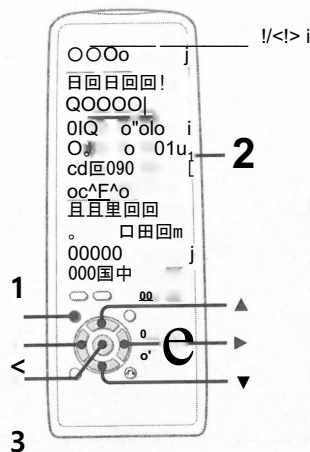
- ・再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- ・次の場合、再生を止めたところの記録は消えリジューム再生できません。
 - ディスクトレイを開閉したとき
 - 再生モードを変えたとき
 - 設定画面で設定を変更したとき

DVDのメニューを使う

DVDには、タイトルメニューや、DVDメニューのようなDVD独自のメニューが記録されているものがあります。これらのメニューを使って再生できます。ディスクによっては「タイトルメニュー」のことを「メニュー」または「タイトル」、 「DVDメニュー」のことを「メニュー」と表示するものがあります。また決定ボタンを押すことを、「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。

タイトルメニューを使う

複数のタイトル(映像や曲)が記録されているDVDを再生するときは、タイトルメニューで好きなタイトルを選べます。



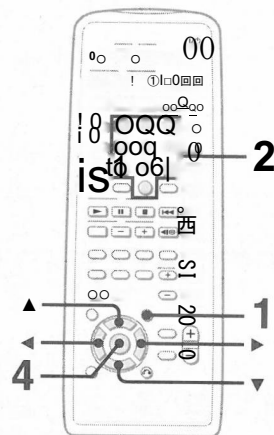
- 1 タイトルを押す
タイトルメニューが表示されます。
タイトルの内容はディスクによって異なります。

- 2 再生したいタイトルをV/A/A/Vまたは数字ボタンで選ぶ

- 3 決定を押す
選んだタイトルの再生が始まります。

DVD メニューを使う

ディスクの内容をメニューで選択できるDVDを再生するときは、再生したい項目や字幕の言語、音声の言語などをDVDメニューで選べます。

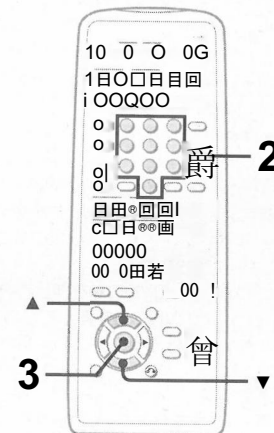


- 1 DVD メニューを押す
DVDメニューが表示されます。DVDメニューはDVDにより異なります。
- 2 選びたい項目を<"/>A/▼または数字ボタンで選ぶ
- 3 別の項目に変更したいときは、手順2をくり返す
- 4 決定を押す

プレイバックコントロール機能を使う

PBC*機能を使って、対話型の操作や検索などができます。
PBC再生とは、テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生を進めていくことです。

プレイバック コントロール
* PBCはPlayback Controlの略です。

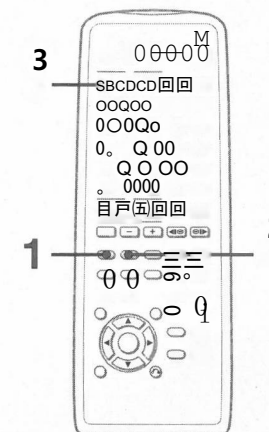


- 1 PBC対応ビデオCDを再生する
選択用のメニュー画面が表示されます。
- 2 メニュー画面で行いたい(再生したい)項目の番号を▲/▼または数字ボタンで選ぶ

次のページへ続く

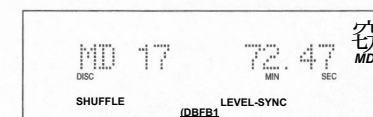
順不同に再生する (シャッフル再生)

本機が曲順を自動的に選んで、ひと通り再生します。再生する順番は、シャッフル再生をするたびに変わります。



1ファンクションをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

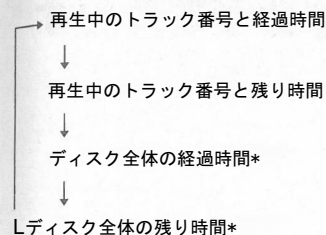
2停止中に再生モード/チューニングモードをくり返し押して、
rSHUFFLEJを表示させる



3 MDのAを押す

シャッフル再生が始まります。

CD・ビデオCD再生中

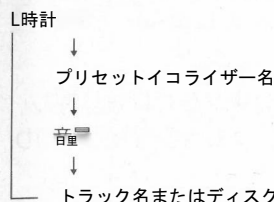


*シャッフル再生やプログラム再生中は表示されません。また、ビデオCDのPBC再生中はシーンの経過時間だけが表示されます。

トラック名やディスク名を調べる

再生中または停止中に、ディスプレイを押す

押すたびに次のようになります。



* CDテキスト付きCDの再生中にはトラック名、停止中にはディスク名が表示されます。CDテキストが付いていないCDの場合は、何も表示されません。

長い名前をスクロール表示する
スクロールを押す。
表示窓に名前が横に流れます(スクロール)。

ちょっと一言
テレビのメニュー画面でディスク全体の経過時間を見ることができます。詳しくは、93ページをご覧ください。

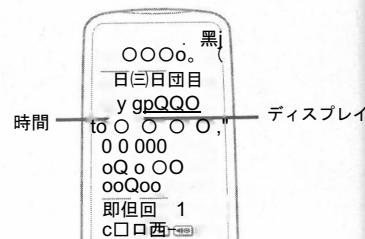
ご注意

! DVDによってはチャプター番号や時間が表示されない場合や、表示を変えられない場合があります。

表示窓の使いかた



ディスク全体または1つのタイトルやチャプター、トラック(曲)の残り時間を調べたり、ディスク名やトラック名を調べたりできます。ディスプレイボタンと時間ボタンを使って表示を切り換えます。



ディスプレイボタンで切り換える



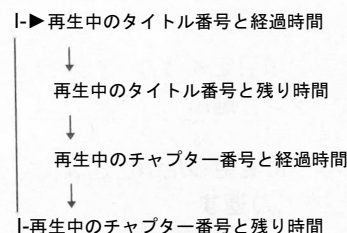
時間ボタンで切り換える

残り時間を調べる

再生中に時間を押す

押すたびに次のようになります。

DVD再生中



プレイバックコントロール機能を使う
(つづき)

3決定を押す

4テレビ画面に表示される選択用

のメニュー画面などにしたがつ

て、操作する

操作の方法はディスクによって異なる
ことがありますので、ディスク付属の
説明書もあわせてご覧ください。

選択用のメニュー画面に戻る

リターンCを押す。

ちょっと一言

PBC機能を使わないで再生するときは、停止中、DVDのI◀▶>1または数字ボタンを押して再生したいトラックを選んでから、DVDのAまたは決定を押します。画面上に「PBCを切って再生します」が表示され、ふっうの再生(トラック番号順に再生)が始まります。このとき、選択用のメニューなどの静止画は再生できません。PBC再生に戻すには、DVDの・を押して再生を止めたあと、もう一度DVDの・を押してからDVDのAを押して再生を始めます。

ご。主音

ディスクによっては手順3で決定を押すことを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、DVDのAを押してください。

順不同に再生する(つづき)

ふつうの再生に戻る

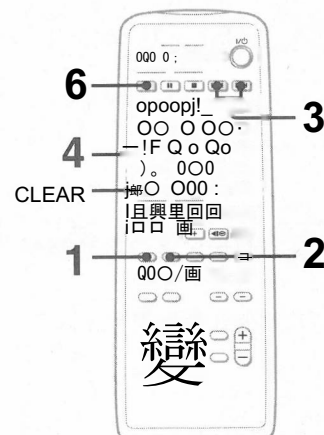
MDの・を押して再生を停止させてから、再生モード/チューニングモードをくり返し押して、「SHUFFLE」や FPROGRAMJ を消す。

ちよつと言

聞きたくない曲をとばすときは、MDのAXを押します。

好きな曲順で再生する (プログラム再生)

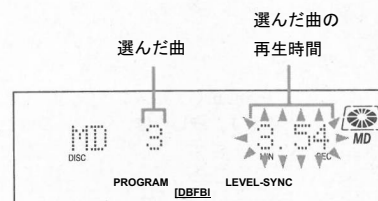
最大25曲まで選んでプログラムできます。



1 ファンクションをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

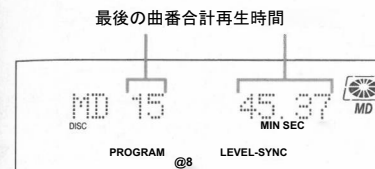
2 停止中に再生モード/チューニングモードをくり返し押して、「PROGRAM」を表示させる

3 MDの|◀または▶をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ



4 ENTER/YESを押す

選んだ曲がプログラムされます。
何曲目にプログラムされたか(Step数)が表示されたあと、最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計再生時間が表示されます。
間違えてプログラムしたときは、CLEARを押すと最後にプログラムした曲を消すことができます。



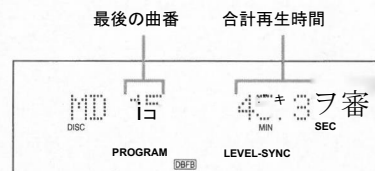
5 手順3、4をくり返す

6 MDのAを押す

プログラムした順に再生が始まります。

プログラムした曲の総数を調べる

停止中に時間ボタンを押す。
プログラムした曲の合計数(Step数)が表示され、次に最後にプログラムした曲番とプログラムした曲の合計再生時間が表示されます。



プログラムした曲順を確認する

MDのAを押して再生を始め、再生中にMDの*またはAXを押す。

その他の操作

こんなときは	操作
ふつうの再生に戻るMDの・を押してから、	再生モード/チューニングモードをくり返し押して、「PROGRAM」や「SHUFFLE」を消す。
最後に追加する(停止中のみ)	手順3、4を行う。
プログラムを消す	プログラム再生停止中にCLEARを押す。押すたびに最後にプログラムした曲が消えます。

数字ボタンを使って曲番を選ぶ

手順3、4のかわりに数字ボタンを押す。

10以降を選ぶには、>10を押してから曲番を押します。0を選ぶには、10/0ボタンを押します。

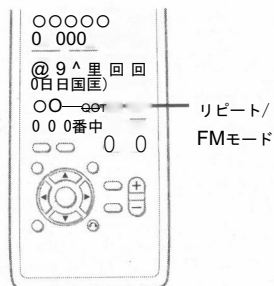
ちよつと言

・プログラム再生が終わっても、プログラムは残っています。MDのAを押すと、同じプログラムを開けます。ただし、MDを取り出したり、グループを押したりすると、プログラムは消えます。

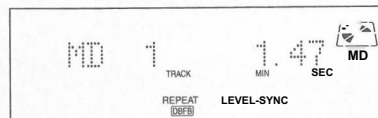
- ・26曲(Step)以上プログラムしようとしたときはrstep FullJが表示されます。
- ・MDの合計再生時間が1000分を超えたときは、「----」と表示されます。

くり返し再生する (リピート再生)

全曲または1曲をくり返し再生します。
シャッフル再生やプログラム再生をくり返す
こともできます。



再生中にリピート/FMモード慈里して、「R年芭TT」または旧年己ムT
11を表示させる



REPEAT* : 再生中のMDの全曲をくり返し
ます。

REPEAT1 : 再生中の1曲だけをくり返し
ます。

* 5回までしかくり返し再生できません。

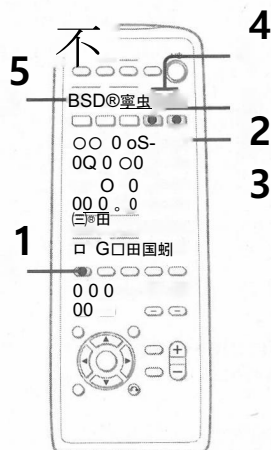
Uピート再生をやめる

リピート/FMモードを押して、「REPEAT」
または「REPEAT1」を消す。

グループ内の曲を再 生する

グループに登録したお気に入りの曲だけを聞
くことができます。

グループ機能について詳しくは、43ページ
をご覧ください。



1 ファンクションをくり返し押し
て、ファンクションをMDに切り
換える

2 MD停止中にグループをくり返し
押して、「GROUP」を表示させ
る

3 グループスキップをくり返し押
して、聞きたい曲があるグルー
プを選ぶ

4 グループ内の途中の曲から聞
きたいときは、MDのI◀または
AAをくり返し押して曲を選ぶ
グループ内の1曲目から再生を始め
るときは、手順5に進んでください。

5 MDのAを押す

再生が始まります。

グループ内の最後の曲の再生が終わ
ると、MDは自動的に停止します。

ちよつと言

37-40ページの操作についても、グループ内の曲
に限って同様にできます。

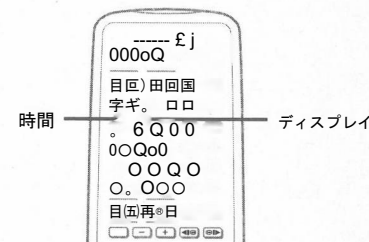
ご注意

・曲を登録していないグループを選んでMDのA
を押すと、MD内の最初のグループの1曲目から
再生が始まります。

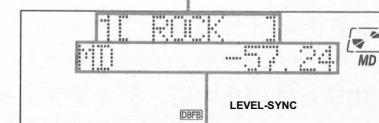
・手順3でグループを選ばずにMDのAを押すと、
MD内の最初のグループの1曲目(シャッフル再
生の場合は最初のグループ内の曲を本機が自動
的に選択)から再生が始まります。

表示窓の使いかた

MD全体または1曲の残り時間を調べたり、
MDのディスク名や曲名を調べたりできま
す。ディスプレイボタンと時間ボタンを使っ
て表示を切り換えます。



ディスプレイボタンで切り換える

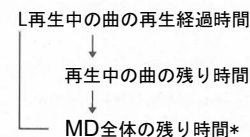


時間ボタンで切り換える

残り時間を調べる

再生中に時間を押す

押すたびに次のようになります。



* グループ機能が働いているときは、グルー
プ内の全曲の残り時間が表示されます。

次のページへ続く

総再生時間を調べる

停止中に時間を押す

押すたびに次のように変わります。

総曲数と総再生時間*2



MDの残り時間*3 (録音用MDのみ)

*2グループ機能が働いているときは総グループ数 (グループ未選択時) またはグループ内の総曲数 および総再生時間 (グループ選択時) が表示されます。MDの合計再生時間が1000分を超えたときは、「———J」と表示されます。

*3録音モードによって、表示される残り時間は異なります。

曲名やディスク名を調べる

再生中または停止中に、ディスプレイを押す

押すたびに次のように変わります。

時計

プリセットイコライザー名

音量

L-曲名またはディスク名*4

*4再生中には曲名、停止中にはディスク名が表示されます。名前を付けていないMDの場合は、何も表示されません。グループ機能が働いているときは、グループ名が表示されます。

長い名前をスクロール表示する

スクロールを押す。

表示窓に名前が横に流れます (スクロール)。

ちよつと言

ディスク名や曲名を付けたいときは「ディスク名や曲名を付ける」(59ページ)、グループ名を付けたいときは「グループ名を付ける」(61ページ)を

録音の前にお読みください

MD (ミニディスク) は、音質劣化の少ない「デジタル方式」で録音、再生を行います。また、CDにあるような曲番 (トラック番号) を付けることで、すばい曲の頭出しや、録音した曲の編集を実現しています。本機では音源によって、次のように録音を行います、曲番を付けます。

本機に入れたCDから録音するとき

- ・デジタル録音をします*、
- ・曲番は自動的にCDと同じように付きます。ただし、曲によっては付かないことがあります (120ページ)。

本機に入れたDVDやビデオCDから録音するとき

- ・アナログ録音をします。
- ・曲番は録音開始点にしか付きませんが、レベルシンクロ録音 (53ページ) で「Mark LSync」にすると、録音レベルを検出して自動的に付きます。

デジタル イン オプティカル DIGITAL IN (OPTICAL) 入力端子につないだ別売りのデジタル機器 (CS/BSチューナーなど) から録音するとき

- ・デジタル録音をします*、
- ・曲番の付きかたは録音する音源によって異なります。

本機のラジオや、TAPe入力端子につないだ別売りの機器から録音するとき

- ・アナログ録音をします。
- ・曲番は録音開始点にしか付きませんが、レベルシンクロ録音 (53ページ) で「T.Mark LSync」にすると、録音レベルを検出して自動的に付きます。

MDの曲番について (TOC)

MDでは、曲番 (曲順) や曲の開始/終了点などの情報を「TOC*2」と呼ばれる領域で、音楽とは別に管理しています。「TOC」の情報を書き換えるだけで曲の編集がすばやくできます。

Hデジタル録音には制約があります (120ページ)。

*2Table of Contents

*2Table of Contentsの略 (目次の意味)。

録音をした後は

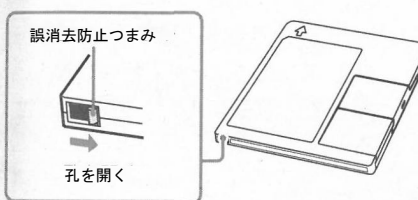
2MDを押してMDを取り出す、またはI/O (電源) を押して電源を切る。FTOCJが点灯または点滅し始め、録音の情報がMDへ書き込まれ、録音が完了します。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中 (「TOC」が点灯または点滅) は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

MDの録音内容を消したくないときは

・誤消去防止つまみをずらして孔を開きます。再び録音するときは、つまみを元の位置に戻します。



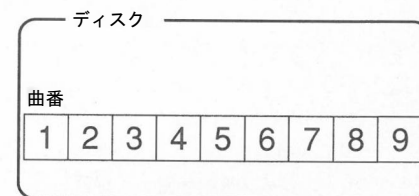
・MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」とFProtectedJが交互に表示され、録音できません。誤消去防止つまみを元の位置に戻して、孔をふさいでください。

曲をグループに分けて録音する (グループ機能)

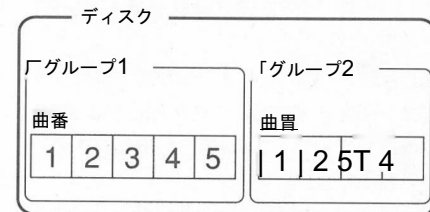
グループ機能とは?

1枚のMDの中の曲をグループに分けて再生、録音、編集できる機能です。何枚かのCDアルバムをMDLP録音して、1枚のMDで管理するときなどに便利です。グループボタンでグループ機能のOn/Offを切り換えます。

グループ機能Off時



グループ機能On時



グループ機能を使った操作

- ・グループ内の曲を再生する (40ページ)
- ・グループに名前を付ける (61ページ)
- ・録音した曲を新しいグループの中に入れる (63ページ)
- ・グループ登録を解除する (64ページ)

ご注意

本機のグループ機能を使って録音したMDは、他のグループ機能対応機器でもお使いいただけます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。

曲をグループに分けて録音する(つづき)

グループ情報はどのように記録されているの？

グループ機能を使って録音すると、グループ管理情報は、「ディスク名」として自動的にMDに記録されます。具体的には以下のような文字列がディスク名の記録領域に書き込まれています。

ディスク名の記録領域

0 ; Favorites // 1 - 5 ; Rock // 6 - 9 ; Pops // ...
①

①ディスク名を「Favorites」にする。

1曲目から5曲目をFRockJという名のグループに入れる。

6曲目から9曲目をrpopsjという名のグループに入れる。

そのため、グループ機能を使って録音したMDを、グループ機能未対応機器や、グループ機能を働かせていないときの本機で読み込むと、上の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。

もしNAME機能を使ってこの文字列を誤って書き換えてしまうと、そのMDではグループ機能が使えなくなる*場合がありますのでご注意ください。

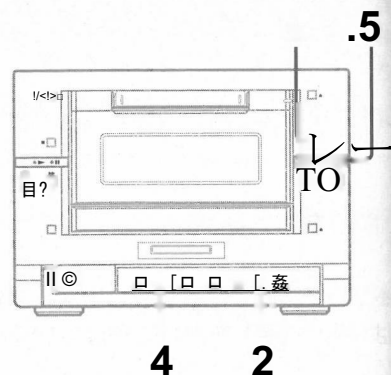
*「GROUP」が点滅します。再びグループ機能を使うには、「全曲を一度に解除する」(64ページ)を行って、すべてのグループ登録を解除してください。

ご注意

- ・グループ機能の設定は、MDを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
- ・グループ機能が働いているときは、グループに登録されていない曲は表示、再生できません。
- ・グループの順番を変えることはできません。
- ・グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないMDを挿入すると、「GROUP」が点滅します。この場合、グループ機能を使うことはできません。

新しいグループを作って録音する

CDアルバム別やアーティスト別など、好みにあわせてグループを作ることができます。



1 録音用のMDを入れる

2 ファンクションをくり返し押して、「DVD」など録音したい音源を表示させる

- ・DVD : 本機のディスクの音を録音する
- ・FMまたはAM : 本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」(112、115ページ)をご覧ください。

3 ソモコン2以、マをくざし押して、「GR(5UP)」を表示させる

4 レコードレックイット、REC/REC ITをす甲す
「New Group」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

5 MDAIIを押してから、録音したい音源(CDなど)の再生を始める

続けて別の新しいグループを作って録音するときは、録音後にファンクションをMDに切り換えてからMDの■をくり返し押してディスク名と総グループ数を表示させたあと、手順2-5を行ってください。

本機のディスクから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にREC/REC ITを押すと、押したところに曲番が付きます(トラックマーク)。ラジオからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」(53ページ)をご覧ください。

手順4でREC/REC ITを押したときにrGroup FullUと表示されるときはグループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。不要な文字(ディスク名または曲名)を消す(61ページ)ことによって、グループに録音できるようになります。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちよつと一言

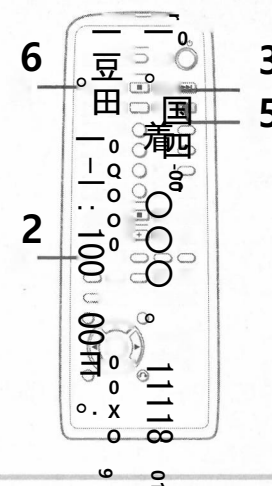
- ・録音される音の大きさをお好みで調節できます(57ページ)。
- ・録音中にリモコンの時間ボタンを押すと、MDG残り時間を見ることができます。

ご注意

- ・すでに曲が記録されている別のグループがある場合、新しいグループはその後ろに追加されます。
- ・1枚のMDの中には99グループまで登録できます。
- ・録音中にFGroup FullUと表示されたときは、曲番は付きません。

既存のグループの中に録音する

既存のグループに、曲を追加することができます。



1 録音用のMDを入れる

2 ファンクションをくり返し押して、「DVD」など録音したい音源を表示させる

- ・DVD : 本機のディスクの音を録音する
- ・FMまたはAM : 本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するときは、「つないだ機器の音を録音する」(112、115ページ)をご覧ください。

3 グループをくり返し押して、FGROUPJを表示させる

次のページへ続く

曲をグループに分けて録音する(つづき)

4 本体のREC/REC IIを押す

「New Group」が点滅し、MDが録音一時停止になります。

5 グループスキップをくり返し押しして、曲を録音したいグループを表示させる

6 MDのAを押してから、録音したい音源(CDなど)の再生を始める

本機のディスクから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にREC/REC IIを押すと、押したところに曲番が付きます(トラックマーク)。ラジオからの録音中に自動で曲番を付けたいときは「曲番を付ける」(53ページ)をご覧ください。

手順4でREC/REC IIを押したときにFGroup FullUと表示されるときは

グループ管理に必要な文字数が不足しているため、録音ができません。

不要な文字(ディスク名または曲名)を消す(61ページ)ことによって、グループに録音できるようになります。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちょっと一言

- ・録音される音の大きさをお好みで調節できます(57ページ)。
- ・録音中に時間ボタンを押すと、MDの残り時間を見ることができます。

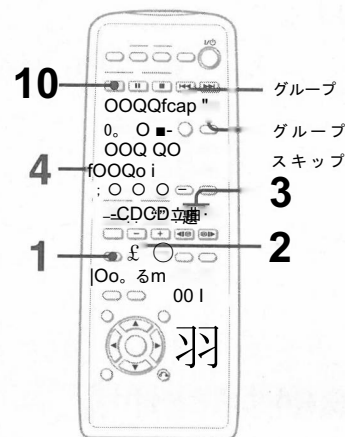
ご注意

- ・録音した曲は、グループ内の最後の曲の後ろに追加されます。
- ・既存のグループに曲を追加録音すると、グループ機能を解除したときに、追加録音した曲以降の曲番が変わることがあります。
- ・録音中に「Group FullU」と表示されたときは、曲番は付きません。

好きなトラックだけを録音する (CD-MDシンクロ録音)

プログラム再生機能で好きな曲を選んでから、シンクロ録音機能を使って選んだ曲をMDに録音します。

録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。

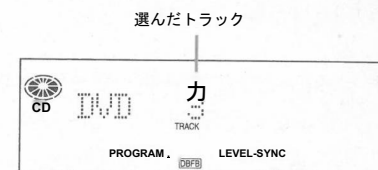


好きな曲を選ぶ

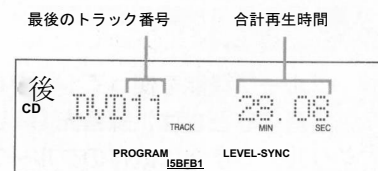
1 ファンクションをくり返し押しして、ファンクションをDVDに切り換える

2 停止中に再生モード/チューニングモードをくり返し押しして、FPROGRAMJを表示させる

3 DVDのI◀またはAAをくり返し押しして、録音したいトラックの番号を表示させる



4 エンター イース ENTER/YESを押す
選んだトラックがプログラムされます。
何トラック目にプログラムされたか(Step数)が表示されたあと、最後にプログラムしたトラック番号とプログラムの合計再生時間が表示されます。



5 手順3、4をくり返し、続けてトラックを選ぶ
好きなトラックをプログラムしたら、続けてMDに録音します。

次のページへ続く

好きなトラックだけを録音する(つづき)

MDに録音する

6録音用のMDを入れる

7グループ機能を使ってシンクロ

録音するときは、グループをくり返し押し、「GROUP」を表示させる

グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順8に進んでください。

8本体のCD SYNCを押す

グループ機能を使うときは「MD New Group」、グループ機能を使わないときは「MD New TrackJ」と、MDの残り時間が交互に表示されます。

9グループ機能を使ってシンクロ

録音するときは、録音先(新しいグループまたは既存のグループ)によって、以下のように操作する

新しいグループを作ってシンクロ録音するには

手順10に進む。

既存のグループの中にシンクロ録音するには

グループスキップをくり返し押し、曲を録音したいグループを表示させる0

グループ機能を使わないでシンクロ録音するときは、手順10に進んでください。

10MDのaを押す

ディスクの再生とMDの録音が始まります。選んだトラックすべての録音が終わると、ディスクの再生とMDの録音が自動的に停止します。

録音を止める

MDの■を押す。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

- 再生モードがリビートやシャッフルになっているときは、手順8で自動的にふつうの再生に切りかわります。
- MDが誤消去防止状態になっていると、「C11」とFProtectclJが交互に表示され、録音できません。WMDを押してMDを取り出し、誤消去防止つまみを動かして、孔をふさいでください(43ページ)。
- ビデオCDの場合、PBC再生は自動的に解除されます。
- CD-MDシンクロ録音中は、以下の機能が働きます。
 - オートカット機能
 - 「Setup?」で設定した録音レベルの設定値(録音レベルは0.0dBで録音されます)

録音中に曲名を付ける

録音中にFTEXTJ表示が点灯または点滅しているときは、次の方法でCDテキストの情報がMDに記録できます。

録音中に自動的に記録する

「TEXT」表示が点灯しているときは、すべての曲名が自動的に記録されます。

録音中に記録する

FTEXTJ表示が点滅しているときは、NAME EDIT/SELECTを押したあとENTEFVYESを押すと、録音している曲の曲名が記録できます。

ご注意

CDテキストの情報は、ディスクによっては自動的に記録できないことがあります。

再生中のトラックを録音する(レックイット)

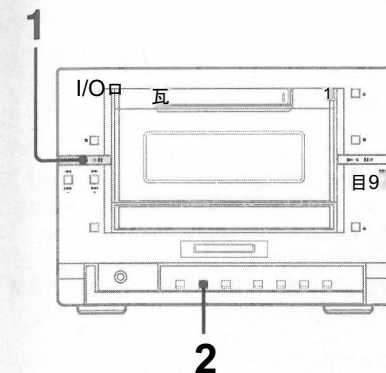
DVD CD VIDEO CD

DVDやCDを聞きながら、気に入ったタイトル/チャプターまたはトラックをその場で

MDに録音できます。

録音済みのMDの場合は、最後のトラックのあとに録音されます。

DVDによっては録音できない場合があります。



1 DVD/IIを押す

ディスクの再生が始まります。

2録音したいチャプターまたはトラックを聞きながらREG/REC ITを押す

DVDの場合、現在再生中のチャプター(チャプターがない場合はタイトル)、CDの場合は現在再生中のトラックの頭に戻り、録音が始まります。

DVDの場合はタイトル、CDの場合は録音中のトラックが終了すると、MDは自動的に停止します。

録音を止める

MDの・を押す。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

- DVDによっては、チャプター(またはタイトル)の頭に戻らないことがあります。その場合は警告表示が出ます。
- ビデオCDのPBC再生中は、レックイットできないことがあります。
- MDのレベルシンクロ録音機能(53ページ)が働くように設定すると、曲の途中に無音があるDVDやビデオCDの録音時、途中で録音が止まる場合があります。
- DVDを録音しているときにバーチャルサラウンド(75ページ)を切り換えると、一瞬音が途切れ、そこに曲番が付くことがあります。
- レックイット中は、以下の機能が働きます。
 - トラックマーク機能(CDのみ)
 - オートカット機能(CDのみ)
 - FSetup MenuJで設定した録音レベルの設定値(録音レベルは0.0dBで録音されます)

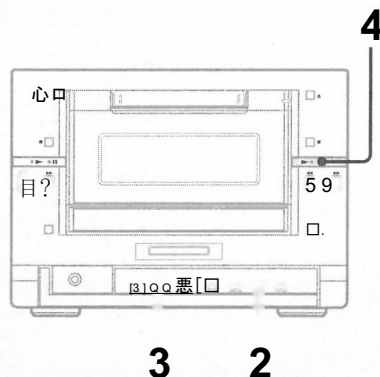
好きな部分だけを録音する (マニュアル録音)



ディスクの好きな部分だけを録音したり、プログラムした順番で録音したいときは、この方法で録音します。

曲間をそろえたいときは、スマートスペース (55ページ) をOnに設定してください。

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。



1 録音用のMDを入れる

2 FUNCTIONをくり返し押し

て、録音したい音源を表示させる

- DVD : 本機のディスクの音を録音する
- FMまたはAM : 本機のラジオの音を録音する

別売りの機器から録音するとき、**「つないだ機器の音を録音する」** (112、115ページ) をご覧ください。

3 REC/REC ITを押す

MDが録音一時停止になります。

4 MDAIIを押してから、録音したい音源(CDなど)の再生を始める

本機のディスクから録音するときは、曲番が自動的に付きます。録音中にREC/REC ITを押すと、押したところに曲番が付きます (トラックマーク)。ラジオからの録音中に自動で曲番をつけたいときは**「曲番を付ける」** (53ページ) をご覧ください。

録音を止める

MDの・を押す。

電源コンセントを抜く前にMDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中 (「TOC」が点灯または点滅) は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ちよつと言

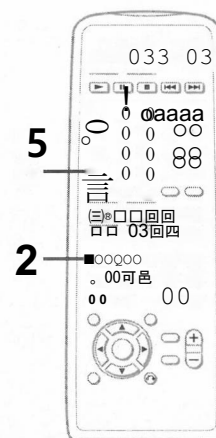
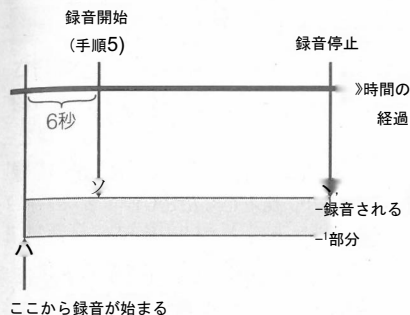
- ・録音される音の大きさをお好みで調節できます。手順3のあとに調節します (57ページ)。
- ・録音中にリモコンの時間ボタンを押すと、MD0残り時間を見ることができます。

ご注意

- ・録音中に一時停止すると、そこに曲番が付きます。また、同じディスクの同じタイトルまたはトラックや、違うディスクの同じタイトルのタイトルを続けて録音すると、曲番が1つしか付かないことがあります。
- ・DVDを録音しているときにバーチャルサラウンド (75ページ) を切り換えると、一瞬音が途切れ、そこに曲番が付くことがあります。

6秒前の音から録音する (タイムマシン録音)

入力されている音を本機のメモリーに蓄えておくことにより、録音開始の6秒前の音から録音することができます。衛星放送やFM放送などのエアチェックで、録音を始めるタイミングが遅れて頭の部分を録音し損なうのを防ぐのに便利です。



1 録音用のMDを入れる

2 ファンクションをくり返し押して、録音したい音源を表示させる

3 本体のREC/REC ITを押す

MDが録音一時停止になります。

4 録音したい音源の再生を始める

5 録音を始めたいところで、ENTER/YESを押す

この手順を行う6秒前にさかのぼって録音を始めます。

途中まで録音済みのMDの場合は、録音済みの曲のあとに録音されます。

タイムマシン録音を止める

・を押す。

電源コンセントを抜く前にMDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中 (「TOC」が点灯または点滅) は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

本機は、手順3で録音一時停止の状態になった時点から、入力されている音をメモリーに蓄え始めます。録音一時停止状態になってから6秒以上経過したあとで録音を始めないと、6秒前の音から録音できません。

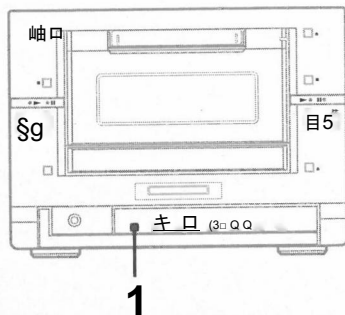
長時間録音する

録音時間を2倍長または4倍長(60分のMDなら120分または240分)にしてステレオ録音できます(MDLP録音)。またモノラル録音では、ステレオ信号をモノラルに変換して録音します。録音時間は通常のステレオ録音の約2倍になります。

LP4ステレオモード(4倍長時間録音モード)は、特殊な圧縮方式によって長時間ステレオ録音を実現しています。音質を重視するときは、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音(2倍長時間録音)をお勧めします。

ご注意

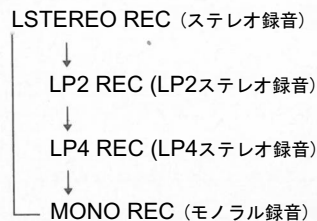
MDLP録音した曲は、MDLP未対応機器で再生することができません。また、S.F EDITなど、使用できないMD編集機能が一部あります。



1 CD-MDシンクロ録音など、それぞれの録音を開始する前に、REC MODEをくり返し押し

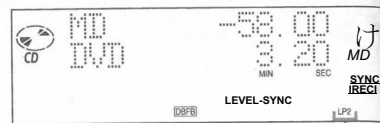
て、録音モードを選ぶ

押すたびに次のようになります。



2 録音を始める

選んだ録音モードで録音されます。



選ばれている録音モード
(表示なしのときはステレオ録音)

録音モードを変更する

選んだ録音モードは録音が終了しても保持されます。録音の前には必ず録音モードを確認してください。変更する場合は、MDの・を押してからREC MODEをくり返し押して録音モードを切り換えてください。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

ご注意

- MDLP録音したMDを再生するときは、MDLP対応機器を使ってください。MDLP未対応機器で再生することはできません。
- 録音中または録音一時停止中に録音モードを変えることはできません。
- 録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声(ステレオ信号録音時はステレオ音声)が聞こえます。

MDLP録音時に、曲名の最初に「LP: J」を付ける

MDLP未対応機器で再生しようとする则表示されます。MDLP録音した曲であることが一目で分かるため便利です。出荷時はOnに設定されています。

1リモコンのファンクションをくり返し押して、フンクションをMDに切り換える。

2リモコンのMENU/NOを押す。

3リモコンのMENU+または一をくり返し押して「Setup?」を表示させ、リモコンのENTER/YESを押す。

4リモコンのMENU+または一をくり返し押して「LP Stamp Off」(または「LP Stamp OnJ」)を表示させ、ENTER/YESを押す。

5リモコンのMENU+または一をくり返し押して「LP Stamp OnJ」を表示させ、ENTER/YESを押す。

6 MENU/NOを押す。

「LP:」を付けるのをやめる

手順5で「LP Stamp OffJ」を表示させ、ENTER/YESを押す。

ご注意

- 記録された「LP:」は、MDLP未対応機器で再生しようとしたときに、再生ができないことを表示する確認用のスタンプです。再生可能なMDLP対応機器では表示されません。
- Onに設定すると曲名として記録されるため、1枚のMDに入力できる文字数が少なくなります。DIVIDE機能(69ページ)を使って曲を分けると、後の方の曲にも「LP:」が付きます。

曲番を付ける

曲番は次の方法で付けることができます。

・録音中に自動的に付ける

本機のディスクおよびDIGITAL IN (OPTICAL) 入力端子につないだ機器からの録音時は、音源にしたがって自動的に付きます。ただし、曲によっては付かないことがあります(120ページ)。本機のラジオおよびTAPE入力端子につないだ機器からの音源を録音しているときは、レベルシンクロ録音を使うと、自動的に付けることができます。ただし、テープやラジオなどの音源で雑音が多い場合は自動では付かないことがあります。

・録音中に好きなところに付ける

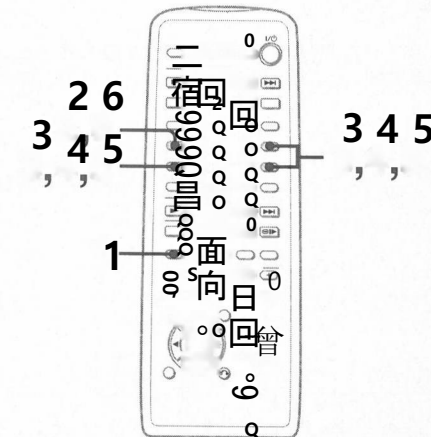
マニュアル録音中、どの音源からでも付けることができます。

・録音後に付ける

MD編集のDIVIDE機能(69ページ)を使います。

録音中に自動的に付けるよう設定する(レベルシンクロ録音)

工場出荷時はレベルシンクロ録音機能が働くよう設定されていますので、自動的に曲番が付きます。録音時に表示窓にFLEVEL-SYNCJと表示されないときは、以下の手順でレベルシンクロ録音機能が働くよう設定してください。曲番は、音源からの入力信号が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再び、そのレベルを越えたときに付きます。



曲番を付ける(つづき)

1 ファンクションをくり返し押し
て、ファンクションをMDに切り
換える

2 MENU/NOを押す

3 MENU+または一をくり返し押し
して「T.Mark Off」(または
「T.Mark LSyncJ」)を表示させ、
ENTER/YESを押す

4 MENU+または一をくり返し押し
して「T.Mark Off」(または
「T.Mark LSyncJ」)を表示させ、
ENTER/YESを押す

5 げたnu+または一をくり返し押し
して「T.Mark LSyncJ」を表示させ、
ENTER/YESを押す
「LEVEL-SYNC」が点灯します。

6 疋セ加!パ6を押す

続けて録音するときは、それぞれの録
音のページにある手順に従って操作し
ます。

自動的に曲番を付けるのをやめる
手順5で「T.Mark OffJ」を表示させ、
ENTER/YESを押す。
「LEVEL-SYNC」が消えます。「LEVEL-
SYNCJ」が消えているときは、録音開始点に
のみ曲番が付きます。

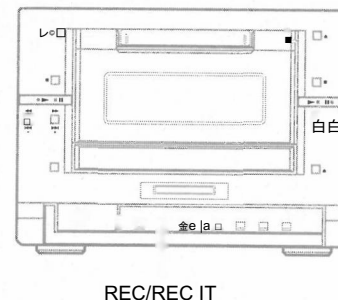
入力信号の検出レベルを変更する
レベルシンクロ録音機能が働くように設定す
ると、ここで設定したレベル以下の信号入力
が約2秒以上続いたあとで、再び設定レベル
以上の信号が入力されたときに新しい曲番が
付きます。出荷時は-50dBに設定されてい
ます。
テープやラジオなど、雑音が多く曲番が付
にくいときは、設定レベルを上げる(MENU
+を押す)と曲番が付きます。
1 録音一時停止中にMENLVNOを押して
rSetup?Jを表示させ、ENTER/YESを押
す。
2 MENU +または一をくり返し押しして
「LS(T)」を表示させ、ENTER/YESを押
す。
3 MENU +または一をくり返し押しして入力
信号のレベルを-72dBから0dB (2dB単
位)の範囲で選び、ENTER—ESを押す。
4 MENU/NOを押す。

ご注意

DVDの映画やライブなどのソフトを録音している
ときには、レベルシンクロ録音機能は働きません。

録音中に好きなところに付ける
(トラックマーク)

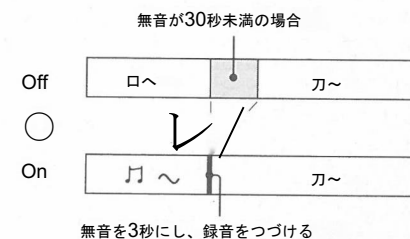
マニュアル録音中は、音源や接続方法にか
かわらず、好きなところに曲番を付けられま
す。



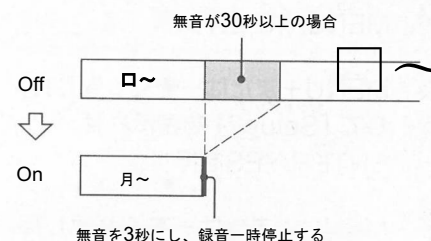
マニュアル録音中に、曲番を付けたい
ところでREC/REC ITを押す
押したところに曲番が付きます。

曲間をそろえる (スマートスペース)

CDのデジタル録音時は、自動的に曲間がそ
ろいます。その他の録音をしているときは、
スマートスペースをOnに設定すると、録音
中に約3秒以上(約30秒未満)の無音状態が
続いたときに、無音部分を約3秒に短縮して
録音します。

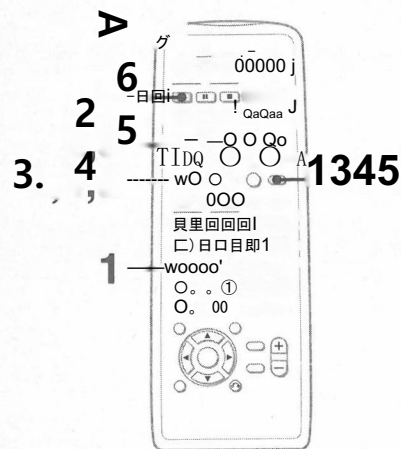


オートカット: スマートスペースをOnに設
定すると、約30秒以上の無音が続いたと
き、無音部分が約3秒に短縮され、録音一時
停止状態になります。



次のページへ続く

スマートスペースをOnに設定する



1 ファンクションをくり返し押し
て、ファンクションをMDに切り
換える

2 Mm前/Kdを押す

3 ^{メニュー}MCNU + または ^{セットアップ} をくり返し押し
して「Setup?」を表示させ、
^{エンター イエス} ENTER/YES を押す

4 ^{メニュー} MENU + または ^{スマートスペース オフ} をくり返し押し
して「PS.Space Off」(または
^{スマートスペース オン} PS.Space OnJ)を表示させ、
^{エンター イエス} ENTER/YES を押す

5 ^{メニュー} MCNU + または ^{スマートスペース オン} をくり返し押し
して「S.Space OnJ」を表示させ、
^{エンター イエス} ENTER/YES を押す

6 ^{メニュー} MENU/NO を押す

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順に従って操作します。

録音中、約30秒未満の無音状態が続くと「Smart Space」と表示され、無音部分が約3秒に短縮され、そのまま録音を続けます。

録音中、約30秒以上の無音状態が続くと「Auto Cut」と表示され、無音部分が約3秒に短縮されたあと、録音一時停止状態になります。録音を続けたいときは、MDのAを押します。

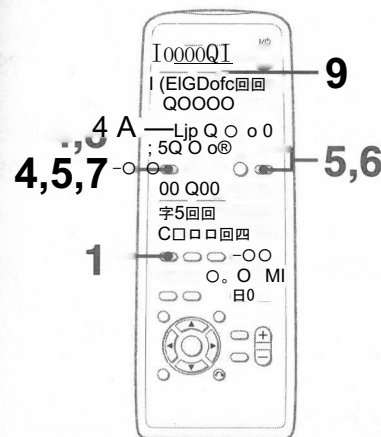
自動的に曲間をそろえるのをやめる
手順5で「S.Space OffJ」を表示させ、
ENTER/YES を押す。

ちよつと言

工場出荷時はスマートスペースが設定されています。電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いても、最後に設定した状態(S.Space OnまたはOff)は記憶されています。

録音レベルを調節する

MDに録音するときに、お好みで録音される音の大きさが調節できます。アナログ録音だけでなく、CDなどのデジタル録音でも調節できます。



1 ファンクションをくり返し押し
て、録音したい音源を表示させる

2 ^{レコード レック イット} 本体のREC/REC n を押して、
録音一時停止にする

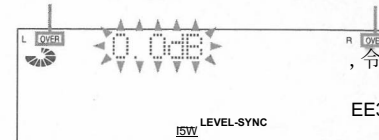
3 録音したい音源の再生を始める

4 ^{メニュー} MENU/NO を押して「Setup?」
を表示させ、^{セットアップ} ENTER/YES を押す

5 ^{メニュー} MENU + または ^{レベル アジャスト} をくり返し押し
して「LevelAdjustJ」を表示させ、
^{エンター イエス} ENTER/YES を押す

6 ^{メニュー} MENU + または ^{レベル アジャスト} を押して、録音される音の大きさを調節する
一番大きい音のとき、表示窓に
「OVER」が点灯しないようにします。

FOVERJが点灯しないように調節する



7 ^{エンター イエス} ENTER/YES を押す

8 ^{メニュー} MENU/M6 を押す

9 MDの・を押して、MDを停止させる

10 CDなどを再生しているときは、
再生を止める

続けて録音するときは、それぞれの録音のページにある手順に従って操作します。

ちよつと言

・録音中にも、録音レベルを調節できます。
・調節した録音レベルは次に調節するまで保持されます。
・CD-MDシンクロ録音またはレックイット時は、この機能は働きません。

編集の前にお読みください

録音済みの1枚のMD上で、曲の移動や削除などの編集作業が行えます。編集を行うことで、MD間でのダビングをせずに、オリジナルMDアルバムの作成をお楽しみいただけます。

編集機能

- ◆ **Name -名前を付ける**(59、61ページ)
ディスク名、曲名、グループ名を記録できます。
入力できる文字はカタカナ、アルファベット(大文字、小文字)、数字、記号の一部です。
- ◆ **Create -グループを作る**(63ページ)
新しいグループを作って、録音済みの曲を登録することができます。
曲を登録せずに、グループだけを作ることができます。
- ◆ **Release -グループ登録を解除する**(64ページ)
グループ登録を簡単に解除することができます。全曲の登録を一度に解除することもできます。
- ◆ **自脱-曲を削除する**(65ページ)
不要な曲を削除できます。
- ◆ **倉6ね一曲順を変える**(68ページ)
理順の入れ替えが自由にできます。
- ◆ **Sim'e -曲番を付ける**(69ページ)
曲をふたつに分ける(Divide)と、分けたところに曲番が付きます。
この機能を使って、曲の途中一例えば好きなフレーズのはじめに曲番を付けると、好きなフレーズの頭出しもできます。

- ◆ **Combine -曲をつなぐ**(70ページ)
この機能を使うとふたつの曲が1曲につながります。
1曲目と4曲目のように離れている曲でもつながることができます。
- ◆ **仮品一編集作業を取り消す**(72ページ)
誤って違う曲を消してしまったり、順番を間違えて入れ替えたときなど、その操作を取り消して、消してしまった曲や、曲順を元に戻すことができます。
- ◆ **名 せも 上録音レベルを変更する**(73ページ)
録音後に1曲全体の録音レベルを変更したり、フェードイン・フェードアウトする曲を作ることができます。

編集をはじめる前に

- MDの編集をするには、
- ・ MDが書き込み可能な状態になっている
 - ・ MDの再生モードがふつうの再生になっている
- が必要です。編集をはじめる前に、必ず次の確認操作を行ってください。

1 MDが誤消去防止状態になっていないか確認する

誤消去防止状態になっているときは、つまみを動かして孔をふさぎます。
MDが誤消去防止状態になっているときは、編集作業はできません。

- ## 2 リモコンの再生モード/チューニングモードをくり返し押し、
- rSHUFFLEJまたは
fPROGRAMJを消して、ふつうの再生にする
編集作業はふつうの再生のときのみ行えます。シャッフル再生またはプログラム再生中は、編集作業はできません。

編集をした後は

2MDを押してMDを取り出す、またはI/O(電源)を押して電源を切る
CTOCJが点灯または点滅し始めます。編集の情報がMDへ書き込まれ、編集が完了します。

電源コンセントを抜く前に
MDの編集は編集情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。編集情報が正しく記録されません。

ディスク名や曲名を付ける(NAME)

ディスク名や曲名は、次の方法で付けることができます。

録音中に付ける：CDを録音中に「TEXT」表示が点滅しているときは、曲名が記録できます(48ページ)。

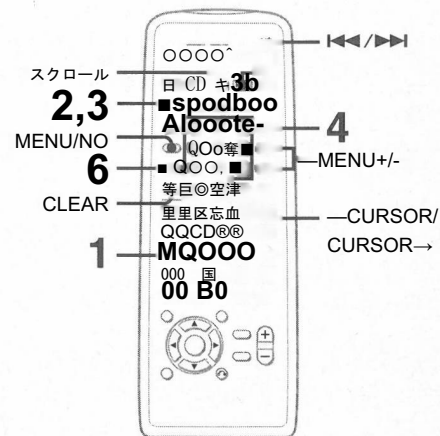
録音後に付ける：MD編集のNAME機能(このページ)を使います。

1枚のMDに、ディスク名、曲名、グループ名を合計約1700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。

以下はグループ機能が働いていないときの手順です。グループに名前を付けたいときは、「グループ名を付ける」(61ページ)をご覧ください。

ただし、グループ機能を使って録音したMDにディスク名を付けるときは、グループ管理情報を誤って書き換えてしまわないように、グループ機能を働かせた状態でディスク名を付けてください。

グループ管理情報について詳しくは、43ページをご覧ください。

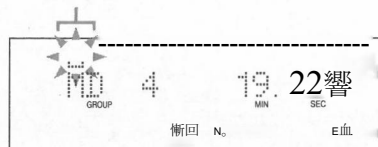


次のページへ続く

4 名前を付けたいグループの総曲

数が表示されているときに、
京一ム エディット セレクト
NAME EDIT/SELECTを 押す
文字入力画面になり、カーソルが点滅
します。

カーソル



5 「ディスク名や曲名を付ける」の 手順3-6 (60ページ)を行う

途中でやめる
MENU/NOを押す。

ちょっと一言
別売りのキーボードを使って名前を付けることもで
きます(116ページ)。

付けた名前を確認する

停止中に、グループをくり返し押して
FGROUPJを表示させてからスクロールを
押すと、表示窓に名前が横に流れます(スク
ロール)。スクロール中にスクロールを押す
と、流れている名前が止まります。もう一度
押すと、再びスクロールします。

付けた名前を消す

- 1 停止中にグループをくり返し押して
「GROUP」を表示させる。
- 2 MENU/NOを押す。
- 3 MENU+または一をくり返し押して「Nm
Erase 2Jを表示させ、ENTEFVYESを押
す。
- 4 グループスキップをくり返し押して名前を
消したいグループ名を表示させ、ENTER/
YESを押す。
付けた名前が消え、「Complete!」が表示
されます。

名前を消すのをやめる
MENU/NOを押す。

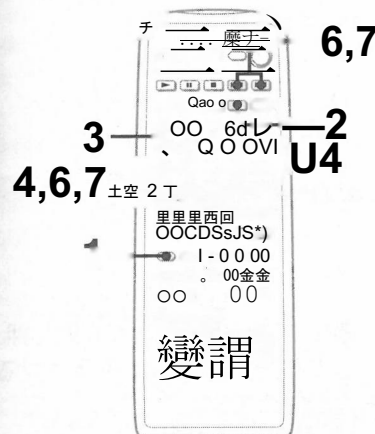
名前を付ける/消す前の状態に戻す
名前を付けたり、消したりしたすぐあとな
ら、元の状態に戻せます(72ページ)。

ご注意

- ・曲名は再生中でも付けられます。名前を付け終わ
るまで再生がくり返されます。
- ・MDが誤消去防止状態になっているときは、ディ
スク名や曲名、グループ名が付けられません。
eMDを押してMDを取り出し、誤消去防止つま
みを動かして孔をふさいでください(43ペー
ジ)。
- ・ディスク名に、Fabcd/defJのように「//」を文字
の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場
合がありますのでご注意ください。
- ・曲が登録されていないグループの名前は消すこと
ができません。

録音した曲を新しい グループの中に入れ る(CREATE)

新しいグループを作って、録音済みの曲を登
録することができます。グループ登録されて
いない、連続した曲のみで登録できます。



1 ファンクションをくり返し押し
て、ファンクションをMDに切り
換える

2 グループをくり返し押して、
FGROUPJを表示させる

3 MENU/K6を押して、「Edit
MenuJを表示させる

4 痴日前J+または一をくり返し押
してFGp Create?Jを表示さ
せ、ENTEFVYESを押す

5 「ディスク名や曲名を付ける」の
手順3-6 (60ページ)を行う

6 MDの*または一をくり返し
押して登録したい最初の曲番を
選び、ENTER/YESを 押す

7 MDの*または一をくり返し
押して登録したい最後の曲番を
選び、ENTER/YESを押す
(1曲のみ登録するときは、その
ままだう一度ENTEFVYESを押
す)
「Complete!」が数秒間表示されて、新
しいグループに曲が登録されます。

曲を登録せずにグループだけを作る
手順6でI+またはAHをくり返し押して
FNoneJを表示させ、ENTEFVYESを押す。
rCompleterJが数秒間表示されて、グルー
プが作られます。

ちょっと一言
グループ機能のない機器で録音した曲でもグループ
登録することができます。

ご注意

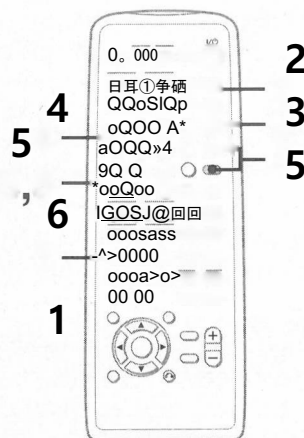
- ・ 1つの曲を複数のグループに登録することはでき
ません。
- ・ すべての曲がグループ登録されているときは、手
順5の後で「Assign NoneJと表示され、登録で
きません。
- ・ 曲の登録をしないでグループを作るときは、必ず
グループ名が必要です。
- ・ 手順5でグループ名を入力しないと、グループ名
は「Group* * (グループ番号)」と記録されま
す。

グループ登録を解除する(RELEASE)

登録を解除したいグループを指定するだけで、グループ登録を簡単に解除することができます。また、全曲の登録を一度に解除することもできます。

1グループずつ解除する

指定したグループ内の全曲のグループ登録を解除し、グループを消すことができます(曲そのものは消しません)。



1 ファンクションをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 2目も目をくり返し押して、fGROUPJを表示させる

3 グループスキップをくり返し押して、登録を解除したいグループを表示させる

4 MENU/NOを押して、「Edit MenuJ」を表示させる

5 MENU+または一をくり返し押して「Gp Release?」を表示させ、ENTER/YESを押し「REL Gp * (グループ番号)??」が表示されます。

6 ENTER/YESを押す
FCompleteJが数秒間表示されて、グループが解除されます。

全曲を一度に解除する

MD内のすべての曲のグループ登録を一度に解除することができます。

1 停止中にグループをくり返し押して、FGROUPJを表示させる

2 MENU/NOを押して、「Edit MenuJ」を表示させる

3 MENU+または一をくり返し押して「Gp All REL?J」を表示させ、ENTER/YESを押す
「All REL??J」が表示されます。

4 ENTER/YESを押す
rCompleteJが数秒間表示されて、MD内のすべての曲の登録が解除されます。

曲を消す (ERASE)

「Erase」は「消す」という意味です。

消したい曲番を選ぶだけで、録音した曲を簡単に消せます。消したすぐあとならUNDO機能を使ってもとに戻せますが、他の編集作業などをしたあとでは元に戻せないで、よく確認してから消してください。

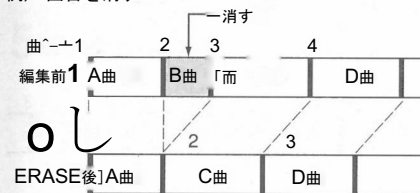
消すには、次の3種類の方法があります。

- ・1曲を消す(Track Erase)
- ・全曲を消す(All Erase)
- ・曲の一部分を消す(A-B Erase)

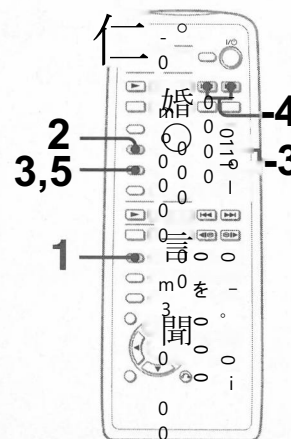
1曲を消す(Track Erase)

1曲消すと、曲番は順にくり上がります。例えば、曲番2を消すと、元の曲番3が2にくり上がります。

例) 2曲目を消す



このように曲番がくり上がっていきますので、2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをお勧めします。

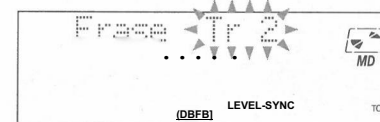


1 ファンクションをくり返し押して、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/K6を押して、是福、MenuJを表示させる

3 J MENU+または一をくり返し押して「FTr Erase?J」を表示させ、ENTER/YESを押す
表示されている曲の再生が始まります。

4 MDのI◀または◀をくり返し押して、消したい曲の曲番を表示させる



5 ENTER/YESを押す
「Complete!」が数秒間表示されて消えると、表示させた曲が消えます。消した次の曲の再生が始まります(最後の曲を消したときは、消した前の曲の再生が始まります)。

途中でやめる
MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す
曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます(72ページ)。

次のページへ続く

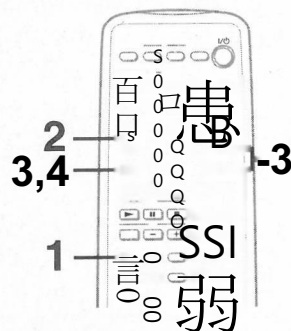
曲を消す(つづぎ)

ご注意

- rir ProtectJが表示されたら、その曲は本機以外のMDデッキで録音または編集されたあと、誤消去防止状態になっているということです。FTr ProtectJが表示される曲は本機では消去することができません。
- グループ内の全曲を消すと、グループ内のすべての曲と同時に、グループも消えます。

全曲を消す(All Erase)

1度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名(MDに記録しているすべての内容)を消せます。



1 ファンクションをくり返し押し、ファンクションをMDに切り換える

2 ボタ/J/P6を押して、「Edit MenuJ」を表示させる

3 MENU+または一をくり返し押し、
「All Erase?J」を表示させ、
ENTER/YESを押す
「All Erase?J」が表示されます。

4 もう一度、ENTER/YESを押す
「Complete!」が数秒間表示されて、MDの全曲と全曲名、ディスク名、グループ名が消えます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます(72ページ)。

ご注意

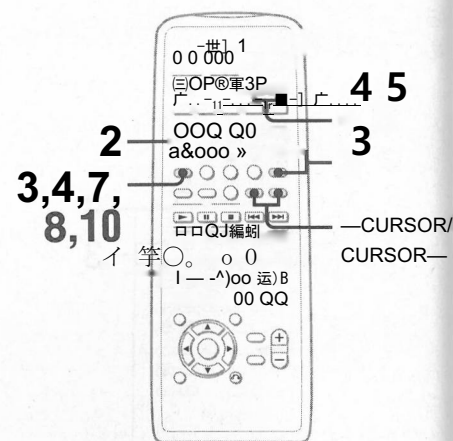
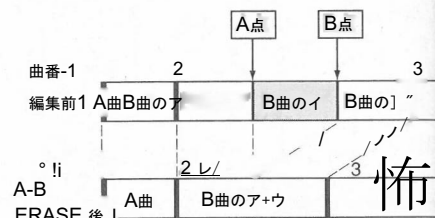
グループ機能が働いているときに上の操作を行うと、グループ内の曲だけでなくMDのすべての曲が消えますのでご注意ください。

曲の一部分を消す(A-B Erase)

1曲中の消したい範囲を指定して、簡単にその部分を消すことができます。フレーム*、秒、分単位で消す位置をずらすことができます。衛星放送やFM放送などを録音したMDの不要な部分を消すのに便利です。

*1フレームは1/86秒です。

例) B曲の一部を消すと



1 ファンクションをくり返し押し、ファンクションをMDに切り換える

2 MENU/NOを押して、「Edit MenuJ」を表示させる

3 MENU+または一をくり返し押し、
「A-B Erase?J」を表示させ、
ENTER/YESを押す

4 MDの*またはANをくり返し押し、
一部を消したい曲を選び、
ENTER/YESを押す
「Rehearsal-」と Point A ok?」
が交互に表示され、A点までの数秒間をくり返し再生します。

5 くり返し再生される音を聞きながら、MDのI◀またはAAをくり返し押し、消したい部分の始点(A規を選ぶ)
1/86秒毎4ずつ位置がずらせます。
秒、分単位でずらしたいときは、
—CURSORまたはCURSOR-*を押して「秒」または「分」を点減させてから、MDのI◀またはAAを押します。

*モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせます。

6 A点を正しく再生していないときは、手順5をくり返す

7 A点を正しく再生しているときは、ENTER/YESを押す
「Point B setJ」が表示され、B点を設定するための再生が始まります。

8 再生を続けて、消したい部分の終点(B点)までいき、ENTER/YESを押す

FA-B ErsJ と FPoint B ok?J が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分(A点までの数秒間とB点からの数秒間)をくり返し再生します。

9 B点を正しく再生するまで、手順5をくり返す

10 ENTER/YESを押す
「Complete!」が数秒間表示されて消えると、A-B部分が消えます。

途中でやめる

MENU/NOを押す。

曲を消す前の状態に戻す

曲を消したすぐあとなら、元の状態に戻せます(72ページ)。

ご注意

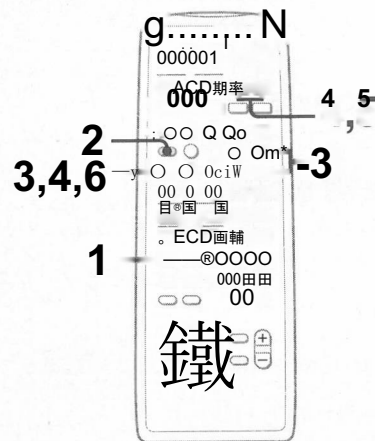
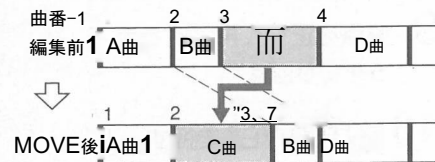
何度も編集をくり返すと、「Impossible」が表示され、曲の一部分を消すことができなくなる場合があります。これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

曲順を変える (MOVE)

FMoveJは、「動かす」という意味です。

曲を好きな位置に移動させて、曲順を変えられます。曲順を変えると、曲番号頭から順に付け直されます。

例) 3曲目を2曲目に移動する



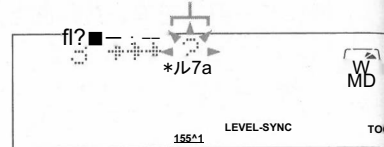
- 1 ファンクションをくり返し押し、ファンクションをMDに切り換える

メニュー ノー
N MENU/NOを押して、「Edit」
メニュー
MenuJを表示させる

- 3 MENU+または一をくり返し押し、
「Move?」を表示させ、
ENTER/YESを押す

- 4 MDの*またはをくり返し
押し、移動したい曲番を表示させ、ENTER/YESを押す

- 5 MDの*またはをくり返し
押し、移動先の曲番を表示させる
移動させたい曲番移動先の曲番



U ENTER/YES
O ENTER/YESを押す
「Complete!」が数秒間表示され、曲が移動します。

途中でやめる
MENU/NOを押す。

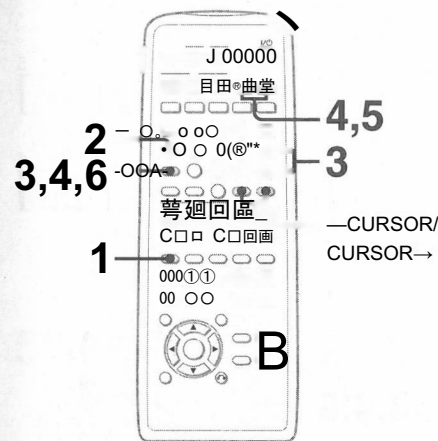
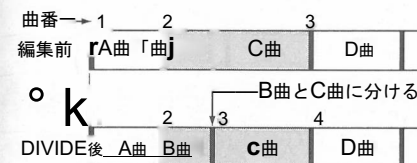
曲順を変える前の状態に戻す
曲順を変えたすぐあとなら、元の状態に戻せます(72ページ)。

ご注意
移動先の曲番がグループに属する場合、移動先のグループに登録され直します。また、グループ登録された曲の移動先の曲番がグループ登録されていない場合、移動した曲のグループ登録は解除されます。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲の移動は行えません。

1つの曲を2つに分ける (DIVIDE)

「Divide」は「分ける」という意味です。
録音したあとで曲番を付けたときに使います。分けた曲以降の曲番は、頭から順に付け直されます。

例) 2曲目を2つに分ける



- 1 ファンクションをくり返し押し、ファンクションをMDに切り換える

メニュー ノー
N MENU/NOを押して、「Edit」
メニュー
MenuJを表示させる

- 3 MENU+または一をくり返し押し、
「Divide?」を表示させ、
ENTER/YESを押す

- 4 MDの*またはをくり返し
押し、分けた曲番を表示させ、ENTER/YESを押す
「Rehearsal-」が表示され、分けた部分がくり返し再生されます。

- 5 くり返し再生される音を聞きながら、MDの*またはAAを押して、曲を分ける位置を調節する
1/86秒洗” ずつ位置がずらせず。
秒、分単位でずらしたいときは、—CURSORまたはCURSOR—を押して「秒」または「分」を点滅させてから、MDの*またはAAを押します。
*モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずらせず。

- 6 分けるところを正しく再生して
いたら、ENTER/YESを押す
rComplete!Jが数秒間表示されて曲が分かれ、分かれたところから再生が始まります。

途中でやめる
MENU/NOを押す。

次のページへ続く

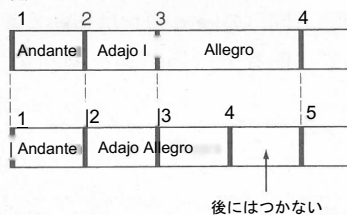
1つの曲を2つに分けるのびき

曲を2つに分ける前の状態に戻す
曲を分けたすぐあとなら、元の状態に戻せま
す(72ページ)。また、COMBINE機能を
使って元に戻すこともできます(このペー
ジ)。

ご注意

・曲名を付けた(59ページ)曲をDIVIDE機能
を使って2つの曲に分けると、前の方の曲にのみ、
その曲名が付きます。

例)

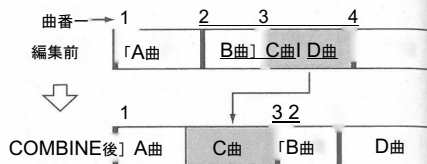


・曲の先頭または最後では曲を分けることはできま
せん。
・曲を分ける位置(ポジション)に曲の先頭または
最後が指定されたときはrimpossiblejと表示
されます。MDのI◀またはAAを押して位置を
変更してください。

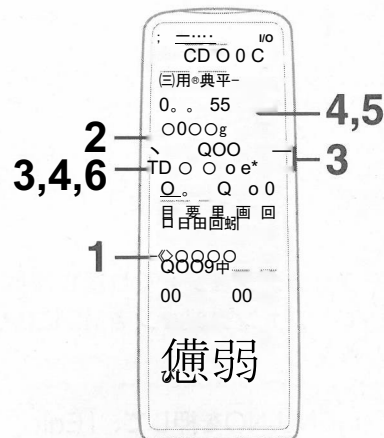
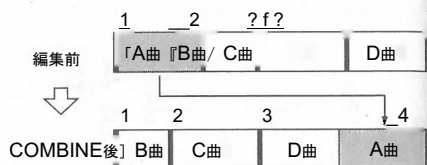
2つの曲を1つにする (COMBINE)

「Combine」は、「つなぐ」という意味です。j
2曲をつないで1曲にします。曲番は、頭か
ら順に付け直されます。不要な曲番を消すと
きにもCOMBINE機能を使います。

例) 1曲目に3曲目を合わせる



例) 4曲目に1曲目を合わせる



1 ファンクションをくり返し押し
て、ファンクションをMDに切り
換える

2 メニュー ノー
MENU/NOを押して、^{エディット}
メニュー MenuJを表示させる

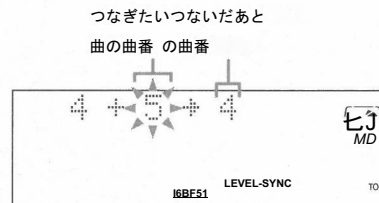
3 エンター
MENU + または一をくり返し押
して、^{コンパイン}
Combine?Jを表示させ、
^{エンター イエス}
ENTER/YESを押す

4 MDG* またはAAをくり返し
押してつなぎたい曲のはじめの
曲番を表示させ、^{エンター イエス}
ENTER/YESを押す

例) 曲番4に5をつなぐときは、4を選び
ます。



5 MDのI◀またはAAをくり返し
押して、つなぎたい曲の曲番を
表示させる



6 エンター イエ
ENTER/YESを押す

FCompletejが数秒間表示されて曲が
つながり、つながった曲の再生が始ま
ります。

途中でやめる
MENU/NOを押す。

2つの曲を1つにする前の状態に戻す
曲をつないだすぐあとなら、元の状態に戻せ
ます(72ページ)。また、DIVIDE機能を
使って元に戻すこともできます(69ペー
ジ)。

ご注意

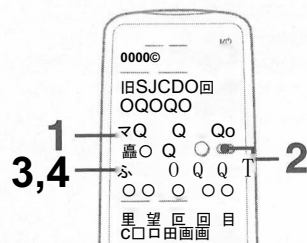
・別々のグループに登録された2つの曲をつなぐ
と、後ろの曲は前の曲が属するグループに登録さ
れ直します。また、グループ登録された曲とされ
ていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の属性
と同じになります。ただし、グループ機能が働い
ているときは、グループ内でしか曲をつなぐこと
はできません。
・録音モード(ステレオ、LP2ステレオ、LP4ステ
レオ、モノラル)が同じ曲としかつなぐことがで
きません。
・つないだ2曲の両方に曲名が付いているときは、
後ろの曲名が消えます。
・「Impossible」が表示されたら、その2曲は1曲
につなげません。何度も編集をくり返すと、つな
げない曲ができる場合があります。これはMDの
システム上の制約で、故障ではありません。

ひとつ前の操作を取り消す(UNDO)

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。

ただし、編集後に次のいずれかの操作をする
と取り消せません。

- ・他の編集作業をする。
 - ・録音を始める。
 - ・電源を切ったり、MDを取り出したりして、編集した内容を記録する。
 - ・電源プラグをコンセントから抜く。
- また、SF EDIT機能を使った編集は、UNDO機能を使っても元の状態に戻すことはできません。



1 停止中、MENU/NOを押して、
FEdit MenuJを表示させる

2 MENU+または一をくり返し押し
して、「Undo?」を表示させる
取り消せる編集操作がないときは、
「Undo?」は表示されません。

3 ENTER/イエスを押す
最後に行った編集操作に応じて、次の
メッセージが表示されます。

編集操作	メッセージ
ディスク名や曲名 をつける	FName Undo?J
付けた名前を消 す	
新しいグループを 作る	
1グループずつ 解除する	FGroup Undo?J
全曲を一度に解除 する	
1曲を消す	
全曲を消す	「Erase Undo?J
曲の一部分を消 す	
曲順を変える	「Move Undo?J
1つの曲を2つ に分ける	FDivide Undo?J
2つの曲を1つに する	「Combine Undo?J

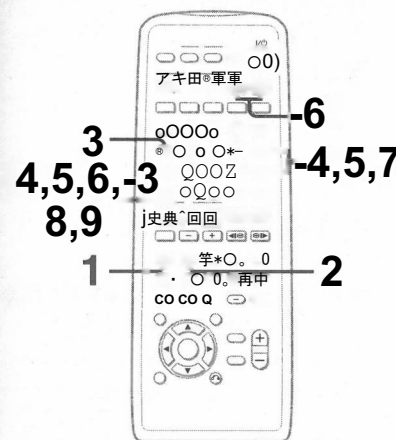
4 もう一度、ENTER/イエスを押す
「Complete!」が数秒間表示されて、編
集前のMDの内容に戻ります。

途中でやめる
MENU/ハロを押す。

録音後に録音レベル を変更する(S.F EDIT)

録音済みの曲の音声レベルを変更することが
できます。もとの曲は新しい録音レベルで上
書きされます。また、フェードイン・フェー
ドアウトを使うと、曲の頭が次第に大きく再
生される曲や、曲の最後が次第に小さく再生
される曲を作ることができます。

MDLP録音した曲の録音レベルを変更するこ
とはできません。



1 曲全体の録音レベルを変更する

1 ファンクションをくり返し押し
て、ファンクションをMDに切り
換える

2 再生モード/チューニングモード
をくり返し押しして、
FSHUFFLEJ や「PROGRAM」
の表示を消す

3 MENU/K6を押して、ff福ト
MenuJを表示させる

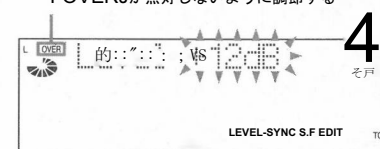
4 MWNU+または一をくり返し押
してS.F Edit? を表示させ、
ENTER/イエスを押す

5 “CNU+または一をくり返し押
してFTr Level?Jを表示させ、
ENTER/イエスを押す

6 MDの*または一をくり返し
押しして録音レベルを変更したい
曲番を表示させ、ENTER/YES
を押す
FLevel OdBJが表示されます。

7 再生される音を聞きながら、
MENU +または一をくり返し押
して、録音レベルを変更する
-12dBから+ 12dBの範囲内(2dB単
位)で変更できます。一番大きい音の
とき、表示窓に「OVER」が点灯しない
ようにします。

FOVERJが点灯ないように調節する



8 ENTER/イエスを押す
FS.F Edit OK?Jが表示されます。

次のページへ続く

録音後に録音レベルを変更する(つづき)

9 E何筐RバESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、「S.F Edit: **%」が表示されます。
曲の書き換えには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。書き換えが終わると、rComplete!Jが数秒間表示されます。

フェードイン・フェードアウトする曲を作る

1 ファンクションをくり返し押し、ファンクションをMDに切り換える

2 再生モード/チューニングモードをくり返し押し、…」SHUFFLE や「PROGRAM」の表示を消す

3 翁巨市J/K6を押して、「Edit MenuJを表示させる

4 MENU +または一をくり返し押し、UrfsTEdit?Jを表示させ、E施R/YESを押す

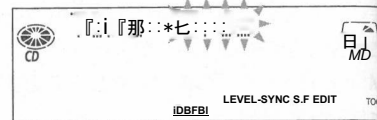
5 MEN,+または一をくり返し押し、Fade In?Jまたは Fade Out?Jを表示させ、ENTER/YESを押す

6 MDのI◀またはをくり返し押し、フェードインまたはフェードアウトさせたい曲番を表示させ、ENTER/YESを押す

rTime 5.0sJが表示されます。

7 再生される音を聞きながら、MENU+または一をくり返し押し、フェードインまたはフェードアウトする時間を調節する

フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し再生されます。



1秒から15秒の間(0.1秒単位)で調節できます。その曲の再生時間を超えた設定はできません。

8 E加佳BYESを押す

「SF Edit OK?Jが表示されます。

9 ENTERバESを押す

曲の書き換えが始まります。
書き換え中は、FSF Edit: **%が表示されます。書き換えが終わると、rComplete!Jが数秒間表示されます。

途中でやめる

手順4-8の途中でMENU/NOを押す。手順9でENTEfVYESを押して書き換えが始まると、操作を途中でやめることはできません。

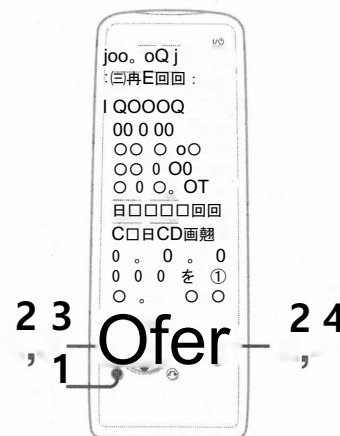
ご注意

- ・曲の書き換え中に本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が破損し、正しく記録されません。
- ・傷や汚れのあるディスクは使用しないでください。録音情報が正しく記録されないことがあります。
- ・録音レベルを何度も変更すると音質が劣化します。
- ・録音レベルを変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の録音レベルには戻りません。
- ・タイマーが働いているときは、録音レベルを変更できません。
- ・録音レベルを変更した曲は、UNDO機能を使って元の状態に戻すことはできません。

好みの音にする

バーチャルサラウンドを楽しむ DVD

バーチャルサラウンド(VIRTUAL SURROUND)の機能で、マルチチャンネル信号を音像処理することにより、フロントスピーカーのみでも仮想サラウンドが楽しめます。
VESはSPEAKER L/R端子またはTAPE OUT (出力) 端子から出力される音声にのみ効果があります。

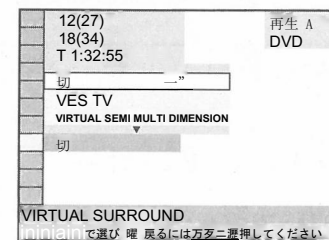


1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で「VIRTUAL SURROUNDJを選び、決定を押す

「VIRTUAL SURROUNDJ」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼でサラウンド効果を選ぶ

それぞれの項目については、以下をご覧ください。

- ・ VES TV
- ・ VIRTUAL SEMI MULTI DIMENSION
- ・ VES NIGHT
- ・ VESA

4 決定を押す

設定を解除する

手順3で「切」を選ぶ。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

次のページへ続く

バーチャルサラウンドを楽しむ(つづぎ)

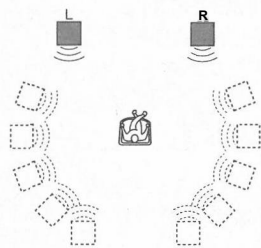
VES (Virtual Enhanced Surround) TV

音像処理により、実在するフロントスピーカー(L、R)の音から、1組の仮想リアスピーカーを下図のように再現します。音像描写にすぐれているため、仮想スピーカーをはっきり再現します。テレビのそばにスピーカーを設置した時のように左右のフロントスピーカーの距離が近いときに効果的です。



VIRTUAL SEMI MULTI DIMENSION

音像処理により、実在するフロントスピーカー(L、R)の音から、5組の仮想スピーカーを下図のように再現します。仮想サラウンド空間の広がりをもっと体験できるサラウンド効果です。



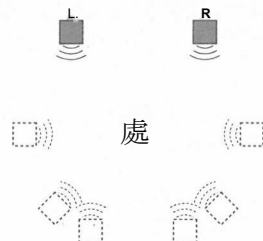
VES (Virtual Enhanced Surround) NIGHT

低音量でもサラウンド効果を得ることができ、VIRTUAL SEMI MULTI DIMENSIONと同様の仮想スピーカーを再現します。また、爆発音などの大きな音は絞られ、セリフなどの小さな音は聞きとりやすくなります。隣近所に迷惑をかけたくない時などに便利です。切り換えたときに音量が大きくなる

76 ことがありますので、調節してください。

VES (Virtual Enhanced Surround) A

音像処理により、実在するフロントスピーカー(L、R)の音から、3組の仮想スピーカーを下図のように再現します。音質を重視した設定です。



L : フロントスピーカー(L)
R : フロントスピーカー(R)
□ : 仮想スピーカー

ちよつと言

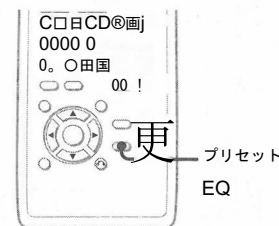
リモコンのVESボタンで直接「VIRTUAL SURROUNDJ」を選ぶことができます。

ご注意

- 項目を選んだときは一瞬音が途切れます。録音しているときに項目を切り換えると、一瞬音が途切れ、そこに曲番が付くことがあります。
- リア音声記録されていないディスクの場合、サラウンド効果はわかりにくくなります。
- スピーカーはリスニングポジションから見て距離的にも環境的にも左右対称になるように設置すると、より高いサラウンド効果を得られます。設置場所が適切でないと「VIRTUAL SURROUNDJ」を選んでも効果がわかりにくいことがあります。
- FVES NIGHTJはDVDのドルビーデジタル音声のみ効果があります。効果の度合はディスクによって異なります。
- DIGITAL OUTから音声は出力されますが、バーチャルサラウンド効果はありません。

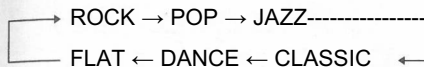
音楽に合った音を選ぶ (プリセットイコライザー)

5つのプリセットイコライザーを、音楽や状況に合わせて選べます。



プリセットEQをくり返し押す

押すたびに、プリセット名の表示が次のように変わります。



プリセットイコライザーの効果を消す

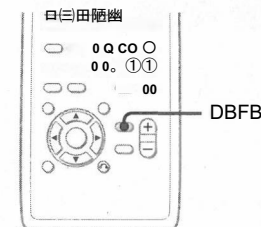
プリセットEQをくり返し押して、FFLATJを表示させる。

ちよつと言

- 出荷時は「ROCK」に設定されています。
- プリセットイコライザーの効果は、MDやテープには録音されません。

低音を強調する (DBFB)

低音を強調して、迫力のある音にできます。



DBFB*を押す

FDBFBJが表示される。

もう一度押すと、元に戻ります。

* DBFBはDynamic Bass Feedbackの略です。

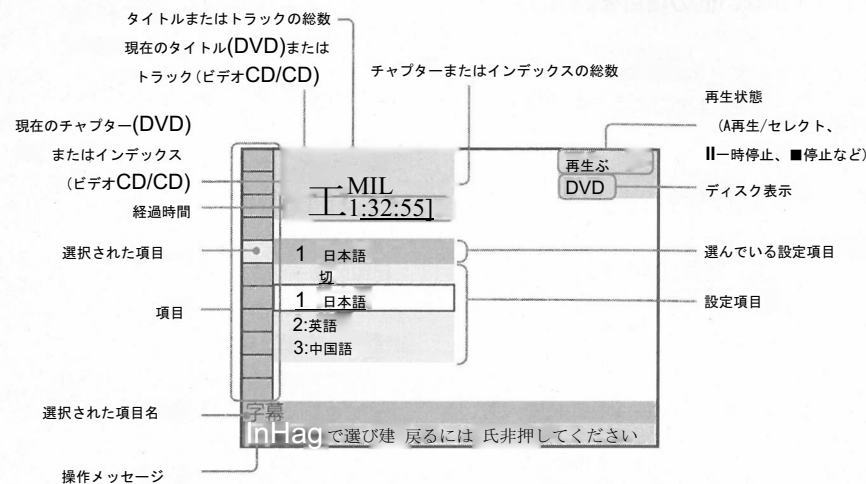
ちよつと言

出荷時はDBFBはOnに設定されています。

好みの音にする

コントロールメニュー画面項目一覧

DVD画面表示ボタンを押すと表示されます。詳しい説明は()内のページをご覧ください。



	タイトル(DVDのみ)(82ページ)/シーン(PBC再生時のビデオCDのみ)(82ページ)/再生時のビデオCD)、トラック(ビデオCDのみ)(82ページ)	再生するタイトル(DVD)やシーン(PBC再生時のビデオCDのみ)(82ページ)/再生時のビデオCD)を選びます。
	チャプター(DVDのみ)(82ページ)/インデックス(ビデオCDのみ)(82ページ)	再生するチャプター(DVD)やインデックス(ビデオCD)を選びます。
	トラック(ビデオCDのみ)(82ページ)	再生するトラック(ビデオCD)を選びます。
	インデックス(ビデオCDのみ)(82ページ)	再生するインデックス(ビデオCD)を選びます。
	経過時間(82ページ)	経過時間および残り時間を調べます。タイムコードを入力して映像や曲を探します。
	多国音声(84ページ)	複数の言語(マルチランゲージ)で音声記録されているDVDでは、再生中に好きな言語の音声に切り換えます。カラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消せるものもあります(このときの音声はモノラルです)。
	字幕(86ページ)	字幕を表示します。字幕の言語を切り換えます。
	アングル(87ページ)	好きなアングルに切り換えます。

	リピート(83ページ)	ディスク全体(全タイトル/全トラック)または1つのタイトルやチャプター/トラックだけをくり返し再生します。
	VIRTUAL SURROUND (バーチャルサラウンド)(75ページ)	ステレオ信号を3D立体音像処理することにより、仮想サラウンドをお楽しみいただけます。
	アドバンスト(DVDのみ)(94ページ)	再生中のディスクの情報(ビットレートやレイヤー)を見ることができます。
	カスタム視聴制限(88ページ)	ディスクに、本機での再生を禁止する設定をします。
	設定(96ページ)	・カスタム設定 簡易設定の項目に加え、画質や音質の調整、視聴年齢制限など、さまざまな設定をします。 ・リセット 「設定」での設定内容をお買い上げ時の設定に戻します。

ちょっと一言

「切」以外を選んでいるときに、コントロールメニューアイコンが緑に点灯します(FVIRTUAL SURROUND)、「リピート」のみ)。

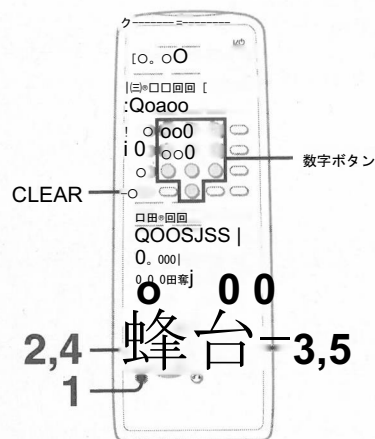
「アングル」では、アングルを切り換えられるときに、アイコンが緑に点灯します。

タイトルやトラック、タイムコードを使って頭出しする

DVD CD 音

DVDのタイトルまたはチャプター、タイトルの経過時間、ビデオCDやCDのトラック、インデックスまたはシーンで映像や曲を探すことができます。

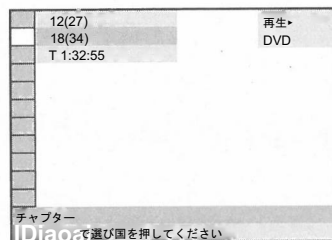
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられているので、その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面を探すこともできます。



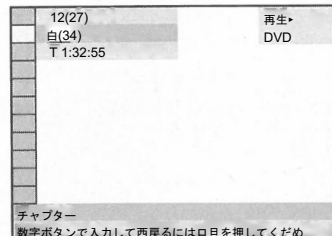
- 1 DVD画面表示ボタンを押す
コントロールメニュー画面が表示されます。

- 2 ▲/▼で検索項目を選ぶ
DVDのとき
「タイトル」または「チャプター」、「時間」を選ぶ。
タイムコードを入力して場面を探すときは、「時間」を選びます。
ビデオCDのとき
「トラック」または「インデックス」を選ぶ。
ビデオCDをPBC再生しているとき
「シーン」を選ぶ。
CDのとき
「トラック」または「インデックス」を選ぶ。

例)「チャプター」を選んだとき
「* * (* *)」が選ばれます(* *は任意の数字)。
カッコ内の数字はタイトルまたはチャプター、トラック、インデックス、シーンの総数です。



- 3 決定を押す
「* * (* *)」が「|」-「(* *)」に変わります。



- 4 ▲/▼または数字ボタンでタイトルやトラック、シーンなどの番号を入力する
間違えたときは、CLEARを押して数字を消してから入力直します。

- 5 決定を押す
選んだ場所の再生が始まります。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

選択を途中でやめる
リターンCを押す。

タイムコードを入力して場面を探す(タイムサーチ)(DVDのみ)

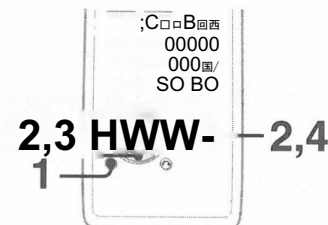
- 1手順2で「時間」を選ぶ。
「T * * : * * : * *」(現在のタイトルの経過時間)が選ばれます。
- 2決定を押す。
「T * * : * * : * *」が「T * * : * *」に変わります。
- 3数字ボタンでタイムコードを入力し、決定を押す。
例えば、始まりから2時間10分20秒過ぎた場面を探すには、2:10:20と入力します。

ご注意

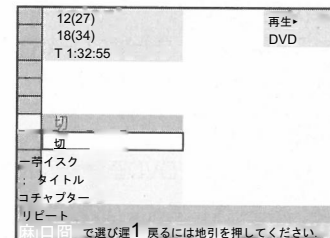
- ・タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。
- ・ビデオCDのPBC再生中はインデックスの数字は表示されません。
- ・チャプターの数字が表示されないときは、チャプターを指定して再生することはできません。
- ・100以上の数字はかっこ内に表示されません。

くり返し再生する (リピート再生)

ディスクのすべてのタイトルやトラック、または1つのタイトルやチャプター、トラックをくり返し再生できます。
シャッフル再生やプログラム再生と組み合わせることもできます。



- 1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す
コントロールメニュー画面が表示されます。
- 2 ▲/▼で「リピート」を選び、決定を押す
「リピート」の設定項目が表示されます。



次のページへ続く

くり返し再生する(つづき)

3 ▲/▼で項目を選ぶ

DVDのとき(プログラム再生が「切」のとき)

- ・切: リピート再生をオフにします。
- ・ディスク: すべてのタイトルをくり返し再生します。
- ・タイトル: 再生中のタイトルをくり返し再生します。
- ・チャプター: 再生中のチャプターをくり返し再生します。

ビデオCD/CDのとき(プログラム再生が「切」のとき)

- ・切: リピート再生をオフにします。
 - ・ディスク: すべてのトラックをくり返し再生します。
 - ・トラック: 再生中のトラックをくり返し再生します。
- プログラム再生をしているとき
- ・切: リピート再生をオフにします。
 - ・入: プログラム再生、シャッフル再生をくり返し再生します。

4 決定を押す

リピート再生が始まります。

ふつうの再生に戻す

手順3で「切」を選ぶ、またはCLEARを押す。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちよつと言

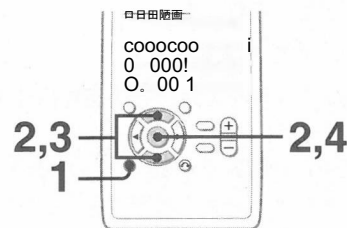
停止中にリピート再生を設定できます。リピート/FMモードで項目を選び、DVDのAを押します。リピート再生が始まります。

音声を切り換える

DVD CD VIDEO CD

DVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。

また、CDやビデオCD再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。このときの音声はモノラルになります。例えば、カラオケのビデオCDなどでは、音声を切り換えてボーカルのトラックを消し、伴奏だけを聞くこともできます。

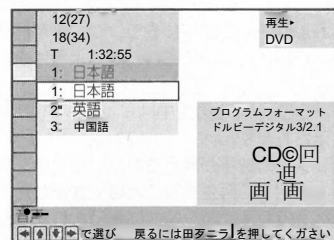


1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で「音声」を選び、決定を押す

「音声」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼で音声を選ぶ

DVDのとき

選べる言語はDVDによって異なります。

4桁の数字が表示されたときは、「言語コード一覧表」(139ページ)をご覧ください。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式(チャンネル数など)が異なります。

ビデオCD/CDのとき

お買い上げ時の設定は、「ステレオ」です。

・ステレオ: 通常のステレオ再生

・1/L: 左チャンネルの音(モノラル)

・2/R: 右チャンネルの音(モノラル)

4 決定を押す

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちよつと言

リモコンの音声ボタンで直接「音声」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

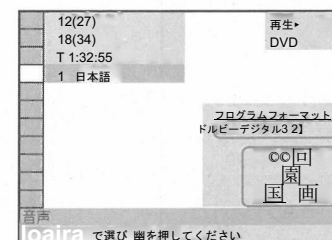
ご注意

- ・複数の音声記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- ・DVDによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ・ビデオCDやCDのときは、電源を切ったり、ディスクトレイを開閉すると通常のステレオ再生に戻ります。
- ・DVD再生中、自動的に音声切り換わることがあります。

再生しているチャンネルを表示する

「音声」を選ぶと、現在再生中のDVDに記録されているチャンネル数を表示することができます。

現在の音声の記録方式*



再生しているチャンネル表示**

*「PCM」または「DTS」、「ドルビーデジタル」が表示されます。

「ドルビーデジタル」のときは音声の含まれるチャンネルが次のように数字で表示されます。ドルビーデジタル5.1chの場合:

リア2

ドルビーデジタル母/回軍

フロント2 + センター1 LFE (低音増強信号) 1

** チャンネル表示はスピーカーの有無にかかわらず、再生中のトラックに記録されている信号を表します。各記号は次のチャンネルを表しています。

L: フロント(左)

R: フロント(右)

C: センター(モノラル)

LS: リア(左)

RS: リア(右)

S: リア(モノラル): ドルビーサラウンド処理

された信号、またはドルビーデジタル信号のモノラルのリア成分です。

LFE LFE (Low Frequency Effect 低音増強) 信号

次のページへ続く

音声を切り換える(つづき)

画面表示の例

• PCM (ステレオ)

プログラムフォーマット
PCM 48kHz 24bit

•ドルビーサラウンドのとき

プログラムフォーマット
ドルビーデジタル2/0
ドルビーサラウンド
PC回

•ドルビーデジタル5.1チャンネルのとき

LFE (低音増強) 信号出力の有無にかかわらず、
FLFEJが実線で表示されます。

プログラムフォーマット
ドルビーデジタル3/2.1

[し] 回
由
画 画

• DTSのとき

LFE (低音増強) 信号出力の有無にかかわらず、
FLFEJが実線で表示されます。

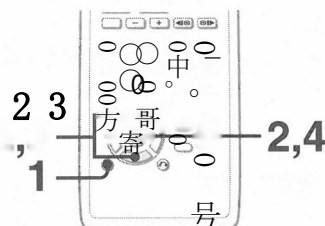
プログラムフォーマット
DTS 3/2.1

: □ ◎ 回
IS
国 頭

字幕を表示する

DVD

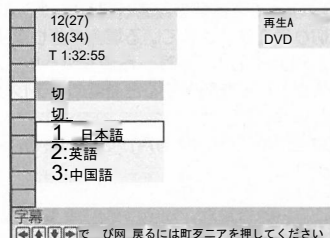
字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりできます。複数の言語で字幕が記録されているときは、再生中に字幕を切り換えることができます。例えば、字幕を表示して、語学の学習に役立てることができます。



- 1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す
コントロールメニュー画面が表示されます。

- 2 ▲/▼で「字幕」を選び、決定を押す

「字幕」の設定項目が表示されます。



- 3 ▲/▼で言語を選ぶ

選べる言語はディスクによって異なります。

4桁の数字が表示されたときは「言語コード一覧表」(139ページ)をご覧ください。

- 4 決定を押す

字幕設定を解除する

手順3で「切」を選ぶ。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちょっと一言

リモコンの字幕ボタンで直接「字幕」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

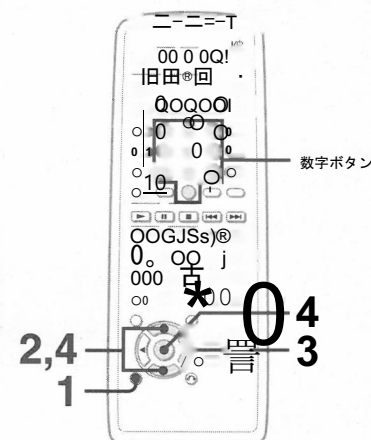
ご注意

ディスクによっては字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

アングルを切り換える DVD

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えながら再生することができます。

例えば、動いている電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。アングルを変えられるときは、表示窓に「ANGL」が点灯します。



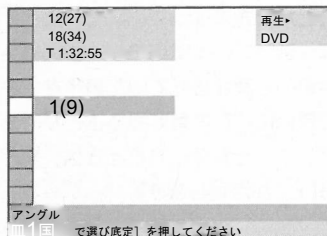
- 1 再生中にDVD画面表示ボタンを押す
コントロールメニュー画面が表示されます。

次のページへ続く

アングルを切り換える(つづき)

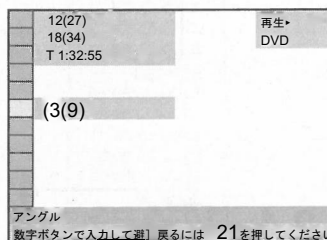
2 ▲/▼で「アングル」を選ぶ

カッコ内の数字は、ディスクに記録されているアングルの総数です。



3 Aまたは決定を押す

アングル番号が「一」に変わります。



4 ▲/▼または数字ボタンでアングル番号を選び、決定を押す 選んだアングルに切り換わります。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちよつと一言

リモコンのアングルボタンで直接「アングル」を選ぶことができます。くり返し押して設定します。

ご注意

ディスクによっては複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。

ディスクの再生を制限する

(カスタム視聴制限/視聴年齢制限)



本機には、ディスクの再生を制限する次の2種類の機能があります。

・カスタム視聴制限

本機で特定のディスクを再生できないようにする。

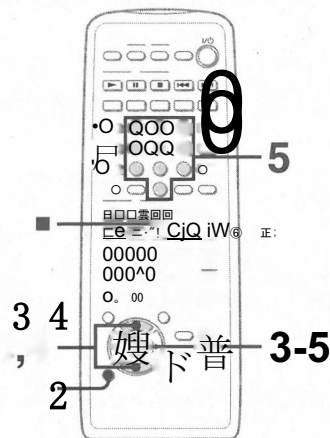
・視聴年齢制限

視聴年齢制限つきDVDの再生できるシーンを制限する。

カスタム視聴制限も視聴年齢制限も、登録した同じ暗証番号を使って設定します。

カスタム視聴制限-設定する

登録した同じ暗証番号を使って、50枚までのディスクにカスタム視聴制限を設定することができます。51枚目のディスクを設定すると、1番最初に設定したディスクの制限が解除されます。



1 設定したいディスクを入れる

ディスクを再生しているときは、DVDの・を押して再生を止めます。

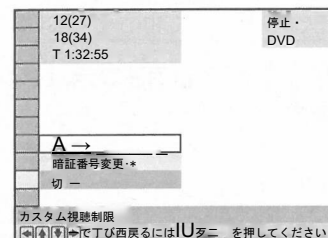
2 停止中にDVD画面表示ボタンを

押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

3 ▲/▼で「カスタム視聴制限」を選び、決定を押す

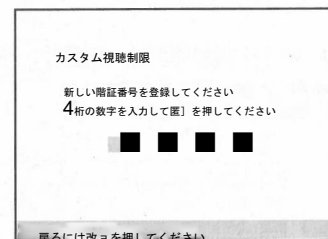
「カスタム視聴制限」が選ばれます。



4 ▲/▼で「入->」を選び、決定を押す

暗証番号が登録されていないとき

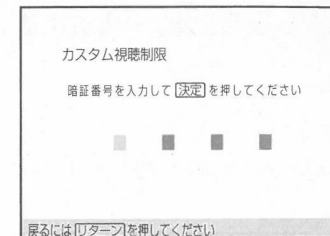
暗証番号登録の画面が表示されます。



数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押します。

暗証番号確認の画面が出ます。

暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号入力画面が出ます。



5 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す

「カスタム視聴制限を設定しました」と

表示され、コントロールメニューの画面に戻ります。

暗証番号を間違えたときは

決定を押す前に<を押して、入力し直します。

間違えたときは

リターンCを押して、手順3から選び直す。

画面表示を消す

リターンハを押したあと、画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

カスタム視聴制限を解除する

1手順4で「切->」を選び、決定を押す。

2数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。

暗証番号を変更するには

1手順4で「暗証番号変更->」を選び、決定を押す。

暗証番号入力画面が表示されます。

2数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。

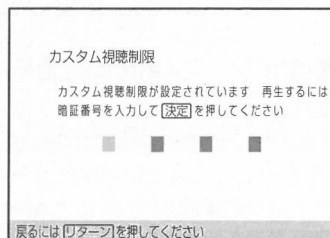
3数字ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力し、決定を押す。

4確認のため、数字ボタンでもう一度暗証番号を入力し、決定を押す。

次のページへ続く

カスタム視聴制限-再生する

- 1 カスタム視聴制限が設定されたディスクを入れる
カスタム視聴制限の画面が表示されます。



- 2 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す
再生できる状態になります。

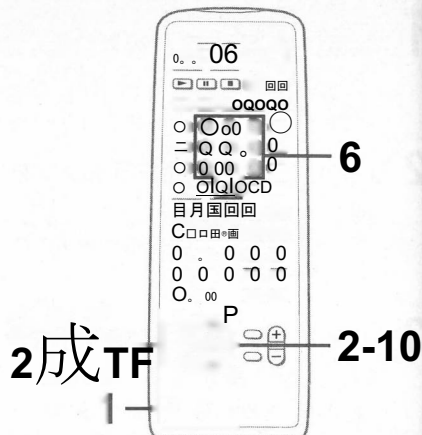
ちよつと一言

暗証番号を忘れてしまったときは、カスタム視聴制限画面で、暗証番号を入力する案内が表示されているとき、6桁の数字「199703」を数字ボタンで入力して決定を押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を入力する案内が表示されます。

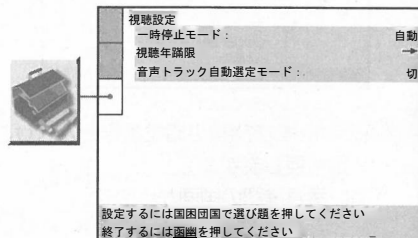
視聴年齢制限-設定する

DVDの中には、地域ごとに設けられたレベル(見る人の年齢など)によって視聴を制限できるものがあります。視聴年齢制限機能を使うと、この視聴制限レベルを設定することができます。

制限されているシーンが再生されたとき、そのシーンをカットしたり、あらかじめ用意された別のシーンに差し替えて再生します。

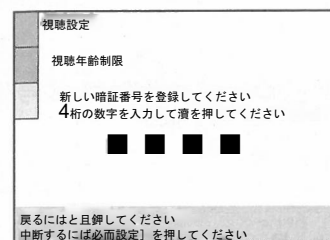


- 1 停止中にDVD画面表示ボタンを押す
コントロールメニュー画面が表示されます。
- 2 ▲/▼で「設定」を選び、決定を押す
- 3 ▲/▼で「カスタム」を選び、決定を押す
設定画面が表示されます。
- 4 ▲/▼で「視聴設定」を選び、決定を押す
「視聴設定」画面が表示されます。

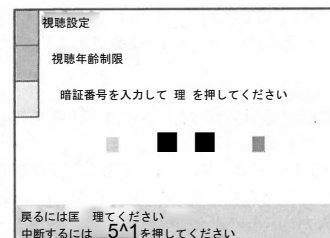


- 5 ▲/▼で「視聴年齢制限」を選び、決定を押す

暗証番号が登録されていないとき
暗証番号登録の画面が表示されます。

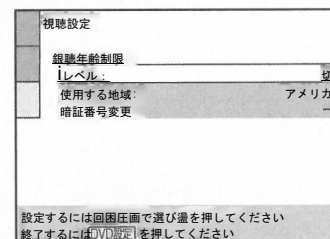


数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押します。
暗証番号確認の画面が出ます。
暗証番号がすでに登録されているとき
暗証番号入力の画面が出ます。



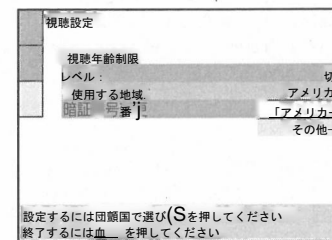
- 6 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定を押す

視聴制限のレベル設定および、暗証番号の変更の画面が表示されます。



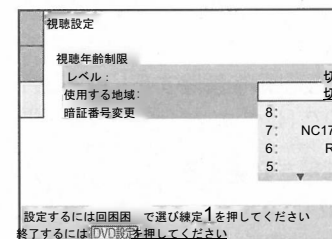
- 7 ▲/▼で「使用する地域」を選び、決定を押す

「使用する地域」の選択項目が表示されます。



- 8 ▲/▼で視聴制限レベルの基準にする地域を選び、決定を押す
地域が選ばれます。
「その他→」を選んだときは、93ページの表から地域コードを選び、数字ボタンで入力します。

- 9 決定を押す
「レベル」の選択項目が表示されます。



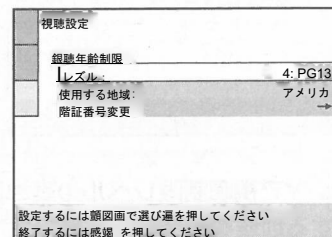
次のページへ続く

10 ▲/▼で制限するレベルを選び、

決定を押す

視聴年齢制限の設定が終了します。

レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。



間違えたときは

リターンCを押して1つ前の画面に戻り、選び直す。

画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

視聴年齢制限を解除する

手順10で「レベル」を「切」にする。

暗証番号を変更する

1手順7で▼を使って「暗証番号変更-」を選び、決定を押す。

暗証番号入力画面が出ます。

2もう一度手順6と同じ操作をして、新しい暗証番号を登録する。

視聴年齢制限-再生する

1ディスクを入れて、DVDのAを

押す

視聴年齢制限の暗証番号入力画面が表示されます。

2数字ボタンで4桁の暗証番号を入

力し、決定を押す

再生が始まります。

ちよつと言

登録した暗証番号を忘れてしまったときは、ディスクを取り出し、「視聴年齢制限-設定する」の手順1-5に従って操作します。暗証番号を入力する案内が表示されたら、6桁の数字ri99703Jを数字ボタンで入力して決定を押します。画面に、新しい4桁の暗証番号を登録する案内が表示されます。新しい暗証番号を入力して、ディスクを本機に入れなおし、DVDのAを押します。暗証番号入力画面が表示されるので、新しい暗証番号を入れます。

ご注意

- ・視聴年齢制限機能がないDVDは、本機で視聴制限をしても再生は制限できません。
- ・DVDによっては、再生中に視聴年齢設定の変更を要求される場合があります。その場合、暗証番号を入力し、レベルを変更してください。

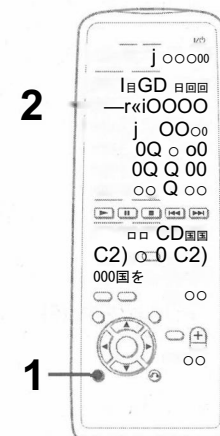
地域コード

使用する地域	コード番号
アルゼンチン	2044
イギリス	2184
イタリア	2254
インド	2248
インドネシア	2238
オーストラリア	2047
オーストリア	2046
オランダ	2376
カナダ	2079
韓国	2304
シンガポール	2501
スイス	2086
スウェーデン	2499
スペイン	2149
タイ	2528
台湾	2543
中国	2092
チリ	2090
デンマーク	2115
ドイツ	2109
日本	2276
ニュージーランド	2390
ノルウェー	2379
パキスタン	2427
フィリピン	2424
フィンランド	2165
ブラジル	2070
フランス	2174
ベルギー	2057
ポルトガル	2436
香港	2219
マレーシア	2363
メキシコ	2362
ロシア	2489

経過時間と残り時間を見る



再生中のタイトルやチャプター、トラックの経過時間と残り時間、ディスク全体の経過時間と残り時間を見ることができます。

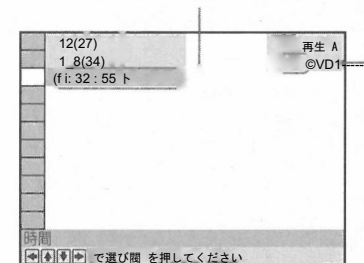


1 再生中にDVD画面表示ボタンを

押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

タイトルまたは
トラックの経過時間 ディスクの種類



次のページへ続く

2 時間ボタンをくり返し押して、

時間表示を切り換える

表示や切り換えできる時間の種類はディスクによって異なります。

DVDのとき

・ T **: **: **

タイトルの経過時間

・ T— **: **: **

タイトルの残り時間

・ C **: **: **

チャプターの経過時間

・ C— **: **: **

チャプターの残り時間

ビデオCDをPBC再生しているとき

・ **: **: **

シーンの経過時間

ビデオCD (PBC再生中以外)/CDのとき

・ T **: **: **

トラックの経過時間

・ T— **: **: **

トラックの残り時間

・ D **: **: **

ディスクの経過時間

・ D— **: **: **

ディスクの残り時間

画面表示を消す

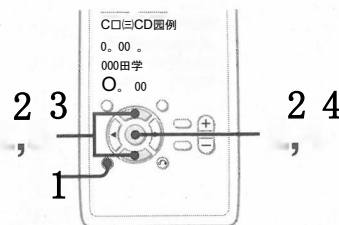
画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

再生の情報を見る

(アドバンスト) DVD

ビットレートや、ディスクのレイヤーおよび光ピックアップの位置情報を見ることが出来ます。

再生中、映像のおよそのビットレートがMbps (Mega bit per second)で、音声のおよそのビットレートがkbps (kilo bit per second)で表示されます。



1 再生中にDVD画面表示ボタンを

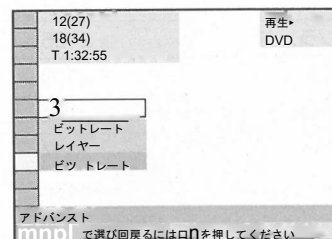
押す

コントロールメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼で「アドバンスト」を選び、

決定を押す

「アドバンスト」の設定項目が表示されます。



3 ▲/▼で表示したい項目を選ぶ

それぞれの項目については、次の「再生の情報画面について」をご覧ください。

・ビットレート：ビットレートを表示する。

・レイヤー：レイヤーおよび光ピックアップのおよその位置を表示する。

4 決定を押す

アドバンスト画面を消す

手順3で「消」を選ぶ。

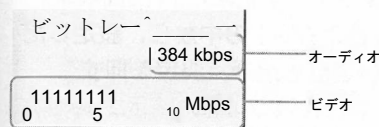
画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

再生の情報画面について

DVD画面表示ボタンをくり返し押すと、「アドバンスト」で選んだ「ビットレート」または「レイヤー」が表示されます。

ビットレート



ビットレートはDVDに圧縮して記録されている画像や音声の、1秒あたりの情報量を示す値です。画像の場合、単位はMbps (Mega bit per second)で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1000000ビットであることを表します。音声の場合、単位はkbps (kilo bit per second)です。この値が大きいくほど画像や音声の情報量は多くなりますが、必ずしも画質や音質とは直接関係しません。

レイヤー

2層DVDの場合のみ表示



再生中、光ピックアップのおよその位置を示します。

2層のDVDではどちらの層(レイヤー)が読まれているかも示します(FLayer 0Jまたは「Layer 1」)。

レイヤーについて詳しくは、138ページのFDVDJの項目をご覧ください。

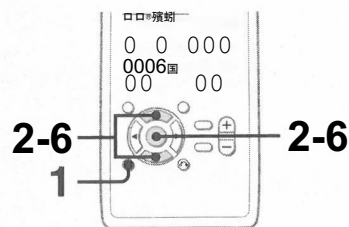
設定画面を使う

DVD CD 備

設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。設定画面の項目について詳しくは、98ページをご覧ください。

設定画面はテレビ画面で操作します。あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えでディスクの映像が映るようにしてください。

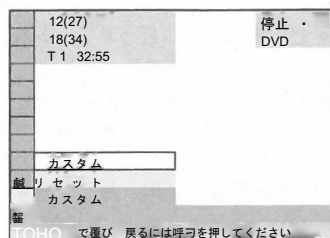
設定画面の使い方



- 1 停止中にDVD画面表示ボタンを押す
コントロールメニュー画面が表示されます。
DVD設定ボタンを押すと、手順3より操作できます。

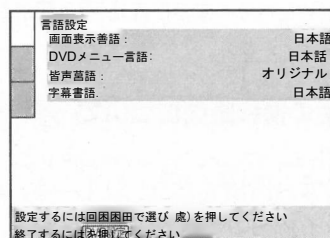
- 2 ▲/▼で「設定」を選び、決定を押す

「設定」の設定項目が表示されます。



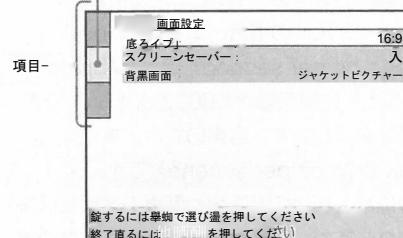
- 3 ▲/▼で「カスタム」を選び、決定を押す

設定画面が表示されます。



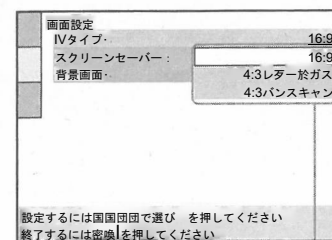
- 4 ▲/▼で「言語設定」「画面設定」「視聴設定」の中から、設定したい項目を選び、決定を押す
選択した項目の画面が表示されます。
例)「画面設定」

選択した項目



- 5 ▲/▼で項目を選び、決定を押す
項目の設定項目が一覧表示されます。

例)「TVタイプ」の設定項目

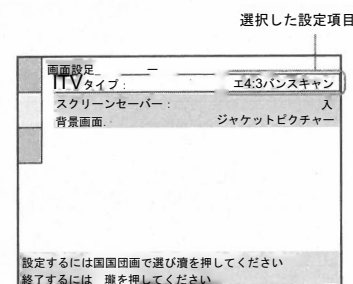


設定項目

- 6 ▲/▼で設定項目を選び、決定を押す

設定項目が選ばれ、設定が終了します。

例)「4:3パンスキャン」



画面表示を消す

画面表示が消えるまでDVD画面表示ボタンを押す。

ちよつと言

手順3で「リセット」を選ぶと、視聴年齢制限を除くすべての設定画面項目(98ページ)をお買い上げ時の設定に戻すことができます。

「リセット」を選び決定を押したあと、「はい」を選び、決定を押します。リセットが完了するまで数秒かかります。
リセット中はI/O (電源)を押して、電源を切らないでください。

設定画面項目一覧表

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

言語設定(99ページ)

画面表示言語	<u>日本語</u> ENGLISH
DVD メニュー言語	<u>日本語</u> 英語 中国語 ドイツ語 フランス語 イタリア語 スペイン語 ポルトガル語 オランダ語 デンマーク語 スウェーデン語 フィンランド語 ノルウェー語 ロシア語 その他 →
音声言語	<u>オリジナル</u> (その他の項目はDVD メニュー言語と同じ)
字幕言語	<u>日本語</u> 音声連動 (その他の項目はDVD メニュー言語と同じ)

画面設定(100ページ)

TVタイプ	<u>16:9</u> 4:3レターボックス 4:3パンスカン
スクリーンセーバー	厂 切
背景画面	<u>ジャケットピクチャー</u> グラフィックス 青 黒

視聴設定(101ページ)

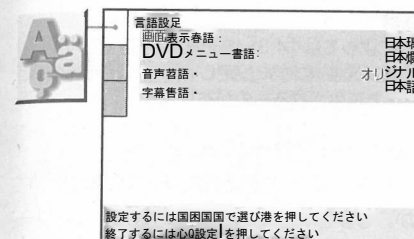
一時停止モード	<u>自動</u> フレーム
視聴年齢制限1(90ページ)	
音声トラック自動選定モード	切 入

表示言語や音声言語の設定(言語設定)



言語設定画面では、画面や音声の言語を設定することができます。

設定画面で「言語設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」(96ページ)をご覧ください。



・画面表示言語

画面の表示言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

・DVDメニュー言語(DVDのみ)

DVD メニューの言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。

・音声言語(DVDのみ)

音声の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。
「オリジナル」を選ぶと、ディスク内で優先されている言語が選ばれます。

・字幕言語(DVDのみ)

字幕の言語を切り換えます。
表示される言語の一覧から選びます。
「音声連動」を選ぶと、音声の言語に合わせて字幕の言語が切り換わります。

ちょっと一言

「DVDメニュー言語」「音声言語」「字幕言語」で「その他」を選んだときは、言語コード一覧表(139ページ)から言語コードを選び入力してください。数字ボタンで言語コードを入力します。次からは4桁の数字の言語コードが表示されます。

ご注意

選んだ言語がディスクに記録されていないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます(「画面表示言語」を除く)。

画像に関する設定

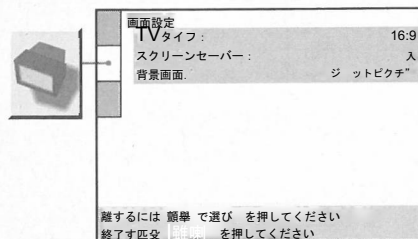
(画面設定)



接続するテレビに合わせて設定します。

お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「画面設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」(96ページ)をご覧ください。



・TVタイプ(DVDのみ)

接続するテレビの画面の種類(ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ)を設定します。

碟 ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき。

4:3 4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の下は黒く表示する。

4:3 パンスキャン 4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する。

16:9



4:3レターボックス



4:3パンスキャン



ご注意

DVDによっては「4:3レターボックス」あるいは「4:3パンスキャン」に設定していても、自動的にどちらかで再生されるものがあります。

・スクリーンセーバー

一時停止または停止したままで15分経つか、CDを15分以上再生すると、スクリーンセーバーの画面に切り換わるよう設定します。画像の焼き付き(残像現象)を防ぐのに役立ちます。DVDのAを押すと、スクリーンセーバー画面は消えます。

△ スクリーンセーバーを使う。

切 スクリーンセーバーを使わない。

・背景画面

停止中やCD再生中などの、画面の背景色や背景画面を設定します。

ジャケット
ピクチャー

ディスク(CD-EXTRAなど)にあらかじめ記録されているジャケットピクチャー(静止画像)を背景画面にする。ディスクにジャケットピクチャーが記録されていないときは、「グラフィックス」の画像が表示される。

グラフィックス あらかじめ本機に記録されているグラフィックピクチャーを背景画面にする。

青 画面の背景色を「青」にする。

黒 画面の背景色を「黒」にする。

視聴に関する設定

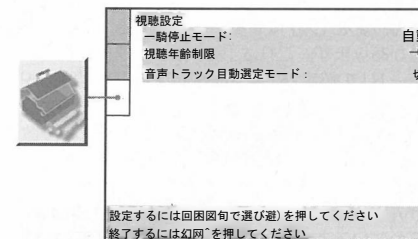
(視聴設定)



視聴年齢制限などを設定します。

お買い上げ時は、下線の付いている項目に設定されています。

設定画面で「視聴設定」を選びます。詳しくは「設定画面を使う」(96ページ)をご覧ください。



・一時停止モード(DVDのみ)

一時停止にしたときの画像のモードを設定します。

自動 大きく動きのある被写体のある画像がぶれずに見られる。通常はこの設定にします。

フレーム動きの少ない被写体の画像が高い解像度で見られる。

・視聴年齢制限一(DVDのみ)

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。詳しくは「ディスクの再生を制限する(カスタム視聴制限/視聴年齢制限)」(88ページ)をご覧ください。

次のページへ続く

・音声トラック自動選定モード(DVDのみ)

複数の音声記録方式が用意されているDVDを再生するときに、チャンネル数の最も多い音声記録方式(PCM、DTS、ドルビーデジタル)を優先して再生することができます。

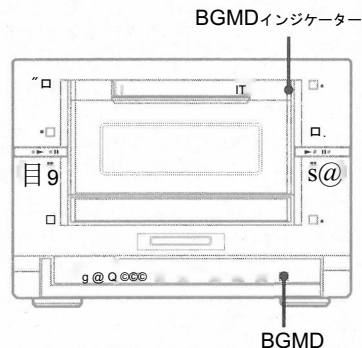
切	優先しない。
入	優先する。

ご注意

- この設定を「入」にすると、言語が切り換わることがあります。これは「音声トラック自動選定モード」の設定が「言語設定」の「音声言語」(99ページ)より優先されるためです。
- PCM、DTS、ドルビーデジタルのチャンネル数が同じ場合、PCM、DTS、ドルビーデジタルの順で優先されます。
- DVDによっては優先する音声があらかじめ決められていることがあります。この場合「入」に設定しても、チャンネル数の多い音声記録方式が優先されないことがあります。

MDとDVDを同時に再生する(BGMD)

DVDの映像とMDの音声を同時に楽しむことができます。MDの音声は本機のスピーカー(2ch)から出力され、DVDの音声はDIGITAL OUT (OPTICAL)出力端子から出力されます。別売の機器をデジタル接続すると、DVDの音も同時に楽しむことができます。



BGMDを押す

BGMDインジケーターが点灯します。ファンクションがDVDに切り換わり、DVDとMDの再生が始まります。

もう一度押すと、BGMDインジケーターが消灯し、DVD、MDとも停止します。

ちょっと一言

BGMDインジケーター点灯中でも、MD/IIとMDの、DVD/IIとDVDの、それぞれ独立して働きます。YIおよび</AA>も、それぞれ働きます。

ご注意

- BGMDモードが働いているときにファンクションをDVD以外に切り換えると、BGMDモードは解除されます。
- I/O (電源)を押して電源を切ると、BGMDモードは解除されます。
- 録音中にBGMDモードを働かせることはできません。また、BGMDモードが働いているときには、録音できません。
- BGMDインジケーターが点灯しているときのファンクションはDVDです。行う操作はDVDで有効となります。

表示窓の明るさを調節する

表示窓のバックライトの明るさを3段階に切り換えることができます。



ディマーをくり返し押す

押すたびに次のように変わります。

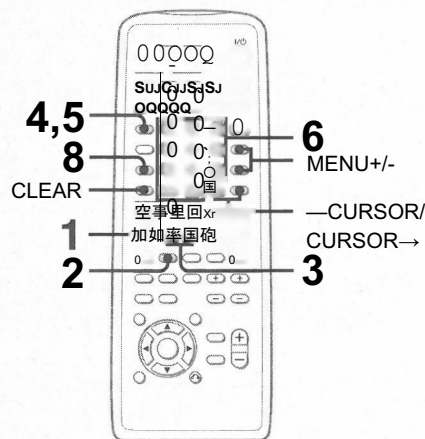
厂-明るい→暗い→消灯-

ちょっと一言

- 出荷時は、表示窓が明るく点灯するように設定されています。
- 電源を切った状態では、明るさの切り換えはできません。

記憶させたラジオ局 に名前を付ける

最大10文字まで名前を付けられます。名前はプリセット受信したときに表示されます。

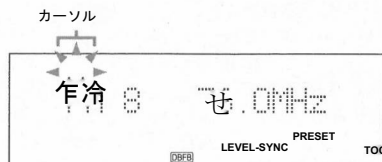


1 チューナー
TUNERのバンドをくり返し押し
して、「AM」か「FM」を選ぶ

2 再生モード/チューニングモード
をくり返し押しして、「PRESET」
を表示させる

3 チューナー
TUNERの+または-をくり返
し押しして、名前を付けたいラジ
オ局のプリセット番号を選ぶ

4 ネーム エディット セレクト
NAME EDIT/SELECTを押し甲す
文字入力画面になり、カーソルが点滅
します。



5 ネームエディット セレクト
NAME EDIT/SELECTを押し
て、文字の種類を選ぶ
押すたびに次のようになります。
FSelected AB* (アルファベット大
文字) - FSelected ab* (アルファ
ベット小文字) → 「Selectedア**」
(カタカナ) → 「Selected12」(数字)
→ 「Selected AB」(アルファベット大
文字) → ...

*数字ボタンの1をくり返し押しすると、以下の
記号を表示できます。

' - / . 0 : ! ?

また、記号が表示されているときに
MENU + または - をくり返し押しすると、さ
らに以下の記号を表示できます。

& + < > = " ; # \$ % @ * `

**通常の五千音に加え、小文字のアイウエオ
ヤユヨツを表示できます。また、>10ボ
タンをくり返し押しすると濁点や半濁点など
C O ~ .) を表示できます。ただし、濁
点C)は「ウ」、「カ/サ/タ/ハ行」、半
濁点() は「ノト行」の文字のあとにのみ
入力できます。

6 入力したい文字に対応するアル
ファベット/数字/カタカナ入
力ボタンを押す
アルファベット/カタカナを選んだと
き
1 入力したい文字があるボタン
(ABC、DEFまたはA(行)、カ(行)
などをくり返し押しして、希望の文
字を表示させる。
MENU+または-をくり返し押しして
も、文字を切り換えることができま
す。

2 CURSORTを押す。
入力した文字が表示され、カーソル
が次の位置で点滅します。

数字を選んだとき
押したボタンの数字が表示され、カー
ソルが次の位置で点滅します。

スペースを入力するには

1 NAME EDIT/SELECTをくり返し押
して、「Selected AB」または
「Selected ab」を選ぶ。

2 10/0を押す。
スペース(空き)が入力され、カーソ
ルが次の位置で点滅します。

7 手順5、6をくり返して、名前を
付ける
文字を変更するには
—CURSOR または CURSOR—をく
り返し押しして変更したい文字を点滅さ
せ、CLEARを使って文字を消してから
手順5、6をくり返す。

8 エンター イエス
ENTERを押す
局名が本機に記憶されます。

途中でやめる
MENU/NOを押す。

ちょっと一言
別売りのキーボードを使って名前を付けることもで
きます(116ページ)。

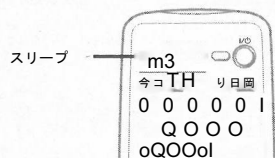
受信中に局名を確認する
ディスプレイボタンを押す。
押すたびに、次のように表示が切り換わりま
す。

→ 付けた名前→時計表示
L音量表示→プリセットイコライザー: 名←

付けた名前を消す
1 手順1-4までやり直す。
2 CLEARをくり返し押しして名前を消す。
3 ENTERを押す。

音楽を聞きながら眠る (スリープタイマー)

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分単位で設定できます。



スリープを押す

押すたびに時間が次のように変わり、しばらくすると元の表示に戻ります。表示された時間がたつと、電源が切れます。

L SLEEP OFF (スリープ解除) → AUTO-,
10min..... ← 80min ← 90min ←

「AUTO」を選んだときは

約4時間たつと電源が切れます。

また、再生中のDVDやCD、MDが停止すると、自動的に電源が切れます。

残り時間を確認する

スリープを1回押す。ただし、AUTOでは確認できません。

途中で時間を変える

スリープをくり返し押して、時間を選び直す。

スリープタイマーを解除する

スリープをくり返し押して、「SLEEP OFF」を表示させる。

ちょっと一言

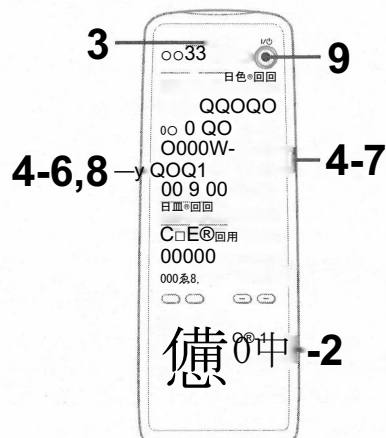
スリープタイマーは、時計合わせをしていなくても使用することができます。

ご注意

- ・CD-MDシンクロ録音時は「AUTO」に設定しないでください。
- ・スリープタイマーを使って、テレビの電源を切ることはできません。

目覚ましとして使う (デイリータイマー)

毎日指定した時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせておきます(13ページ)。



1 CDなどの音源を準備する

- ・DVDやCD : ディスクを入れる。好きな曲から演奏したいときはプログラムする(30ページ)。
- ・MD : MDを入れる。好きな曲から演奏したいときはプログラムする(38ページ)。
- ・ラジオ : プリセット受信する(23ページ)。

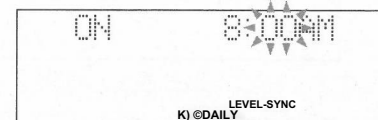
2 音量+または-を押して音量を調節する

3 時計/タイマーの設定を押す

4 ^{メニュー} MENU+または-をくり返し押して「DAILY SET?J」を表示させ、ENTER/YESを押す
「時」が点滅します。

5 開始時刻を合わせる

MENU+または-をくり返し押して「時」を合わせ、ENTER/YESを押す。
「分」が点滅します。



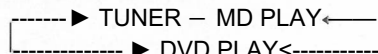
MENU+または-をくり返し押して「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。
再び「時」が点滅します。

6 終了時刻を合わせる

手順5と同じ操作をして「時」「分」を合わせると、次に音源が表示されます。

7 ^{メニュー} ME+u+または-をくり返し押して、音源を選ぶ

押すたびに次のようになります。



○ ENTER/YES

○ ENTER/YES を押す

開始時刻、終了時刻、音源、音量が順に表示され、元の表示に戻ります。

9 電源を切る

設定を変更する

手順1からやり直す。

途中で間違えたときは、手順5-7で

-CURSORを押して変更したいところまで戻り、設定し直す。

設定を確認する/タイマーを働かせる

1 時計/タイマーの選択を押し、MENU + または-を押して、「DAILY SELECT?」を表示させる。

2 ENTER/YESを押す。

タイマーを解除する

時計/タイマーの選択を押し、MENU + または-をくり返し押して「TIMER OFF?J」を表示させ、ENTER/YESを押す。

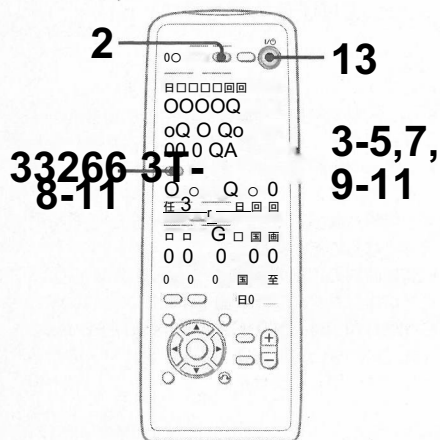
ご注意

- ・録音タイマーと同時に使用できません。
- ・スリープタイマーを同時に使用した場合は、スリープタイマーの設定が優先されます。
- ・電源は開始時刻の約30秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- ・開始時刻の約30秒前にすでに電源が入っているとデイリータイマーは動きません。
- ・DIGITAL IN (OPTICAL)またはTAPE IN入力端子につないだ機器はデイリータイマーの音源としては使用できません。

タイマーを使って録音する (録音タイマー)

本機の3つの録音タイマーを使って、ラジオからタイマー録音ができます。

あらかじめラジオ局を記憶させ(14ページ)、時計を合わせておきます(13ページ)。



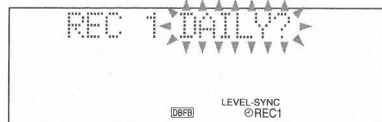
1 録音したいラジオ局をプリセッ
ト受信する(23ページ)

2 時計/タイマーの設定を押す

3 ^{メニュー}MENU + または ^{レック}一 をくり返し押して「REC SET?」を表示させ、ENTER/YESを押す

4 ^{メニュー}MENU + または ^{レック}一 をくり返し押して「REC 1」～「REC 3」のいずれかを選び、ENTER/YESを押す

5 ^{メニュー}MENU + または ^{レック}一 をくり返し押して、「ONCE?」、「DAILY?」、「WEEKLY?」のいずれかを選ぶ
「ONCE?」は1回だけ、「DAILY?」は毎日同じ時刻に、「WEEKLY?」は毎週、設定した曜日の同じ時刻に働かせることができます。



6 ^{エンター イエス}ENTER/YES を押す
「ONCE?」、「WEEKLY?」のときは「曜日」が、FDAILY?Jのときは「時」が点滅します。

7 ^{メニュー}MENU + または ^{レック}一 をくり返し押して、タイマーを働かせる曜日を選ぶ
手順5で「DAILY?」を選んだときは、手順9へすすみます。

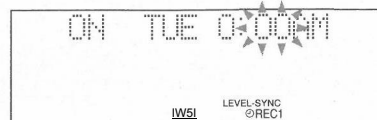


8 ^{エンター イエス}ENTER/YES を押す
「時」が点滅します。



正午は0:00PM、真夜中は0:00AMです。

9 開始時刻を合わせる
MENU + または ^{レック}一 をくり返し押して「日」を合わせ、ENTER/YESを押す。「分」が点滅します。



MENU + または ^{レック}一 をくり返し押して「分」を合わせ、ENTER/YESを押す。再び「曜日」または「時」が点滅します。

10 終了時刻を合わせる
手順9と同じ操作をして(「曜日」「時」「分」を合わせます。

11 ^{メニュー}MENU + または ^{レック}一 を押して録音モード(LP2など)を選び、ENTER/YESを押す
プリセットした内容が表示されて、元の表示に戻ります。

12 録音用のMDを入れる
録音済みのMDの場合、録音済みの曲のあとに録音されます。

13 電源を切る

設定を変更する
手順1からやり直す。

タイマーを働かせる/解除する

1 時計/タイマーの選択を押し、MENU + または ^{レック}一 を押して「REC SELECT?」を表示させ、ENTER/YESを押す。

2 MENU + または ^{レック}一 を押してタイマーの番号(REC1-3)を選んでから、
—CURSORまたはCURSOR—でタイマーの番号(セット)、「-」(解除)を選び、ENTER/YESを押す。
タイマーが設定されていないときは、「-」が表示されます。

タイマーを確認する

「タイマーを働かせる/解除する」の手順2で、確認したいタイマーの番号(REC1-3)を表示させ、ENTER/YESを押す。
最後に設定した内容が表示されます。

ちょっと一言

ラジオから録音したときはラジオ局名(104ページ、局名を付けていないときは周波数)が、開始時刻、終了時刻と一緒にMDに記録されます。

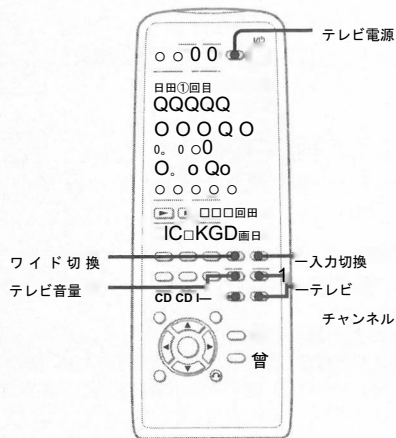
ご注意

- ・ デイリータイマーと同時に使用することはできません。
- ・ 電源は開始時刻の約30秒前に自動的に入ります。電源が入ってから開始時刻になるまでは、何も操作しないでください。タイマーが正しく働かなくなることがあります。
- ・ 1度も録音していないMDのときは、開始時刻から約15秒は録音されません。
- ・ 開始時刻の約30秒前にすでに電源が入っていると、録音タイマーが働かず録音されません。
- ・ 録音中、ボリュームは最小になります。
- ・ MDに録音するときに、グループ機能を働かせてタイマー録音を設定した場合、グループを指定していなければ、新しいグループを作って録音します。

付属のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでソニー製テレビの音量や電源などを操作できます。

以下のボタンでテレビの操作ができます。



押すボタン	できること
テレビ電源	テレビの電源を入/切する。
テレビ音量+/-	テレビの音量を調節する0
テレビチャンネル+/-テレビのチャンネルを選ぶ。	
ワイド切換	テレビのワイドモードを切り換える。
入力切換	テレビの入力を切り換える。

別売りの機器を使う

使用できる機器一覧

▶ ^{デジタル}DIGITAL 相(03祀%L)入力端子へ
デジタル接続ケーブル(角型、別売り)を使って、CS/BSデジタルチューナーなどを接続できます。

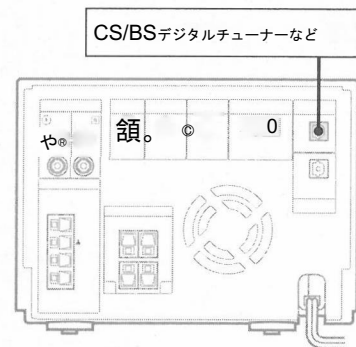
▶ DI師 6ロ午(PCM/DTS/DOLBY DIGITAL)出力端子へ
デジタル接続ケーブル(角型、別売り)を使って、デジタル入力端子のあるアンプやMDデッキまたはDATデッキなどを接続できます。

AT絹E入出力端子へ

オーディオ接続コード(別売り)を使って、カセットデッキやレコードプレーヤーなどを接続できます。

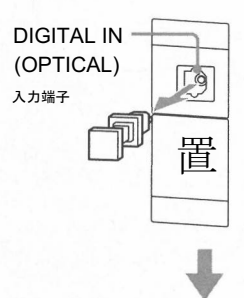
CS/BSデジタルチューナーなどをつなぐ

デジタル接続ケーブル(角形、別売り)を使ってつなぎます。つないだ機器のデジタル音声をMDへデジタル録音できます。つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

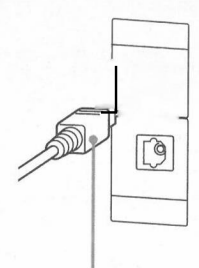


デジタル接続ケーブル(角形、別売り)をつなぐ

O端子のフタははずし、



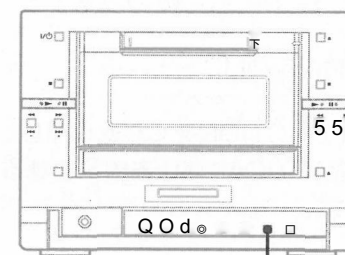
②デジタル接続ケーブルをつなぐ



ケーブルの先端の向きを入力端子の向きに合わせて差し込みます

③別売りのデジタル機器の光デジタル出力端子へつなぐ

つないだ機器の音を聞く



1 デジタル機器側の準備をする

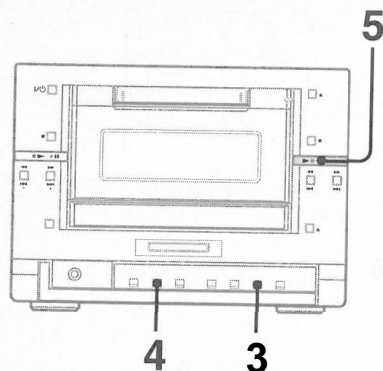
ファンクション
N FUNCTIONをくり返し押し
て、「OPTICAL IN」を表示させる
つないだデジタル機器の音が聞こえます。

次のページへ続く

別売りの機器を使う

CS/BSデジタルチューナーなどをつなぐ(つづき)

つないだ機器の音を録音する



1 デジタル機器側の準備をする

2 録音用のMDを入れる

3 ファンクション FUNCTIONをくり返し押し、 オフチカル イン FOPTICAL INJを表示させる

4 レコード レック イット REC/REC ITを押す MDが録音一時停止状態になります。

5 MDAIIを押す 録音が始まります。

録音を止める
MDの・を押す。

ちょっと一言

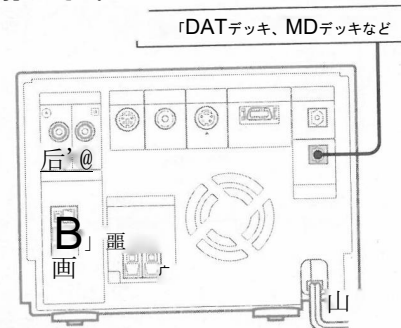
- ・スマートスペース/オートカット(55ページ)、タイムマシン録音(51ページ)もできます。
- ・本機はサンプリングレートコンバーターを内蔵しています。したがって、録音される音源の周波数(32kHz、44.1kHz、48.0kHz)にかかわらず、デジタル機器からの音声がMDへデジタル録音されます。

電源コンセントを抜く前に

MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

本機からデジタル機器に録音する

デジタル接続ケーブル(角型、別売り)を使って、DIGITAL OUT (PCM/DTS/DOLBY DIGITAL)出力端子と別売りのデジタル機器の光デジタル入力端子を接続することによって、本機からDATデッキやMDデッキなどへデジタル録音できます。つなぐデジタル機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。



1 デジタル接続ケーブル(角型、別売り)をつなぐ

2 ファンクション FUNCTIONをくり返し押し、 て、「DVD」または「MD」を表示させる

3 DATデッキなど、つないだデジタル機器の録音を始める

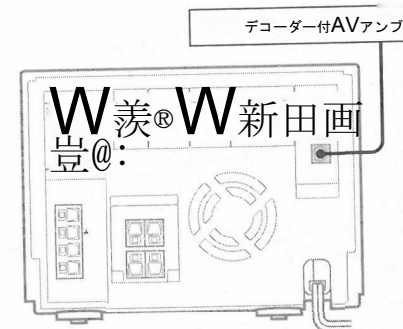
4 DVDAIIまたはMDAIIを押して、再生を始める

ご注意

- ・コピーが禁止されているDVDの場合、デジタル録音することはできません。
- ・ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声は、そのままDATデッキやMDデッキにはデジタル録音されず、2chにダウンミックスしてから録音されます。

別売のアンプをつないで5.1chを楽しむ

デジタル接続ケーブル(角型、別売り)を使って、DIGITAL OUT (PCM/DTS/DOLBY DIGITAL)出力端子と別売りのドルビーデジタルまたはDTSデコーダー付AVアンプの光デジタル入力端子を接続することによって、アンプの機能を使った5.1ch(チャンネル)の音声を楽しむことができます。アンプに6台のスピーカーをつないでください。スピーカーの配置については、つなぐアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。



ちょっと一言

- ・この接続でお勧めのサラウンド効果は、アンプによる5.1chドルビーデジタル音声(137ページ)やアンプによる5.1ch DTS音声(138ページ)です。本機のサラウンド効果はお楽しみいただけません。
- ・BGMD機能を使うと、MDとDVDを同時に再生することができます。

別売りの機器を使う

カセットデッキ、レコードプレーヤーなどをつなぐ

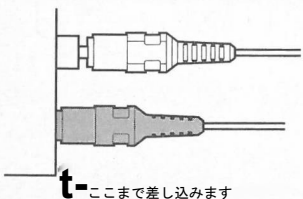
オーディオ接続コード(別売り)を使ってつなぎます。つないだ機器のアナログ音声はMDへアナログ録音されます。

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

オーディオ接続コード(別売り)の差し込みかた

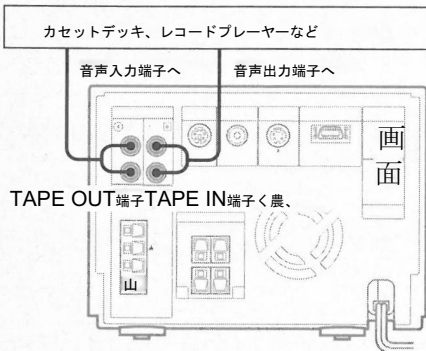
オーディオ接続コード(別売り)を使って他のAV機器をつなぐとき、コードのプラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと音が出ません。

「差し込み不足です」



t-ここまで差し込みます

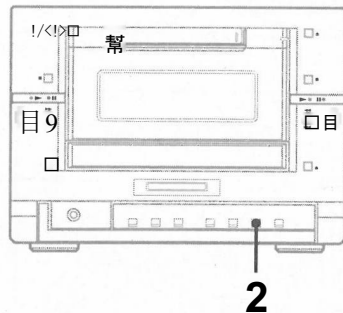
別売りのカセットデッキ(TC-TX21など)やレコードプレーヤーなどをつなぐ本機のTAPE IN (入力)端子とTAPE OUT (出力)端子に接続します。



ちよつと言

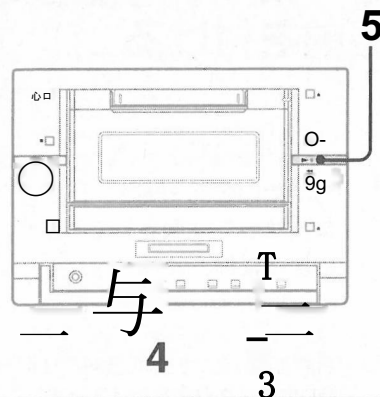
- ・入力および出力端子にある④、⑤は、別売りのカセットデッキ(TC-TX21など)接続案内用のマークです。
- ・イコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーを接続するときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー(市販)をつないでください。
- ・イコライザーアンプが内蔵されているかどうかは、お使いになっているプレーヤーの製造元へお問い合わせください。

つないだ機器の音を聞く



- 1 アナログ機器側の準備をする
- 2 **ファンクション** **FUNCTION**をくり返し押し、**FTAPEJ**を表示させる
つないだアナログ機器の音が聞こえます。

つないだ機器の音を録音する



- 1 アナログ機器側の準備をする
- 2 録音用のMDを入れる
- 3 **ファンクション** **FUNC^n**をくり返し押して、**FTAPEJ**を表示させる
- 4 **REC/RECIT**を押す
MDが録音一時停止状態になります。
- 5 **MDALL**を押す
録音が始まります。
- 6 録音したい音源の演奏を始める

録音を止める

MDの・を押す。

電源コンセントを抜く前に

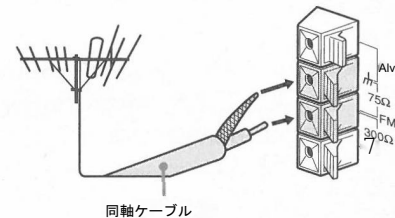
MDへの録音は録音情報をTOCへ書き込んで完了となります。TOCへの書き込みは、MDを取り出すか電源を切ると行われます。TOC書き込み前、書き込み中(「TOC」が点灯または点滅)は電源プラグをコンセントから抜かないでください。録音情報が正しく記録されません。

市販の外部アンテナをつなぐ

付属のアンテナでうまく受信できないときにつなぎます。

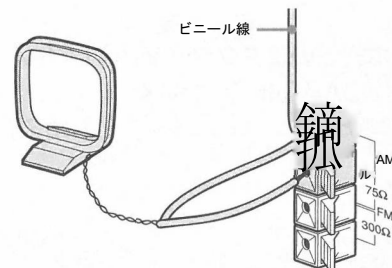
FMアンテナをつなぐ

市販のFM屋外アンテナをつなぎます。



AMアンテナをつなぐ

市販の6-15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。付属のAMループアンテナはつないだままにしておきます。



アースをつなぐ

Ad 込 ガス管には絶対につながないでください。

屋外アンテナを立てたときは、落雷時の感電防止のため、必ずアースをつないでください。市販のビニール線をアンテナのアース端子(/)につなぎ、一方の端を銅製の金属棒につないで地中に埋めるか、銅管製の水道管につなぎます。

別売りの機器を使う

キーボードを準備する

キーボードKB-10 (別売り)または旧M*PC互換機用でPS/2インターフェースのものを
ご使用ください。*

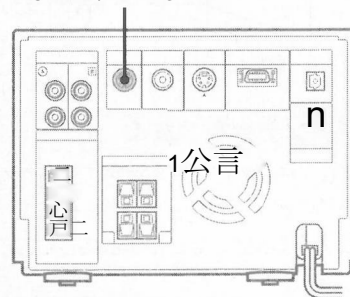
* IBMはInternational Business Machines Corporationの商標です。

**120mA以下のものをご使用ください。

ご注意

使用環境によっては、AMラジオに雑音が入ることがあります。

PC LINK/KEYBOARD



キーボードのコネクターをPC LINK/KEYBOARD端子につなぐ

本機の電源が入っていても接続することができます。

ちよつと言

本機の電源が入っていないとキーボードは使用できません。

キーボードを使って名前を付ける

キーボードを使うと、名前の入力や編集が手軽にできます。

- 1 付けたい名前(曲名、ディスク名またはラジオ局名)によって、次のように操作する
曲名を付けるとき
ファンクションをMDに切り換えて、名前を付けたい曲番を表示させる。
MDにディスク名を付けるとき
ファンクションをMDに切り換えて、全曲数(グループ機能が働いているときは、全グループ数)を表示させる。
ラジオ局名を付けるとき
ファンクションをFMまたはAMに切り換えて、名前を付けたいラジオ局のブリセット番号を表示させる。

- 2 キーボードの **Enter** キーを押す
文字入力画面になり、カーソルが点滅します。

- 3 名前を入力する
入力中の編集操作については、以下の表をご覧ください。

- 4 キーボードの **Enter** キーを押す
「Complete!」が数秒間表示されたあと、曲名、ディスク名またはラジオ局名が表示されます。

入力中の編集操作

操作	使うキー
名前を付けるのを途中でやめる	Esc キー
大文字アルファベット入力と小文字アルファベット入力を切り換える	Caps Lock キー
カタカナ入力にする	[カタカナ・ひらがな] キー
アルファベット入力にする	Caps Lock キー
カーソルを移動する	[←] キーまたは [→] キー
カーソル上の文字を消す	[Delete] キー
カーソルの手前の文字を消す	Back Space キー

ちよつと言

グループ機能が働いているときは、グループ名を付けられます。手順1で、名前を付けたいグループを選択します。

ローマ字で入力してカタカナを表示する(ローマカナ変換)

「キーボードを使って名前を付ける」のあと、以下の手順でローマカナ変換モードを働かせます。

- 1 [カタカナ・ひらがな] キーを押して、カタカナ入力にする。
- 2 Alt + [カタカナ・ひらがな] キーを押す。
- 3 入力したいカタカナへの変換は、カタカナ1文字が確定するごとに自動的に行われていきます。変換中のローマ字は Back Space キーで削除して訂正できます。
ローマ字とカタカナの対応について詳しくは、「ローマ字/カタカナ対応一覧」(140ページ)をご覧ください。

ローマカナ変換モードを解除するには、手順2で Alt + [カタカナ・ひらがな] キーをもう一度押します。

キーボードを使って本機を操作する

本機やリモコンを使わずに、本機の操作ができます。

ボタンまたは機能	使うキー
MDA	A1 キー
MDII	A2 キー
MD	F3 キー
DVDA	F5 キー
DVDII	画キー
DVD	A7 キー
TUNER/BAND	A9 キー
◀◀/Tuner Preset -	F10 キー
▶▶/Tuner Preset +	[F1U] キー
DISPLAY	[F12] キー

使用上のご注意

設置時のご注意

- ・使用中、音量を大きくすると、本機の温度上昇を抑えるために、本機に内蔵されているファンの回転数が自動的に上がります。効率よく放熱するために、本機の後面には十分なすきまをとり、また上面にはものを置かないでください。
- ・スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。設置場所にご注意ください。

使用時の放熱について

- ・使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- ・大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、キャビネットなどに触れないようにしてください。火傷などのけがの原因になります。
- また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、ファンの通風孔付近を塞いで使用すると、機器の温度が上昇して故障の原因になります。
- ・電源を切っているにもかかわらず、本機の天板があたたかくなることがありますが故障ではありません。
- 電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れています。それらは、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われています。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型(JEITA*)のため、テレビのそばで使うことができますが、テレビの種類により色むらが起こる場合があります。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15-30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

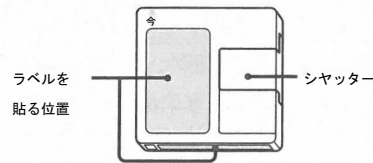
* 電子情報技術産業協会の略称です。

移動時のご注意

- ・必ずCDやDVD、MDを取り出してください。中に入れたまま動かすと、取り出せなくなることがあります。
- ・移動する前に、電源が切れ、すべての動作が終了していることを必ず確認してください。

MDの取り扱いかた

- ・シャッターを無理に開けようとすると、壊れることがあります。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ・ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定以外の場所には貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。



- ・定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。
- ・直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。

ディスクの取り扱いかた

- ・紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。
- ・本機でお使いいただけるCDやDVDは、円形ディスクのみです。円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となります。
- ・ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いたあと、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- ・直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高温になるところには置かないでください。
- ・中古ディスクやレンタルディスクで、シールなどのりがはみ出したり、付着しているディスクは使用しないでください。プレーヤー内部にディスクが貼り付いて取り出せなくなったり、プレーヤー本体の故障の原因となります。

CD-R/CD-RW再生時のご注意

CD-R/CD-RWドライブで記録されたディスクには、傷や汚れ、また記録状態や記録機の特性等が原因で再生できないものがあります。また、全ての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。

お手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので、使わないでください。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

DVDメニューやタイトルメニュー、ビデオCDのメニュー、本機の設定画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象(画像の焼きつき)を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象(画像の焼きつき)が起こりやすいのでご注意ください。

MDのシステム上の制約

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

最大録音時間に達していなくても、「Disc Full!」が表示される

255曲録音されると、それ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音するか、別のMDを使ってください。

曲数(最大255曲まで)にも録音時間にも余裕があるのに Disc FullUが表示される

曲中にエンファシス情報などの入り切りが多く行われたり、録音や編集をくり返し行うと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full!」が表示されます。

編集時に Group Full! が表示される

- ・グループ機能が働いているときに編集操作を行うと、「Group Full!」と表示されることがあります。この場合、グループ管理に必要な文字数が不足しています。ディスク名やグループ名などの不要な文字を削除してください。
- ・グループ機能が働いていないときでも、MOVEやDIVIDEなどの編集操作を行うと、グループ管理情報が更新されるため、「Group FullU」と表示されることがあります。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

*ステレオ録音時。(モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒)

次のページへ続く

MDのシステム上の制約(つづき)

曲をつなげない

編集を行ってきた曲はつなぐことができない場合があります。

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない

通常、録音は約2秒*を最小単位としてディスクに記録します。2秒*に満たない場合でも、実際には2秒*分のスペースを使います。このため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。

*ステレオ録音時。(モノラル、LP2ステレオ録音時は約4秒、LP4ステレオ録音時は約8秒)

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

曲番が曲の頭に付かない

レベルシンクロ録音中でも、次のときは曲番が曲の頭に付かないことがあります。

- ・ 曲の間の時間が短くて一定レベル以下になるときのとき
- ・ 曲の途中で2秒以上一定レベル以下になるときのとき
- ・ 4秒*以下の曲を録音したとき

*ステレオ、モノラル、LP2ステレオ録音時。(LP4ステレオ録音時は8秒以下)

余分な曲が作られる

CDの曲間が長い場合、余分な曲が作られることがあります。

デジタルオーディオをコピーするときの 1レールーシリアルコピーマネージメント システム

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。コンパクトディスク(CD)、ミニディスク(MD)、デジタルオーディオテープ(DAT)、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たります。これらは音楽を手軽に、劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制が必要になりました。それが「シリアルコピーマネージメントシステム」です。本機的设计はこのシステムに準拠しています。概要は以下の通りです。

原則1

デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器(MDやDATデッキなど)へのデジタル録音はできません。

原則2

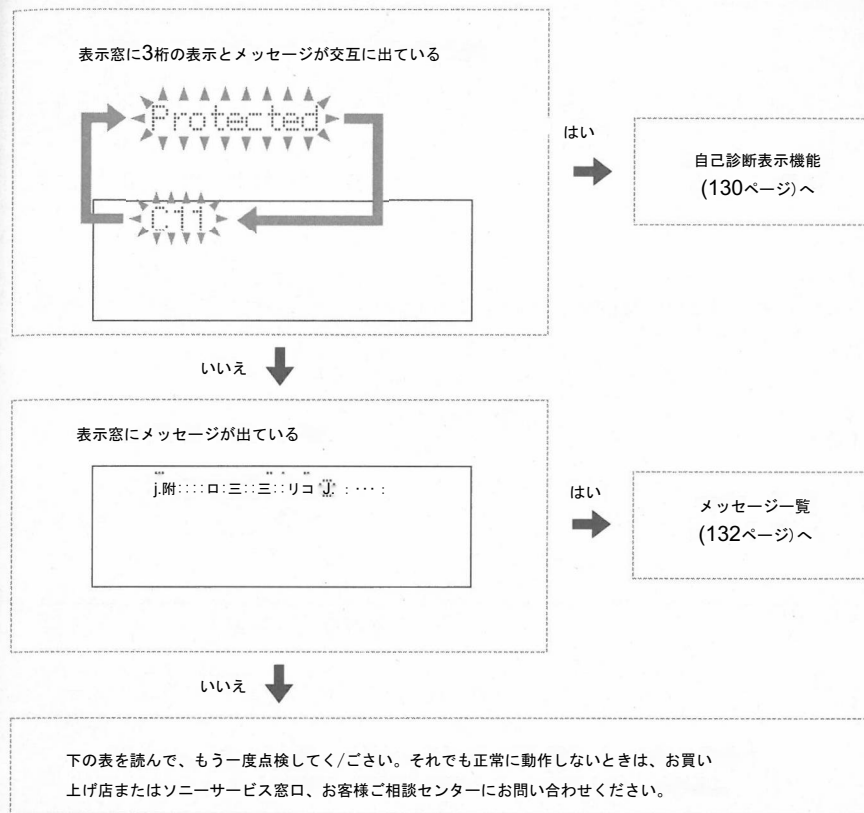
アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できる。

ご注意

- ・ CS/BSチューナーからはデジタル録音できないことがあります。これは、放送局側で放送チャンネルや番組のデジタル録音を、禁止または制約する場合があります。
- ・ 機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
- ・ 著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、以下の手順にしたがって点検してください。



共通

症状

原因と対応のしかた

電源を切っても表示

デモ表示になっている。

窓やボタンがくり返し今電源を切った状態でDISPLAYをくり返し押して、時計表示や低消費電力点灯、点滅する

モードに切り換える。

「-: -」が表示される 電源コードを抜いた、または停電などにより、時計の設定が解除されている。
今時計を設定し直す(13ページ)。

次のページへ続く

その他

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	ボリュームが小さい。 音量+を押す。 ヘッドホンを差したままになっている。 今ヘッドホンを抜く。 ・スピーカーが正しく接続されていない。 ・スピーカーコードのビニール部分がスピーカー端子に食い込んでいる。 今スピーカーコードを正しく接続し直す(9ページ)。 MDディスクが入っていない状態でBGMD機能が働いている。 今BGMDを押してBGMDインジケータを消灯させる。
音がおかしい	スピーカーコードの+/-が正しく接続されていない。 今スピーカーコードを正しく接続し直す(9ページ)。 左右のスピーカーの高さ、距離が極端に違う。 另高さ、距離をできるだけ対称にする。 ひとつのスピーカー端子に2台以上のスピーカーをつないでいる。 》ひとつのスピーカー端子につなぐのは、付属のスピーカー1台にする。 付属のスピーカー以外のスピーカーをつないでいる。 今付属のスピーカーをつなぐ。
雑音が多い	テレビやビデオなど、ノイズを出す機器の近くに設置している。 今離れたところに設置する。 冷蔵庫など、ノイズを出す機器と同じ電源コンセントにつないでいる。 今別の電源コンセントにつなぐ。 今電源ラインのノイズフィルター(市販)を使用する。
タイマーが設定できな・時計が設定されていない	・停電などにより、時計の設定が解除された。 今時計を設定し直す(13ページ)。
タイマーが働かない	電源を切る前にタイマーが働くように設定していなかった。 今時計/タイマーの選択を押して、表示窓に「DAILY」またはFREC1(-3)を点灯させる(106、108ページ)。 誤った時間が設定されている。 ・設定内容を確認し、正しい時間を設定する(106-108ページ)。 接続した機器(別売り)側のタイマーを設定していない。 4接続した機器の説明書を見て、同じ時刻にタイマーを設定する。

症状	原因と対応のしかた
IJモコンで操作できなリモコンと本体の間に障害物がある。	6障害物を取り除く。 リモコンと本体の距離が離れすぎている。 ク近寄って操作する。 リモコンの発光部が本体の方を向いていない。 今リモコンを本体に向ける。 リモコンの乾電池が消耗している。 す 乾電池(単3)を交換する。 本体の近くにインバーター方式の蛍光灯がある。 今本体と蛍光灯を離して設置する。
キーボードからの操作キーボードが正しく接続されていない。	今キーボードのコネクターを抜いて、再度本機後面のPC LINK/KEYBOARD端子に接続する。
を受けつけない	本機の電源が入っていない。 ク本機の電源を入れる。
表示窓に何も表示さ 表示窓のバックライトが「消」に切り換えられている。	
れない	今リモコンのデイマーをくり返し押す。

DVD、CD・ビデオCD

症状	原因と対応のしかた
ディスクトレイが閉まらない	ディスクがトレイの中央に入っていない。 今トレイの中央にディスクを入れ直す。 ディスクトレイを無理に押し込もうとした。 今トレイは必ず2DVDを押して閉める。手で押し込もうとすると、故障の原因になります。
ディスクが出てこないシールなどからのりがはみ出したり、のりが付着したディスクを入れたため、ディスクが内部に貼り付いている、または貼り付いたディスクが内部に落ちて挟まっている。	・お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
ディスクを入れたまま、本機を移動するなどの振動を与えたため、ディスクが内部に挟まった。	4お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

次のページへ続く

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	ディスクが入っていない。 6ディスクトレイを開けて、ディスクが入っているか確認する。 ディスクの汚れ(油膜、指のあとなど)がひどい。 今 汚れを拭き取る(118ページ)。 ディスクの傷がひどい。 ウディスクを交換する。 再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ウ ディスクを交換する。 ディスクがずれて入っている。 クディスクを正しく入れ直す。 ディスクが裏返しに入っている。 6印刷面を上にして、トレイに入れ直す。 本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 今ディスクを取り出してディスクの水分を拭き取り、本機の電源を入れたまま数時間待つ。 ディスクが再生状態になっていない。 »DVDAllを押し、再生状態にする。 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている。 今 地域番号に「All」または「2」が含まれているDVDのみ再生できます。 カスタム視聴制限が働いている。 今カスタム視聴制限を解除する(89ページ)。
音とびがする	ディスクの汚れ(油膜、指のあとなど)がひどい。 ク 汚れを拭き取る(118ページ)。 ディスクの傷がひどい。 クディスクを交換する。 再生しようとしているディスクが規格外の大きさ、形状、記録方式である。 ウディスクを交換する。 本機に振動が加わっている。 今振動のない場所(安定した台の上など)に設置してみる。 今スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。
再生がディスクの最初から始まらない	プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 今再生モード/チューニングモードをくり返し押して、ふつうの再生に戻す。 リジューム再生になっている。 今 停止中に、DVDの・を押してから再生を始める(33ページ)。 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が表示されるデ、イスクが入っている。 クメニューに従って、再生を進める。

DVDのみ

症状	原因と対応のしかた
再生が自動的に始まる	自動的に再生が始まるDVDが入っている。 今ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
再生が自動的に止まる	オートポーズ信号が記録されているDVDを再生している。 今オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まります。ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
ストップ、スキャン、スロー、リピート再生、シャッフル再生、プログラム再生などの操作ができない	設定画面の「言語設定」の「画面表示言語」で希望する言語が選ばれていない。 今「画面表示言語」で希望の言語を選ぶ(99ページ)。
音声言語を変更できない	再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない、または音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。 今ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を変更できない	再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない、または字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。 今ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
字幕を消すことができない	4ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。
アングルを変更して見ることができない	再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 +表示窓のアングル表示が点灯している場面で、アングルを切り換える(87ページ)。 アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。 6ディスクに付属の説明書もあわせてご覧ください。

次のページへ続く

チューナー(ラジオ)

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る/受信できない	放送局のバンド(FM/AM)、周波数が合っていない。 <u>》バンドと周波数を正しく設定する(14ページ)。</u> アンテナが正しく接続されていない。 <u>ク正しく接続し直す(9、10ページ)。</u> ・アンテナが受信状態のよい場所に設置されていない。 ・電波が弱い。 今受信状態のよい場所(窓の外など)や方向を探し、設置し直す(11、12ページ)。 鉄筋、鉄骨造りのマンションなどの場合、付属の簡易アンテナでは十分に受信できない場合があります。窓の外に設置しても受信状態がよくなる場合は、<u>市販の外部アンテナをつなぐことをお勧めします。</u> アンテナの一部分を折りたたむ、束ねる、巻き取るなどしている。 今付属の簡易アンテナは全面で受信しているため、余分に感じる部分もそのまま垂らしておく(12ページ)。 <u>今付属のFM簡易アンテナの先は、テーブルなどで壁にとめる(12ページ)。</u> キーボードの種類と使用環境が本機に合っていない。 4キーボードをはずす。 アンテナの一部分をスピーカーコードといっしょに束ねている。 <u>ッスピーカーコードからできるだけ離す。</u> 付属のAMアンテナのアンテナ線がブラステックスタンドからはずれている。 <u>・お近くのソニーサービス窓口へご相談ください。</u> 電気器具の影響を受けている。 <u>・電気器具の電源を切ってみる。</u>
ステレオにならない	モノラル受信の設定になっている。 <u>》リピート/FMモードをくり返し押して「MONO」を消灯させる。</u> 受信状態が悪い。 <u>》症状「雑音が入る/受信できない」を参照し、アンテナの状態を確認する。</u>
MDに録音中、ザーザーという雑音が多くなる	アンテナの設置位置が適切でない。 <u>→雑音が消える位置までアンテナを動かす。</u>

MD

歩状	原因と対応のしかた
ディスクが入らない	ディスクの向きが違う。 <u>→矢印の書いてある面を上にして、矢印の向きに挿入する。</u>
操作を受け付けない	MDが汚れている、または破損している <u>今 新しいMDと交換する。</u> F_{TOC}Jが点滅し、TOCを書き込み中である。 <u>今「TOC」が消灯してから操作し直す。</u>
再生が始まらない	ディスクの汚れ(油膜、指のあとなど)、傷がひどい。 <u>6ディスクを交換する。</u> ディスクに何も記録されていない。 <u>今録音されているディスクと交換する。</u> 本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。 <u>クディスクを本機に入れ、本機の電源を入れたまま数時間待つ。</u> M Dが再生状態になっていない。 <u>今MDALLを押し、再生状態にする。</u> グループ登録された曲がないときに、グループ機能を働かせている。 <u>今グループを押して「GROUP」を消灯させ、グループ機能を解除する。</u>
音とびがする	ディスクの汚れ(油膜、指のあとなど)、傷がひどい。 <u>6ディスクを交換する。</u> 本機に振動が加わっている。 ク振動のない場所(安定した台の上など)に設置してみる。 6スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置してみる。 低音の効いた曲を大音量でお聞きになっている場合、スピーカーの振動により音とびしている可能性があります。 本機内部とディスクの温度差が大きい。 クディスクを本機に入れ、電源を入れたまま10-20分待つ。
再生が1曲目から始まらなくなる	再生またはシャッフル再生になっている。 今再生モード/チューニングモードをくり返し押して、ふつうの再生に戻す。
「-OVER-」が表示される	再生一時停止中、MDのAAを押し続け、ディスクの最後まで達した。 今MDの◀を押し続ける、または▶を押して再生位置に戻す。
MDに録音したり編集を行ったのに、その情報が記録されない	MDの録音や編集後、MDを取り出さないで電源コードを抜いた。 やったのに、その情報やMDの録音や編集情報は、MDを取り出すときに記録されるため、録音や情報が記録されない 編集後は必ずMDを取り出してください(43、59ページ)。

次のページへ続く

故障か用と思ったらりづき)

症状	原因と対応のしかた
録音できない	MDが誤消去防止状態になっている(「C11」とFProtecteclJが交互に表示されている)。 ・ ディスクを取り出し、録音可能状態にする(43ページ)。 別売りの機器が正しく接続されていない。 ・ 別売りの機器を正しく接続し直す(111、113、114ページ)。 音源がMDになっている ・ 》他の音源に切り換える。 市販の再生専用のMDが入っている。 ・ 》録音用MDと交換する。 MDの残り時間が足りない。 今MD編集のERASE機能を使っていない曲を消す(65ページ)か、別のMDと交換する。 録音中に停電があった、または電源コードが抜かれた。 ・ 初めから録音し直す。

録音したMDを再生す 録音された音の大きさが小さく(または大きく)設定されている。
ると音が小さい(また)録音レベルを調節し直す(57、73ページ)。
は大きい)

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が出ない	本機が正しい状態になっていない。 6共通「音が出ない」を参照し、本機の状態を確認する。 別売りの機器が正しく接続されていない。 今以下の点を確認しながら正しく接続し直す(111、113、114ページ)。 ・ 接続コード/ケーブルが正しい位置に接続されているか。 ・ 接続コード/ケーブルのコネクターがしっかり奥まで差し込まれているか。 ・ デジタル接続ケーブルが接続されているか。 つないだ機器の電源が入っていない。 今電源を入れる。 つないだ機器での再生が始まっていない。 今つないだ機器の説明書を見て、再生を始める。
レコードプレーヤーかレコードプレーヤーを直接つないでいる。 らの音が小さい	今つないでいるレコードプレーヤーに、イコライザーが内蔵されているか確認する。内蔵されていないときは、本機とプレーヤーの間に、イコライザー(市販)をつなぐ。 DIGITAL IN ファンクションがOPTICAL INになっていない。 (OPTICAL)入力端 タファンクションをくり返し押して「OPTICAL IN」を表示させる。 子につないだ機器の

これらの処置をしても正常に動作しないときは

電源を入れた状態で、MDの■を押しながら、VOLUME-とREC MODEを同時に押す。

| TCOLD RESETJと表示されたあと、電源が切れます。

DVD以外の設定がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマー設定をやり直してください。

DVDでは「設定画面を使う」(96ページ)の手順3で「リセット」を選び決定を押したあと、「はい」を選び、決定を押します。リセットが完了するまで数秒かかります。リセット中はレ。(電源)を押して、電源を切らないでください。

自己診断表示機能(3桁または5桁の表示とメッセージが交互に出たら)

本機には自己診断表示機能がついています。これは、本機が正しく動作していないとき、表示窓に3桁または5桁の表示とメッセージを交互に表示してお知らせする機能です。

表示によって、本機の状態がわかるようになっていきます。以下の表をご覧ください、表示に合った対応をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。



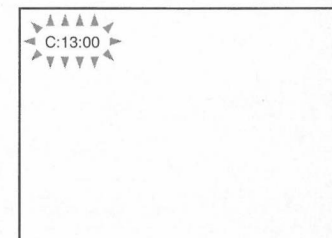
表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C11 / Protected	ディスクが誤消去防止状態になっている。 ウディスクを取り出し、録音可能状態にする(43ページ)。
C12 / Cannot Copy	CD-ROMなど本機で再生できないフォーマットのディスクを録音しようとしている。 ウディスクを取り出し、電源を入れ直す。
C13/REC Error	正しく録音できなかった。 今振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す(「故障かな?と思ったら」のMDの項目にある「音とびがする」(127ページ)をご覧ください)。 ディスクにひどい汚れ(油膜、指のあとなど)や傷がある、またはディスクが規格外である。 *ディスクを交換して、録音をやり直す。
C13 / Read Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 6ディスクを入れ直す。
C14/Toc Error	ディスク情報を正しく読み取れなかった。 ク他のデ、ィスクを入れてみる。 ウディスク上の内容をすべて削除してよいときは、MD編集のAll Erase機能を使って記録されている内容をすべて削除する(66ページ)。
C41 / Cannot Copy	録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。またはCD-Rを録音しようとしている。 今シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピーできない(120ページ)。また、CD-Rは録音できない。

表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C71/ Check OPT-IN	一瞬表示されて消えるときは、録音中のデジタル放送の信号によるものです。録音内容に影響はありません。 DIGITAL IN (OPTICAL)入力端子に何も接続されていない、または正しく接続されていない状態で、別売りのデジタル機器から録音しようとした。 今デジタル接続ケーブル(別売り)を使って、DIGITAL IN (OPTICAL)入力端子にデジタル機器を正しく接続する(111ページ)。 接続されているデジタル機器側の電源が入っていない。 今接続したデジタル機器の説明書を見て、電源が入っているか確認する。 DIGITAL IN (OPTICAL)入力端子につないだ機器からのデジタル録音中に、デジタル接続ケーブルが抜かれた、またはつながつているデジタル機器の電源が切られた。 ケーブルをつなぐ、またはデジタル機器の電源を入れる。

E0001/ MEMORY NG 本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。
お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

E0101/ LASER NG 光ピックアップに問題が生じた。
今故障の可能性あります。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

DVDでは自己診断機能が働くと、テレビ画面および表示窓にアルファベットと数字で5桁のサービス番号(例: C13 00)が表示されます。その際は次のように対応してください。



サービス番号の最初の3桁原因と対応のしかた

C13	DVDのディスクが汚れている。 今柔らかい布でディスクを拭く。
C31	DVDのディスクが正しく入っていない。 ディスクを正しく入れ直す。
EXX (XXは任意の数)	異常を未然に防ぐため自己診断表示機能が働いた。 今お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際はサービス番号の5桁すべてをお知らせください。 例: E6110

その他

メッセージ一覧

使用中、状況によって英語のメッセージを表示します。意味は以下の通りです。

MD	
メッセージ	原因と対応のしかた
Auto Cut	録音中、無音状態が約30秒以上続いたため、オートカット機能が働き、無音部分(曲間)を約3秒に短縮したあと、録音一時停止状態になった。 今録音を始めたいところでMDAllを押し、録音を再開する。 曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除して録音し直す(56ページ)。
Blank Disc	挿入されたMDには何も録音されていない、またはMD編集のERASE機能を使って録音内容がすべて削除されている。 今—
Cannot Edit	市販の再生専用MDが入っている。 今 再生専用MDは編集できない。 プログラム再生、またはシャッフル再生になっている。 今再生モード/チューニングモードをくり返し押して、ふつうの再生に戻す。 MDLP録音されている。 今MDLP録音した曲の録音レベルは変更できない。
Cannot REC	市販の再生専用MDが入っている。 今再生専用MDへは録音できない。 ファンクションがMDになっている。 今6ファンクションを押し、録音源(MD以外)を選ぶ。
Complete!	MD編集作業が、正常に終了した。 今—
Disc Full!	録音可能時間が残り少なく、録音できない。 今新しいディスクと交換する。
Eject	ディスクを排出中。 今—
Group Full!	グループ数の上限を越えて新たにグループを作成しようとした。または、グループ管理情報の更新に必要な文字数が不足している。 今不要な文字(ディスク名または曲名)を消す。

メッセージ	原因と対応のしかた
Impossible	MD編集操作で、不可能な編集内容が指定された。 今編集操作をやり直す。 つなごうとした(Combineしようとした)曲が、MDのシステム上の制約で、つなげない状態になっている。 今指定のとおり編集することはできません。 MDでは、ひとつの曲が連続で録音されるわけではありません。ディスク上の空いている場所を探しながら、効率よく録音されていきます。この録音方式により、MDは手軽に録音、編集がくり返せるのです。 しかし、録音や編集を何度もくり返したMDでは、ひとつの曲がディスクのあちこちに、少しづつ記録されている状態ができてしまうことがあります。そのような状態で記録されてしまった曲は、MDのシステム上の制約により、他の曲とつなぐことができません。
Incomplete!	本体の振動やディスクの傷、汚れなどにより、録音後の録音レベルの変更やフェードイン・フェードアウトの操作が正しく行われなかった。 今本体を振動のない場所に置く、または傷や汚れのないディスクを使用する。
Initialize が点滅	長い間電源を入れていなかったため、初期化を行っている。 今—
Name Full!	入力可能な文字数(約1700文字)がすでに記録されている。 今不要な曲名などを削除してから、入力し直す。
No Change	録音後に録音レベルを変更するときに、録音レベルを変更しないでENTER/YESを押したため、書き換えをせずに終了した。 今—
No Disc	ディスクが挿入されていない。 今—
—OVER—	再生一時停止中、MDのAAを押し続け、ディスクの最後まで達した。 今MDのAAを押し続ける、またはを押して再巻位置に戻す。
Push STOP!	MD再生中に再生モード/チューニングモードを押した。 今再生中は再生モードの変更はできない。MDのを押して再生を停止させてから、再生モード/チューニングモードを押す。
—Rehearsal—	MD編集A-B EraseまたはDIVIDEの操作中、曲を分ける場所の指定終了後、確認のために再生中。 今 再生される内容を聞き、分ける部分を確認する(67、69ページ)。
S.FEdit!	S.F EDIT (録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト)を実行中に他の操作をしようとした。 今S.F EDITの実行中は他の操作はできない。
S.F Edit NOW	S.F EDIT (録音後の録音レベルの変更、フェードイン・フェードアウト)の実行中にI/O (電源)を押した。 今S.F EDITの実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しない。書き換え終了後に電源を切る。 それでも書き換え中に電源を切るときは、メッセージ表示中に再びI/O (電源)を押す。

その
他の

メッセージ	原因と対応のしかた
Smart Space	録音中、約3秒以上、約30秒未満の無音状態が続いたため、スマートスペース機能が働き、無音部分が約3秒に短縮された。 今曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除する(56ページ)。
Step Full!	25トラックがすでにプログラムされている。 今不要な曲を消してから、プログラムし直す(30ページ)。
Text Protect	CDテキストの中にMDへ録音できない情報が入っている。 今NAME EDIT/SELECTを押したあとENTER/YESを押すと、録音している曲の曲名が記録できます。
TOC Reading	ディスクの情報を読み取っている。 今表示が消えるまでしば、らくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が読み取れなくなります。
TOC Writing	録音、編集された情報を、ディスクに書き込んでいる。 今表示が消えるまでしばらくお待ちください。 表示が消えるまで、本機に振動を与えないでください。正しく情報が書き込めなくなります。
Track End	MD編集DIVIDEの操作中、曲を分ける位置の調整中に曲の最後まで達した。 今MDのI<を押し、位置を変える(69ページ)。
Tr Protect	消去を禁止されている曲を消そうとした。 今-

DVD

メッセージ	原因と対応のしかた
No Disc	ディスクが挿入されていない。 今-
Push STOP!	DVD再生中に再生モード/チューニングモードを押した。 今再生中は再生モードの変更はできない。DVDの・を押して再生を停止させてから、再生モード/チューニングモードを押す。
Cannot Use	無効なボタンを押した。 今-

チューナー(ラジオ)

メッセージ	原因と対応のしかた
WAIT	ラジオヘファンクションを切り換えている。 今-

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではステレオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- ・ 型名 : CMT-P555DVD
- ・ 故障の状態 : できるだけ詳しく
- ・ 自己診断機能の状況 :
- ・ 故障したときに再生していたディスク :
- ・ 購入年月日 :
- ・ お買い上げ店 :

主な仕様

本体(HCD-P555)

アンプ部	
実用最大出力	25W + 25W (JEITA* 6Q負荷)
入力端子	テープ：250mV、47kC デジタルオプチカル(対応サンプリング 周波数32kHz、44.1kHz、48kHz)
出力端子	テープ：250mV、1kQ PHONES端子：ステレオミニジャック、 8Q以上
デジタルオプチカル	出力レベル：-18dBm 発光波長：660nm
モニター出力端子(映像)	ピンジャック、 最大出力レベル：1.0VP-P、 負荷インピーダンス：75Q同期負
モニター出力端子(S映像)	4ピンミニDIN、 最大出力レベル 輝度信号I.OVP-P、負荷インピーダン ス75c同期負 色信号0.286VP-P、負荷インピーダン ス75c終端
モニター出力端子(D映像)	D端子、 最大出力レベル Y 1.0VP-P、負荷インピーダンス75Q 同期負 Cb/B-Y、Cr/R-Y 0.7VP-P、負荷イン ピーダンス75Q終端

DVDプレーヤー部

形式	CD/DVDプレーヤー
信号方式	JEITA*標準、NTSCカラー方式
周波数特性	DVD 2Hz -22kHz CD 2Hz~20kHz

MDデッキ部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	5Hz -20kHz

チューナー部	
受信周波数	FM 76 -90MHz AM 531-1,602kHz
アンテナ端子	FM 75c不平衡型/3000平衡型 AM 外部アンテナ端子

スピーカーシステム(SS-CP555)

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー(低音用) 12cmコーン型 トイーター(高音用) 2.5cmバランスド ライブ インピーダンス 6Q

その他

電源	AC 100V、50/60HZ
消費電力	70W 通常動作時(JEITA*) 約0.2Wスタンバイ(低消費電力待機 モード)時

最大外形寸法(幅x高さx奥行き、最大突起部含む)	
アンプ/CDプレーヤー/MDデッキ/ チューナー部：	190X141 x 325mm
スピーカーシステム部：	150 x 250 x 240mm
質量	アンプ/CDプレーヤー/MDデッキ/ チューナー部： 5.6kg スピーカーシステム部： 3.0kg (1台)
付属品	リモートコマンダー(1) 単3形乾電池(2) スピーカーコード(2) 映像接続ケーブル(1) FM用簡易アンテナ(1) AMループアンテナ(1) はじめにお読み6さい(1) 取扱説明書(1) 安全のために(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1) テクニカルインフォメーションセンターの ご案内(1)

別売りアクセサリパソコン接続キット	
キーボードKB-10	
カセットデッキTC-TX21	
本機に対応する別売りアクセサリは、 予告なく変更することがあります。詳しく はお買い上げ店またはソニーサービス窓 口、お客様ご相談センターにお問い合わせ ください。	

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA (電子情報技術産業協会)規格による測定
値です。

用語解説

インデックス(CD)/ビデオインデックス (ビデオCD)

再生したい部分を見つけやすいように、1つのト
ラックをいくつかの部分に区切って番号を付け
たもの。インデックスが記録されていないデ
ィスクもある。

視聴年齢制限(88ページ)

国ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制
限に対応したディスクの再生を制限する、という
DVDの機能。制限のしかたはDVDによって異
なり、全く再生できない場合や過激な場面をと
ばしたり、別の場面に差し替えて再生する場合
などがある。

シーン

PBC (プレイバックコントロール)対応のビデオ
CDで、メニュー画面や動画、静止画の区切り
のこと。

タイトル

DVDに記録されている映像や曲のいちばん大
きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、
音楽ソフトではアルバム1枚(または1曲)にあ
たる。

地域番号(リージョンコード)(5ページ)

著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域
によって、DVDプレーヤーやDVDディスクに
は地域番号が割り当てられていて、プレーヤー
本体やディスクのパッケージに、それぞれの地
域番号が表示されている。プレーヤーとディス
クの地域番号が一致していると再生できる。表
示のあるディスクは、どのプレーヤーでも再生
できる。なお、地域番号の表示がないDVDで
も、地域制限されている場合がある。

チャプター

DVDに記録されている映像や曲の区切りで、
タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいく
つかのチャプターで構成されます。チャプター
が記録されていないディスクもある。

トラック

ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の
区切り(1曲分)。

ドルビーサラウンド(プロロジック)

ドルビーラボラトリーズ社がサラウンド音声の
ために開発した音声信号の処理技術。入力信
号にサラウンド信号があるとき、プロロジック処
理をして、フロント、センター、リアに信号を出
力する。リアチャンネルはモノラルになる。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズ社の開発した音声のデ
ジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに
対応している。リアチャンネルはステレオにな
り、サブウーファーチャンネルは独立して出力さ
れる。ドルビーデジタルシネマ音声方式のよう
な高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽
しむことができる。全チャンネルが完全に分離
した状態で記録されるのでチャンネル間セパ
レーションが良く、すべてデジタルで受け渡しさ
れるので劣化しにくいという特長がある。

バーチャルエンハンストサラウンド(VES) (75ページ)

ソニーが開発したサラウンド技術のコンセプト
名。付属のフロントスピーカーだけでDVDのサ
ラウンドが楽しめる。実際にはスピーカーがなく
ても後方に複数のスピーカーを配置したかのよ
うな音場を楽しめる。

[次のページへ続く](#)

ビットレート(95ページ)

DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps (Mega bit per second)で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はkbps (kilo bit per second)。

この値が大きいほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

D映像信号

D端子付きデジタルテレビと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子には対応する信号フォーマットによってD1、D2とD3端子がある。

- ・ D1端子 : 525i(480i)の信号に対応
- ・ D2端子 525i (480i)と525P (480p)の信号に対応
- ・ D3端子 525i (480i)と525P (480p)、1125i(1080i)の信号に対応

本機はD1端子に対応しています。

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DVD

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。

片面1層で4.7GB(GigaギガByteバイト)とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEGエムベグ2」を採用し、映像データを約1/40 (平均)に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声を楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DT8

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。

全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

言語コード一覧表

詳しくは85、87、99ページをご覧ください。

言語名表記はISO639V988 (E/F)に準拠

コード言語	コード言語	コード言語	コード言語
1027 Afar	1183 Irish	1347 Maori	1507 Samoan
1028 Abkhazian	1186 Scots Gaelic	1349 Macedonian	1508 Shona
1032 Afrikaans	1194 Galician	1350 Malayalam	1509 Somali
1039 Amharic	1196 Guarani	1352 Mongolian	1511 Albanian
1044 Arabic	1203 Gujarati	1353 Moldavian	1512 Serbian
1045 Assamese	1209 Hausa	1356 Marathi	1513 Siswati
1051 Aymara	1217 Hindi	1357 Malay	1514 Sesotho
1052 Azerbaijani	1226 Croatian	1358 Maltese	1515 Sundanese
1053 Bashkir	1229 Hungarian	1363 Burmese	1516 Swedish
1057 Byelorussian	1233 Armenian	1365 Nauru	1517 Swahili
1059 Bulgarian	1235 Interlingua	1369 Nepali	1521 Tamil
1060 Bihari	1239 Interlingue	1376 Dutch	1525 Telugu
1061 Bislama	1245 Inupiak	1379 Norwegian	1527 Tajik
1066 Bengali;	1248 Indonesian	1393 Occitan	1528 Thai
Bangla	1253 Icelandic	1403 (Afan)Oromo	1529 Tigrinya
1067 Tibetan	1254 Italian	1408 Oriya	1531 Turkmen
1070 Breton	1257 Hebrew	1417 Punjabi	1532 Tagalog
1079 Catalan	1261 Japanese	1428 Polish	1534 Setswana
1093 Corsican	1269 Yiddish	1435 Pashto;	1535 Tonga
1097 Czech	1283 Javanese	Pushto	1538 Turkish
1103 Welsh	1287 Georgian	1436 Portuguese	1539 Tsonga
1105 Danish	1297 Kazakh	1463 Quechua	1540 Tatar
1109 German	1298 Greenlandic	1481 Rhaeto-	1543 Twi
1130 Bhutani	1299 Cambodian	Romance	1557 Ukrainian
1142 Greek	1300 Kannada	1482 Kirundi	1564 Urdu
1144 English	1301 Korean	1483 Romanian	1572 Uzbek
1145 Esperanto	1305 Kashmiri	1489 Russian	1581 Vietnamese
1149 Spanish	1307 Kurdish	1491 Kinyarwanda	1587 Volapuk
1150 Estonian	1311 Kirghiz	1495 Sanskrit	1613 Wolof
1151 Basque	1313 Latin	1498 Sindhi	1632 Xhosa
1157 Persian	1326 Lingala	1501 Sangho	1665 Yoruba
1165 Finnish	1327 Laothian	1502 Serbo-	1684 Chinese
1166 Fiji	1332 Lithuanian	Croatian	1697 Zulu
1171 Faroese	1334 Latvian;	1503 Singhalese	
1174 French	Lettish	1505 Slovak	1703 無指定
1181 Frisian	1345 Malagasy	1506 Slovenian	

ローマ字/カタカナ対応一覧

ア行

ア A	イ I YI WU	ウ U WHU	エ E	オ O	ア LA XA XI XU XE XO	イ LI LYI XYI	ウ LU	エ LE LYE XEY	オ LO
--------	-----------------	---------------	--------	--------	---------------------------	-----------------------	---------	-----------------------	---------

					ウア ウイ WHA WHI WI		ウエ ウオ WHE WHO WE	
--	--	--	--	--	------------------------	--	------------------------	--

カ行

カ KA CA	キ KI	ク KU CU QU	ケ KE	コ KO CO	キャ キイ KYA KYI	キュ KYU	キエ KYE	キョ KYO
---------------	---------	---------------------	---------	---------------	------------------	-----------	-----------	-----------

					クヤ QYA	クユ QYU		クヨ QYO
					為 A 孤 QA	クマ W U MA	クエ WE Q	クオ WO QO
							クエ WE Q	クオ WO QO

ガ A	ギ	グ U	ゲ GE	ゴ O	ギヤ YA	ギイ YI	就	ギエ YE	読
					蔡 A 氣	グ W U	グ T E	蔡	〇

サ行

サ SA	シ C	ス U	セ E	ソ SO	シヤ YA	シイ YI	シユ YU	シエ YE	シヨ YO
	S	H	E		SYA	SH	SH	SYE	S H
					SHA		SH	SHE	

ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	み YA	み YI	陽	鹹	鏡
ZA	ZI	ZU	ZE	ZO	ZY	ZYI	ZYU	ZY E	JYO
	Ji				JY	J.YI	JYU	JY E	JO
					JA		JU	JE	

タ行

タ TA	チ TI CHI TSU	ツ TU	テ TE	ト TO	チャ TYA CHA CYA	チイ TYI CYI	チュ TYU CHU CHE CYU	チェ TYE CHO CYE	チヨ TYO CYO
---------	--------------------	---------	---------	---------	-------------------------	------------------	-----------------------------	-------------------------	------------------

		ツ LTU XTU LTSU			ツア TSA	ツイ TSI		ツエ TSE	ツオ TSO
--	--	-------------------------	--	--	-----------	-----------	--	-----------	-----------

					テヤ THA THI	テイ THI	テユ THU	テエ THE	テヨ THO
					トア TWA	トイ TWI	枕	羸	品

ダ DA	ヂ DI	ヅ DU	デ DE	ド DO	チャ DYA	ヂイ DYI	チュ DYU	チェ DYE	チヨ DYO
---------	---------	---------	---------	---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

					デヤ DHA	ディ DHI	デュ DHU	デエ DHE	デヨ DHO
					ドア DWA	ドイ DWI	ドウ DWU	ドエ DWE	ドオ DW0

ナ行

ナ NA	ニ NI	ヌ NU	ネ NE	ノ NO	ニヤ NYA	ニイ NYI	ニユ NYU	ニエ NYE	ニヨ NYO
---------	---------	---------	---------	---------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

次のページへ続く

ハ行

ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ヒヤ	ヒイ	ヒュ	ヒエ	ヒョ
HA	HI	HU FU	HE	HO	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO

					ファ	フィ	フウ	フェ	フォ
					FWA	FWI	FWU	FWE	FWO
					FA	FI	FI	FE	FO
						FYI		FYE	
					フヤ		フュ		フョ
					FYA		FYU		FYO

バ	ビ	ブ	ベ	ボ	ビヤ	ビイ	ビュ	ビエ	ビョ
BA	BI	BU	BE	BO	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO

					ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
					VA	VI	VU	VE	VO

					ヴァ	ヴィ	ヴ	ヴェ	ヴォ
					VYA	VYI	VYU	VYE	VYO

パ	ピ	プ	ペ	ポ	ピヤ	ピイ	ピュ	ピエ	ピョ
PA	PI	PU	PE	PO	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

マ行

マ	ミ	ム	メ	モ	ミヤ	ミイ	ミュ	コエ	ヨ
MA	MI	MU	ME	MO	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO

ヤ行

ヤ		ユ		ヨ	ヤ		ユ		ヨ
YA		YU		YO	LYA		LYU		LYO
					XYA		XYU		XYO

ラ行

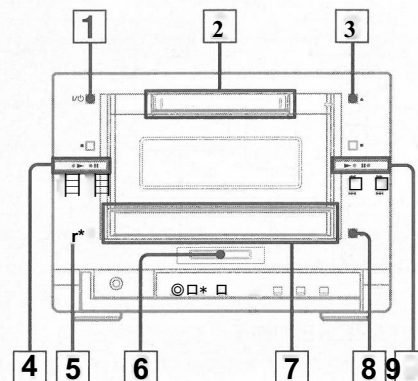
ラ	リ	ル	レ	ロ	リヤ	リイ	リュ	リエ	リョ
RA	RI	RU	RE	RO	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO

ワ行

ワ				ヲ	ン				
WA				WO	NN				
					XN				

各部のなまえ

本機



田レ 電源)スイッチ

本機の電源を入/切します。

このスイッチのI/O (電源) ランプは電源コードをつなぐと赤に点灯し、電源を入れたら消灯します。

図MDスロット

図 WMD (取り出し) ボタン

画DVD All (再生/一時停止) ボタン

チューナー バンド
TUNER/BAND ボタン

ラジオのFM/AM切り換えに使用します。

他の音源を聞いているときに押すと、音源がラジオに切り換わってラジオ放送を聞けます。

ボリューム
(6)VOLUME +/- ボタン

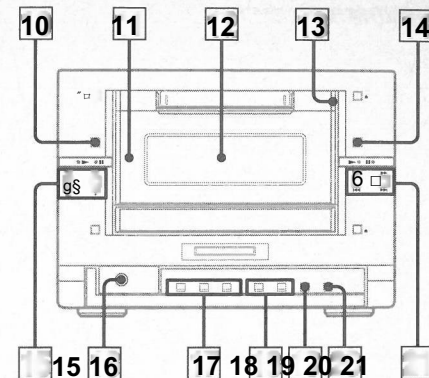
音量が+を押すと大きく、-を押すと小さくなります。

ディスクトレイ

右にある2DVDボタンを押して開閉します。

(8)WDVD (ディスクトレイ開/閉) ボタン

MMD All (再生/一時停止) ボタン



H・(停止) ボタン(DVD)

S3リモコン受光部

リモコンを使うときは、ここに向けて操作します。

表示窓

DVDやCD、MDの再生や録音の状態、ディスク名やトラック名などが表示されます。ラジオ受信中は、ラジオ局名や周波数などが表示されます。

図BGMDインジケータ

BGMD機能が働いているときに点灯します。

33・(停止) ボタン(MD)

画(DVD) (DVD) 再生/一時停止

チューニング
TUNING +/- ボタン

DVDの再生中は、次のタイトル(またはチャプター)、前のタイトル(またはチャプター)の頭出し(◀▶)ボタン、またはタイトル(またはチャプター)の好きなところを探す(◀▶)ボタンとして働きます。

CDの再生中は、次のトラック、前のトラックの頭出し(yk/aa)ボタン、またはトラックの好きなところを探す(◀/AA)ボタンとして働きます。

ラジオ受信中は周波数を合わせるためのボタン(+/-)として働きます。

ヘッドホン
PHONES端子

ヘッドホン(別売り)はここへつなぎます。

次のページへ続く

各部のなまえ(つづき)

同録音用ボタン

レコーディングモード
REC MODEボタン

録音モード(ステレオ録音/ステレオ2倍録音/ステレオ4倍録音/モノラル録音)の切り換えに使用します。

レコードレックイット
REC/REC ITボタン

録音ボタンです。
録音中に手動で曲番をつけるときにも使います。

シンクロ
CD SYNCボタン

CDからMDへのシンクロ録音に使用します。

H DISPLAYボタン

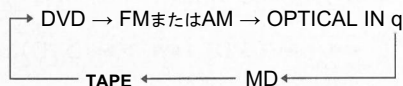
表示窓の上段に表示される内容(プリセットイコライザー名、時計、ディスク名/トラック名/ラジオ局名、音量など)を切り換えます。

タイム
TIMEボタン

表示窓の下段に表示される内容(DVDやMDの再生時間モードなど)を切り換えます。

FUNCTIONボタン

音源の切り換えに使用します。
このボタンを押すたびに次のように音源が切り換わります。



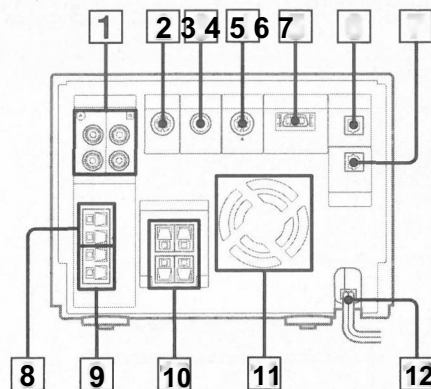
国BGMDボタン

BGMDモード(DVDとMDの同時再生)のON/OFFを切り換えるときに使用します。

1<</>(1/2)ボタン

MDの再生中に、次の曲、前の曲の頭出し(《>/<》)ボタンまたは曲中の好きなところを探す(《>/<》)ボタンとして働きます。

本機後面



ET瓊入出力端子

カセットデッキの入出力端子につなぎます。(114ページ)

TC LINK/KEYBOARD端子

本機に対応した別売りのソニー製パソコン接続キットを使ってパソコンを接続します。
キーボードは、ここへつなぎます。(116ページ)

VIDEO OUT出力端子

映像出力端子です。テレビの映像入力端子につなぎます。(11ページ)

S-VIDEO OUT出力端子

S映像出力端子です。別売りのS映像コードを使って、S映像入力端子付きのテレビを接続します。(11ページ)

COMPONENT VIDEO OUT出力端子

D1映像出力端子です。別売りのD端子ケーブルを使って、D映像入力端子付きのテレビを接続します。(11ページ)

DI孝帝荷(Q所%たL)入力端子

他のCS/BSデジタルチューナーなどの別売りのデジタル機器の光デジタル音声出力端子につなぎます。(111ページ)

DIGITAL OUT(PCM/DTS/DOLBY

DIGITAL)出力端子

別売りのデジタル機器やドルビーデジタルまたはDTSデコーター付AVアンプなどの光デジタル音声入力端子につなぎます。(113ページ)

回AMアンテナ端子

付属のAMループアンテナをつなぎます。(10ページ)
付属のアンテナではうまく受信できないときは、市販のビニール線もつないでください。(115ページ)

回FMアンテナ端子

付属のFM用簡易アンテナをつなぎます。(10ページ)
付属のアンテナではうまく受信できないときは、市販の外部アンテナをつないでください。(115ページ)

回SPEAKER端子

付属のスピーカーをつなぎます。(9ページ)

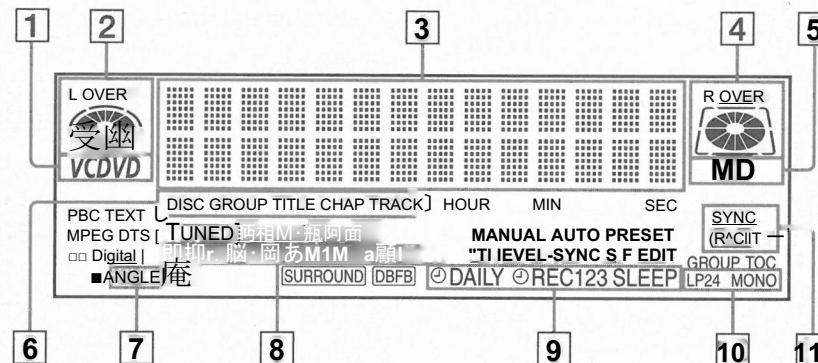
回空冷ファン

効率よく放熱するために、空冷ファンが回転します。

回電源コード

壁の電源コンセントにつなぎます。

表示窓



田 VCD/CD/DVD

DVDファンクション時に、本機にディスクが入っているときに表示されます。他のファンクションに切り換えたときは、ディスクが入っていても表示されることがあります。

回サウンドレベルインジケーター表示

DVDファンクション時に、本機にディスクが入っているときに表示されます。他のファンクションに切り換えたときは、ディスクが入っていても表示されることがあります。また、録音時や録音レベル調節時には、録音される音の大きさが表示されます。「OVER」が表示されないように調節します。

回上段表示

本体のDISPLAYボタンまたはリモコンのディスプレイボタンで切り換えます。
プリセットイコライザー名、時計、ディスク名/トラック名/ラジオ局名などを表示します。

回下段表示

本体のTIMEボタンまたはリモコンの時間ボタンで切り換えます。
ファンクション名、ラジオ局の周波数、DVDやCD、MDの再生時間モードなどを表示します。

次のページへ続く

その他

困サウンドレベルインジケータ表示

本機にM Dが入っているときに表示されます。
また、録音時や録音レベル調節時に、録音される音の大きさが表示されます。「OVER」が表示されないように調節します。

区MD表示

本機にMDが入っているときに表示されます。
サウンドレベルインジケータの表示としても使われます。

ディスク 0DISC表示

DVDやCD、MDに関する情報が表示されているときに点灯します。

グループ GROUP表示

MDでグループ機能が働いているときなど、グループに関する情報が表示されているときに点灯します。

タイトル TITLE表示

DVDでタイトルに関する情報が表示されているときに点灯します。

チャプター CHAP表示

DVDでチャプターに関する情報が表示されているときに点灯します。

トラック TRACK表示

トラック(曲)に関する情報が表示されているときに点灯します。

⑦ANGLED表示

DVDで複数のアングルが記録されているときに点灯します。

回DVD、CD、MD再生モード

シャッフル再生中はFSHUFFLEJ。プログラム再生中は「PROGRAM」、リピート再生中は「REPEAT」、「REPEAT1」が表示されます。

図タイマー表示

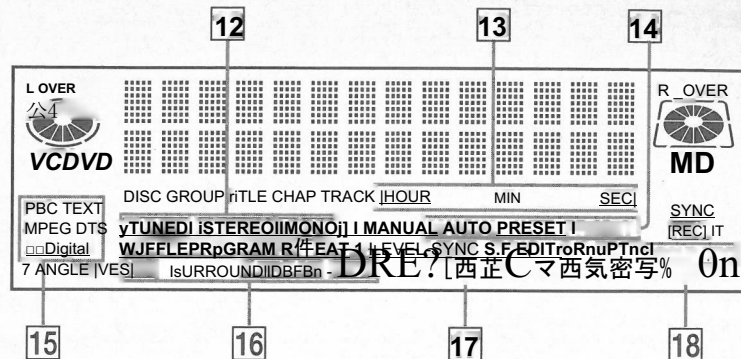
タイマーをセットすると「。」と、タイマーの種類が表示されます。

0録音モード表示

LP2ステレオ録音を選んだときは「LP2」、LP4ステレオ録音を選んだときは「LP4」、モノラル録音を選んだときは「MONO」が表示されます。ステレオ録音を選んだときは「LP2」、「LP4」、「MONO」が消灯します。

03録音表示

シンクロ録音中は「SYNC REC」、レックイット中は「SYNC REC ITJ」が表示されます。



02チューナー受信表示

ラジオ局を受信したときに「TUNED」と表示されます。FM放送をステレオで受信のときは「STEREO」、モノラル設定時は「MONO」が表示されます。

03経過時間表示

ディスク全体、または1つのタイトルやチャプター、トラック(曲)の経過時間や残り時間を表示するときに時間(HOUR)、分(MIN)、秒(SEC)が点灯します。

03チューナー表示

ラジオの受信モード(マニュアル/オート/プリセット)が表示されます。

困PBC表示

ビデオCDでPBC(プレイバックコントロール)機能を使っているときに表示されます。

テキスト TEXT表示

CDテキスト付きCDのときに表示されます。

エムベグ MPEG表示

MPEG形式で記録されたディスクのときに表示されます。

DTS表示

DTSで記録されたディスクのときに表示されます。

ドルビーデジタル Dロ Digital 表示

ドルビーデジタル(サウンド、またはマルチチャンネル)で記録されたディスクのときに表示されます。

[S VES表示

VES(ノ心ーチャルエンノ ンストサラウンド)機能が働いているときに点灯します。

サラウンド SURROUND 表示

サラウンド効果がかかっているときに点灯します。

ディビーエフビー DBFB表示

DBFB効果がかかっているときに点灯します。

レベル シンクロ 07] LEVEL-SYNC録音表示

録音中、自動的に曲番を付けるときに表示されます。

スケールファクターエディ S.F EDH表示

録音後に録音レベルを変更するときに表示されます。

グループ 08] GROUP表示

グループ機能が働いているときに表示されます。

トラック TOC表示

MDに録音や編集を行うと表示されます。

次のページへ続く

各部のなまえ(つづき)

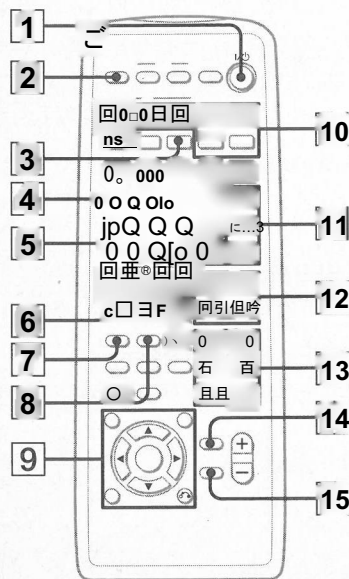
リモコン

付属のリモコンで、本体と同様に操作できます。

ご注意

リモコンで操作できないのは以下の操作です。

- ディスクの取り出し
- MDの録音
- MDの早送り、早戻し
- BGMDの切り換え



E1/O(電源)スイッチ

②スリープボタン

音楽を聞きながら眠るときに使用します。

囲スクロールボタン

ディスク名やトラック(曲)名をスクロール表示するときに使用します。

国 MENU/NOボタン

FEdit MenuJ や FSetup MenuJ を表示させたり消したりするときに使用します。また、編集内容を取り消すときにも使用します。

国EドFVY言全ボタン

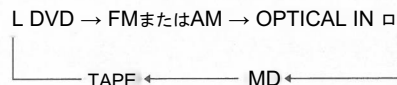
時計の設定や、プログラム再生の設定、MDまたはラジオ局に名前を付けるときなど、選んだ項目や編集内容を確定するときに使用します。また、「Edit MenuJ」や「FSetup MenuJ」で設定した内容を確定するときにも使用します。

画リピート/FMモードボタン

DVDやCD、MDの再生のしかたを1曲くり返し、全曲くり返しから選べます。
ステレオ放送などの受信中に、ステレオ/モノラルを切り換えます。

0ファンクションボタン

音源の切り換えに使用します。
このボタンを押すたびに次のように音源が切り換わります。



図再生モード/チューニングモードボタン

DVDやCD、MDの再生のしかた(ふつうの再生/シャッフル/プログラム)を切り換えます。
ラジオ受信中に、ラジオ局の合わせかた(MANUAL/AUTOZ/PRESET)を切り換えます。

図</>/▲/▼/決定ボタン

画面に表示されている項目を選んで決定します。

タイトルレボタン

DVDのタイトルメニューを出します。

DVD メニューボタン

DVDのメニューを出します。

DVD画面表示ボタン

DVDのコントロールメニュー画面を出します。

リターンハボタン

ひとつ前の選択画面に戻ります。

0 MD操作ボタン

A (再生) ボタン

U (一時停止) ボタン

■(停止) ボタン

《</>| (頭出し) ボタン

グループボタン

好きな曲を集めてグループ登録したり、グループ内で録音や編集をすおときに使用します。

グループスキップボタン

グループ機能が働いているときに、グループを選びます。

回MENU+/ーボタン

FSetup?Jや「Edit MenuJ」で項目を選ぶときに使用します。

ラジオをプリセット受信中にはプリセット番号を選びます。

—CURSOR/CURSOR—ボタン

MDまたはラジオ局に名前を付けるときや時計の設定に使用します。

回DVD操作ボタン

▶(再生/セレクト) ボタン

II (一時停止) ボタン

■(停止) ボタン

YY (前) ボタン

>*1 (次) ボタン

<1回/8A (スキャン/スロー) ボタン

0テレビ操作ボタン

ソニー製テレビを操作します。

ワイド切換ボタン

入力切換ボタン

音量+/ーボタン

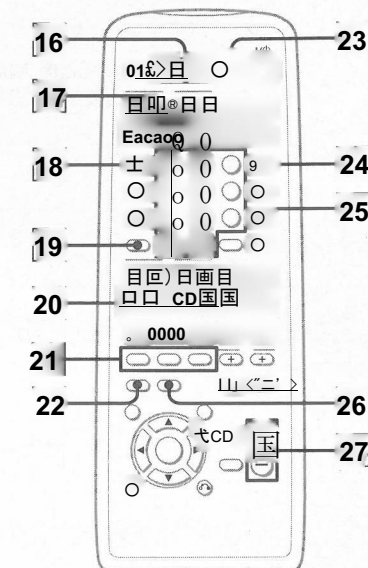
チャンネル+/ーボタン

H3 DBFBボタン

低音を強調したいときに使用します。

画プリセットEQボタン

プリセットイコライザー(5種)の効果をかけるときに使用します。



既時計/タイマー用ボタン

選択ボタン

設定したタイマーの確認やON/OFFに使用します。

設定ボタン

時計合わせや、タイマー機能の設定に使用します。

同時間ボタン

表示窓の下段に表示される内容(DVDやCD、MDの再生時間モードなど)を切り換えます。

ディスプレイボタン

表示窓の上段に表示される内容(プリセットイコライザー名、時計、ディスク名/トラック(曲)名/ラジオ局名、音量など)を切り換えます。

次のページへ続く

その他

各部のなまえりづき)

能動H/S度 Tボタン

MDまたはラジオ局に名前を付けるときに押すと文字入力画面になります。文字入力画面では、入力する文字の種類を選べます。

WCLEARボタン

MDまたはラジオ局に名前を付けるとき、間違えた文字を消したり、プログラム設定中に曲を消すときに使います。

国チューナー操作ボタン

バンドボタン

音源にラジオを選ぶときに使います。また、FM/AMを切り換えるときにも使います。

+/-ボタン

ラジオ受信中に周波数を合わせます。

園音声ボタン

DVDやビデオCDの音声を切り換えます。

アングルボタン

DVDのアングルを切り換えます。

字幕ボタン

DVDの字幕を切り換えます。

國DVD設定ボタン

DVDの設定画面の項目を設定したり、調整するときに使います。

②3テレビ電源ボタン

ソニー製テレビの電源ON/OFFに使います。

②4ディマ-ボタン

表示窓のバックライトの明るさを切り換えます。

図アルファベット/数字/カタカナ入力ボタン

DVDやCD、MDのトラック(曲)番号を選んだりラジオ局のプリセット番号が選べます。文字入力画面では対応する文字/数字が入力されます。

図VESボタン

VES(ノーチャルエンノ トンストサラウンド)機能を働かせ、サラウンドの効果をかけるときに使います。

画音量+/-ボタン

音量調節に使います。

索引

五十音順

あ行

アドバンスト94
アナログ接続114
アングル切り換え87
お手入れ118-119
オーディオ接続コード110、114
オートカット 55
オート受信25
オートファンクション17、22、24
音質の調節75-77
音声切り換え84
音声デジタル出力113

か行

外部アンテナを接続する115
カスタム視聴制限88
画面設定100
画面表示言語99
キーボード
接続する116
名前を付ける116
本機を操作する117
曲間をそろえる55
曲順を変える68
曲番を消す70
曲番を付ける53、69
曲を選ぶ22
曲を消す65
曲をつなぐ70
曲を分ける69
グループ

新しいグループを作る63
グループごとに再生する40
グループに分けて録音する43
グループ名を付ける61
登録を解除する64
言語設定99
誤消去防止つまみ43
コントロールメニュー画面項目一覧80

き行

再生
グループごとに再生40
シャッフル再生29、37
スロー再生28
早送り/早戻し再生28
ふつうの再生16、21
プログラム再生30、38
リジューム再生33
リピート再生33、40、83
PBC再生35
再生できるディスク5
サラウンド75
時間/テキスト表示36、41、82
視聴制限88
字幕
切り換え99
表示86
シャッフルノレ再生(DVD/CD) 29
シャッフル再生(MD) 37
シンクロ録音47
スキャン28
スマートスペース55
スリープタイマー106
接続する8
設定画面96
設定画面項目一覧98

た行

タイマー106、108
タイムマシン録音51
長時間録音52
低音の調節77
低消費電力待機モード14
ディスク
入れる17、22
取り扱い118
ディスク名や曲名を付ける(MD) 59
デイリータイマー106
デジタル接続 111、113
デジタル接続ケーブル110
電池12
同時再生(DVD/MD)102
トラックを選ぶ18、82
時計合わせ13

な行

残り時間を調べる(DVD/CD) 36、93
残り時間を調べる(MD) 41
は行
表示窓の使い方(DVD/CD) 36
表示窓の使い方(MD) 41
フェードイン・フェードアウトを使う74
ふつうの再生(DVD/CD)16
ふつうの再生(MD) 21
プリセットイコライザー 77
プリセット受信23
プレイバックコントロール(PBC) 35
プログラム再生(DVD/CD) 30
プログラム再生(MD) 38
別売りの機器を使う110
別売りのキーボードを使う116
編集した後は59
編集する前に58
ま行
マニュアル受信25
マニュアル録音50
メニュー画面34

次のページへ続く

索引I (つづき)

ら行

ラジオ局に名前を付ける104
 ラジオ局を記憶させる14
 ラジオを聞く 23
 ラジオを録音する26
 リジューム再生33
 リセット129
 リピート再生(DVD/CD) 33、83
 リピート再生(MD) 40
 リモコン12、110
 レックイット49
 レベルシンクロ録音53
録音
 グループに分けて録音する43
 長時間録音する52
 別売り機器から録音する112、115
 別売り機器に録音する113
 ラジオを録音する26
 CDを録音する19、47
録音レベルの調整
 録音前に調節する57
 録音後に調節する73
 録音した後は43
 録音する前に42
 録音タイマー108
 ローマカナ変換 117

アルファベット/数字 順

A-Bイレース66
 AMループアンテナ9
 BGMD 102
 COMBINE (コンバイン)70
 DBFB 77
 DIVIDE (ディバイド)69
 DVD メニュー 34
 D1映像出力(D映像端子) 11、138
 ERASE (イレース)65
 FM用簡易アンテナ10
 MDに録音する19、26、42-53、112、115
 MDに名前を付ける59
 MDのシステム上の制約119
 MDを聞く 21
 MOVE (ムーブ)68
 NAME (ネーム)59、61
 S映像出力11
 S.FEDIT 73
 TVタイプ100
 UNDO (アンドウ)72
 VES 75
 5.1chサラウンド113

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35	
お問い合わせはお客様ご相談センターへ	受付時間:
・ナビダイヤル Sig 0570-00-3311	月~金 9:00 -
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます) 20:00、	
・携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311 芸能日	
・Fax	0466-31-2595 17 00

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は再生紙を使用しています。

ご案内

ソニーのオーディオ製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この度、ソニーでは、お買い上げいただきました製品専用のご相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設させていただきましたのでご案内申し上げます。

テクニカルインフォメーションセンター

一電 話：0120-30-8132(フリーダイヤル)

受付時間：月～金午前9時～午後7時

土、日午前9時～午後5時

(ただし、年末、年始、長期連休、祝日を除く)

この度、お客様がご購入されました製品の名称および製造番号は以下の通りです。

製品名	製造番号
CMT-P555DVD	204413

お買い上げいただきました製品の品質、操作方法、接続方法などに関するお問い合わせがございましたら、上記の「テクニカルインフォメーションセンター」までご連絡ください。尚、操作方法、接続方法につきましてはお問い合わせ前に取扱説明書をご覧の上お問い合わせをお願い申し上げます。

誠に勝手ではございますがテクニカルインフォメーションセンターのご利用はお買い上げ日より1年以内に限定させていただきます。

なにとぞご了承くださいますようお願い申し上げます。

今後ともソニーの製品をご愛用くださいますよう重ねてお願い申し上げます。